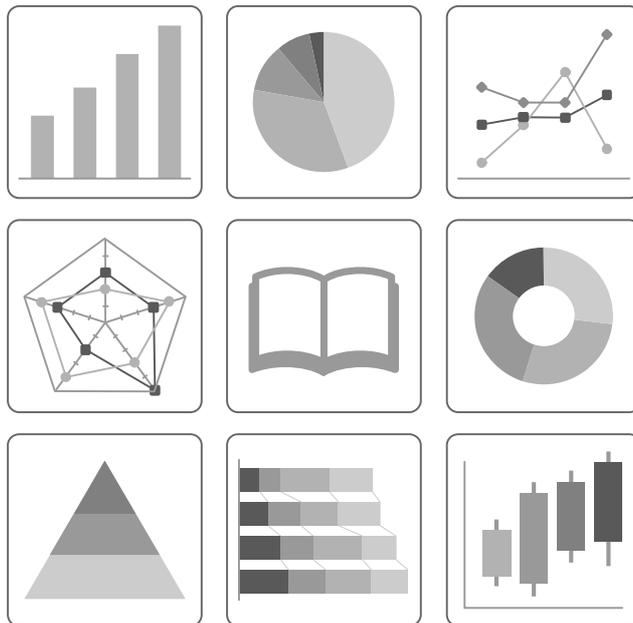


川崎市の 食育の現状と意識に関する調査 調査結果報告書



令和3年3月

川 崎 市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1
II 調査結果の詳細	2
1 基本属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 性×年齢	3
(4) 職業	4
(5) 平均的な勤務時間（残業含む）	4
(6) 現在の居住地	5
(7) BMI（身長、体重から算出）	6
(8) 同居している家族の人数（あなた自身を含む）	7
(9) 同居している人	7
2 食生活について	8
・ 1日の食事回数（問1）	8
・ 朝食の有無（問2）	9
・ 朝食を食べていない理由（問2-1）	11
・ 主食、主菜、副菜をそろえた食事（問3）（問3-1）	12
・ 1日に食べる野菜料理の量（問4）	16
・ 外食の回数（問5）（問6）	18
・ 市販弁当や総菜の利用回数（問7）	20
・ 食品の購入先（問8）	21

3	地産地消、食文化について	30
・	川崎産の農産物の認知度（問 9）	30
・	川崎産農産物の購入の有無（問 10）	32
・	食文化の継承（問 11）（問 11-1）	34
4	食品ロス、食の安全性について	36
・	食べ残しや食品の廃棄に対する意識（問 12）	36
・	食品ロスの実態（問 13）	37
・	食品を購入する時に参考にしている表示（問 14）	39
・	食品の安全性に関する基礎的な知識（問 15）	41
5	災害時の備蓄について	42
・	災害に備えた非常用の食料や飲料の有無（問 16）	42
・	用意している非常用の食料等（問 16-1）（問 16-2）	43
6	食育・食育活動について	45
・	食育に対する関心（問 17）	45
・	関心のあること（問 17-1）	46
・	関心のある理由（問 17-2）	48
・	地域で食育に関する活動や行動の状況（問 18）	50
7	共食について	51
・	家族や友人・知人と食事をする頻度（問 19）	51
・	地域や職場などでの食事会の参加（問 20）	58
8	健康について	59
・	現在の健康状態（問 21）	59
・	生活習慣病の予防及び改善のためにできること（問 22）	60
9	新型コロナウイルス感染症の影響について	72
・	新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降感じていること（問 23）	72
・	新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降変わっていくこと（問 24）	74
10	川崎市であつたらいいと思う食育の取組について（問 25）	75
	参考 調査票	76

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の方の食に関する現状や考えなどを聞き、「川崎市食育推進計画」策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

川崎市在住の満 20 歳以上から 3,500 名の方を無作為抽出

3 調査期間

令和 2 年 11 月 9 日から令和 2 年 12 月 1 日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,500 通	1,667 通	47.6%

6 調査結果の表示方法

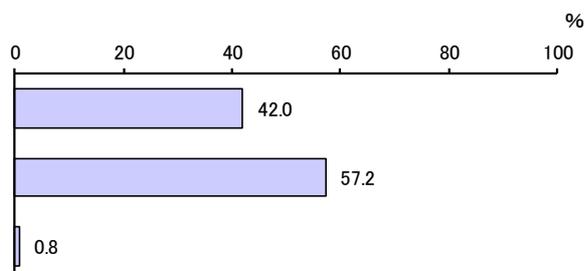
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が 1 桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果の詳細

1 基本属性

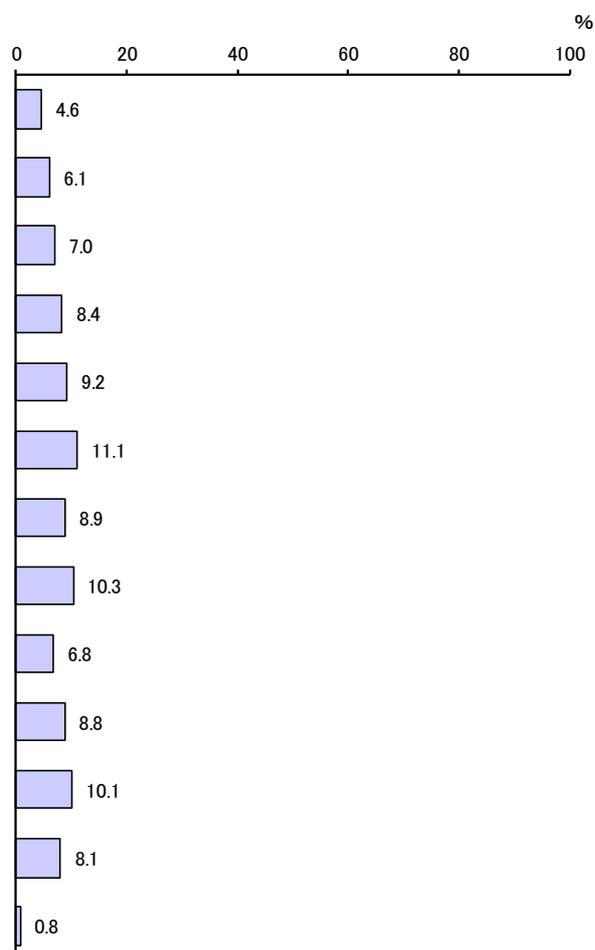
(1) 性別

カテゴリ	件数	割合
全体	1,667	100.0
男性	700	42.0
女性	953	57.2
無回答	14	0.8



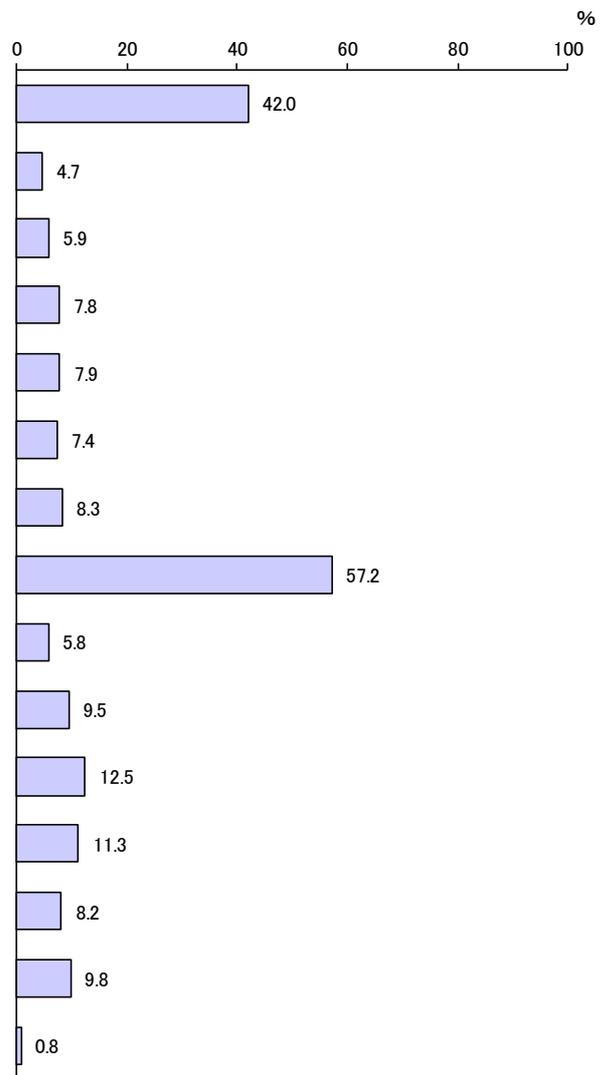
(2) 年齢

カテゴリ	件数	割合
全体	1,667	100.0
20~24歳	76	4.6
25~29歳	101	6.1
30~34歳	117	7.0
35~39歳	140	8.4
40~44歳	153	9.2
45~49歳	185	11.1
50~54歳	148	8.9
55~59歳	171	10.3
60~64歳	113	6.8
65~69歳	147	8.8
70~74歳	168	10.1
75歳以上	135	8.1
無回答	13	0.8



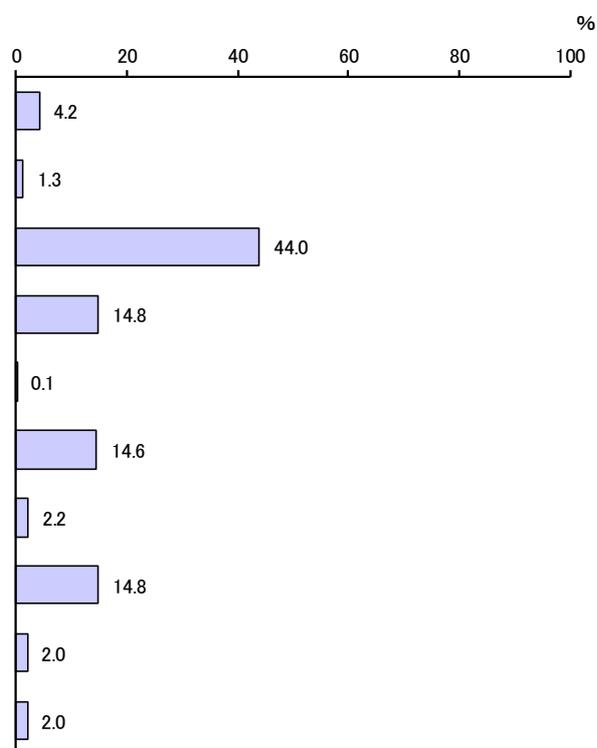
(3) 性×年齢

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,667	100.0
男性 合計	700	42.0
20歳代	79	4.7
30歳代	98	5.9
40歳代	130	7.8
50歳代	131	7.9
60歳代	124	7.4
70歳代以上	138	8.3
女性 合計	953	57.2
20歳代	97	5.8
30歳代	159	9.5
40歳代	208	12.5
50歳代	188	11.3
60歳代	136	8.2
70歳代以上	164	9.8
性別無回答	14	0.8



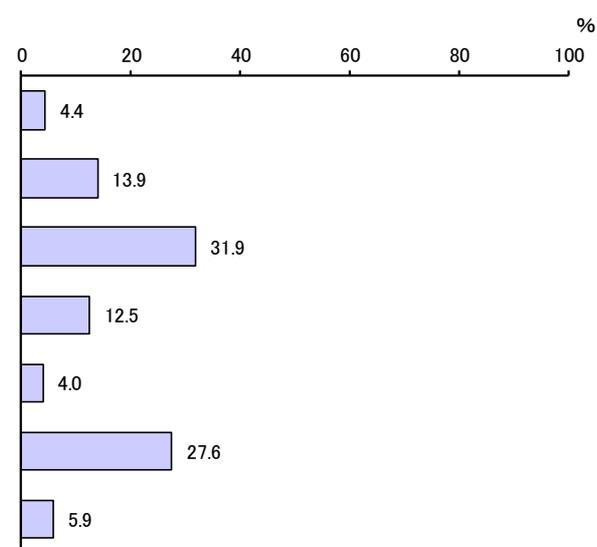
(4) 職業

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,667	100.0
自営業主	70	4.2
家族従業(家業手伝い)	21	1.3
勤め(全日)	733	44.0
勤め(パートタイム)	247	14.8
内職	2	0.1
主婦・主夫(家事専業)	244	14.6
学生	36	2.2
無職(年金生活者を含む)	247	14.8
その他	34	2.0
無回答	33	2.0



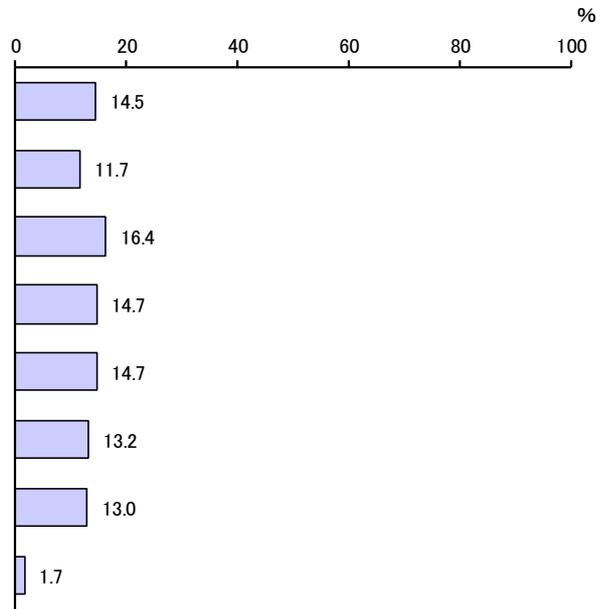
(5) 平均的な勤務時間(残業含む)

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,667	100.0
4時間未満	73	4.4
4～7時間未満	231	13.9
7～9時間未満	531	31.9
9～11時間未満	208	12.5
11時間以上	66	4.0
勤務していない(主婦・主夫、学生、無職の方)	460	27.6
無回答	98	5.9



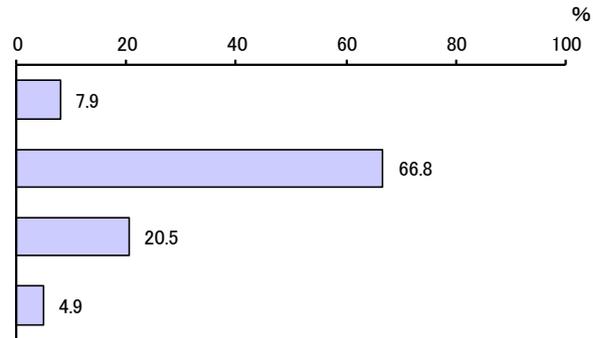
(6) 現在の居住地

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,667	100.0
川崎区	242	14.5
幸区	195	11.7
中原区	274	16.4
高津区	245	14.7
宮前区	245	14.7
多摩区	220	13.2
麻生区	217	13.0
無回答	29	1.7

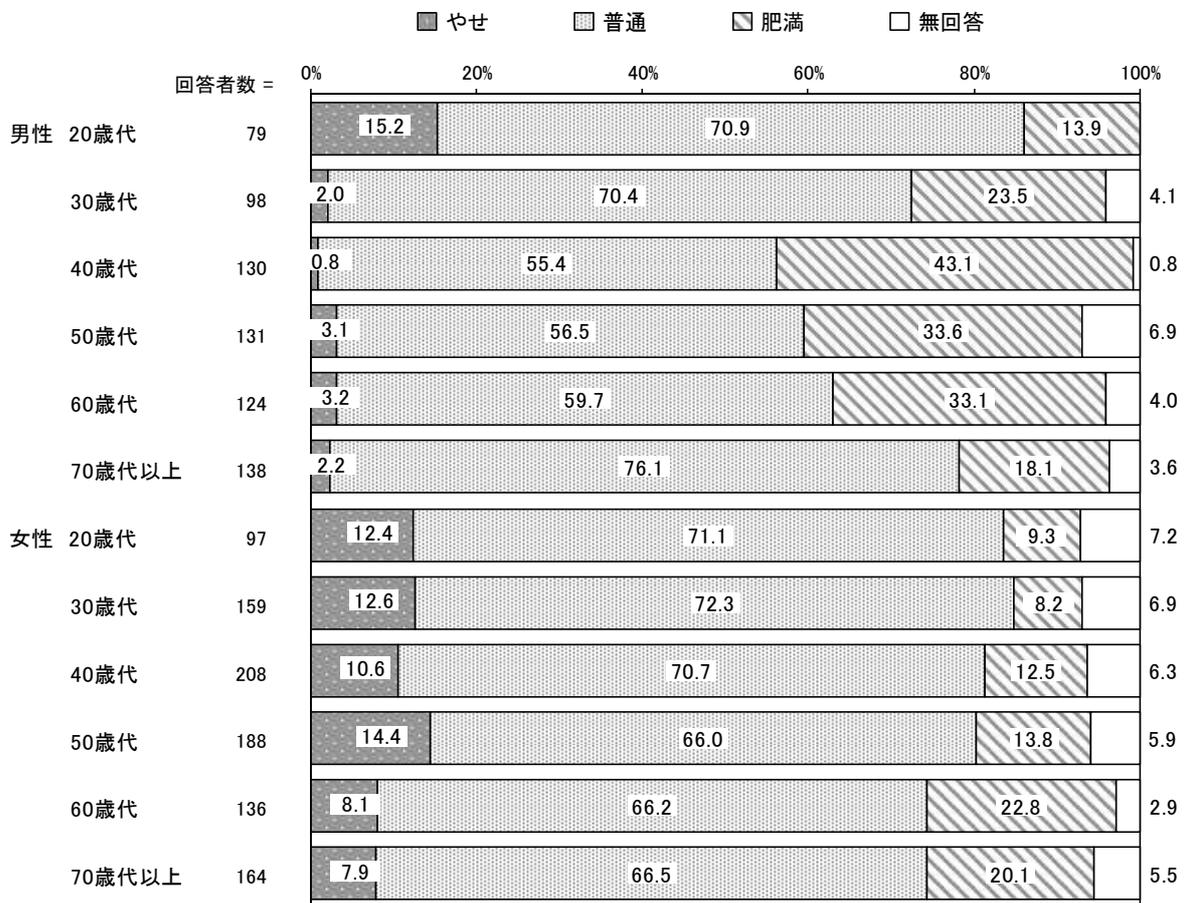


(7) BMI (身長・体重から算出)

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,667	100.0
やせ	131	7.9
普通	1,114	66.8
肥満	341	20.5
無回答	81	4.9



【性・年齢別】



※BMI (Body Mass Indx=体格指数) とは

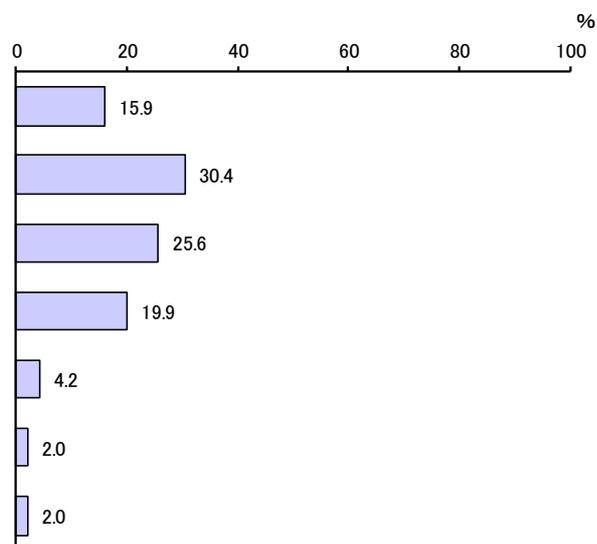
体格の判定について広く用いられている指標で、次の式で導くことができ、「22」が標準とされています。

$$BMI = \text{体重(kg)} \div (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$$

また、日本肥満学会ではBMIの判定基準を、18.5未満を「やせ」、18.5以上25.0未満を「普通」、25.0以上を「肥満」と定めています。

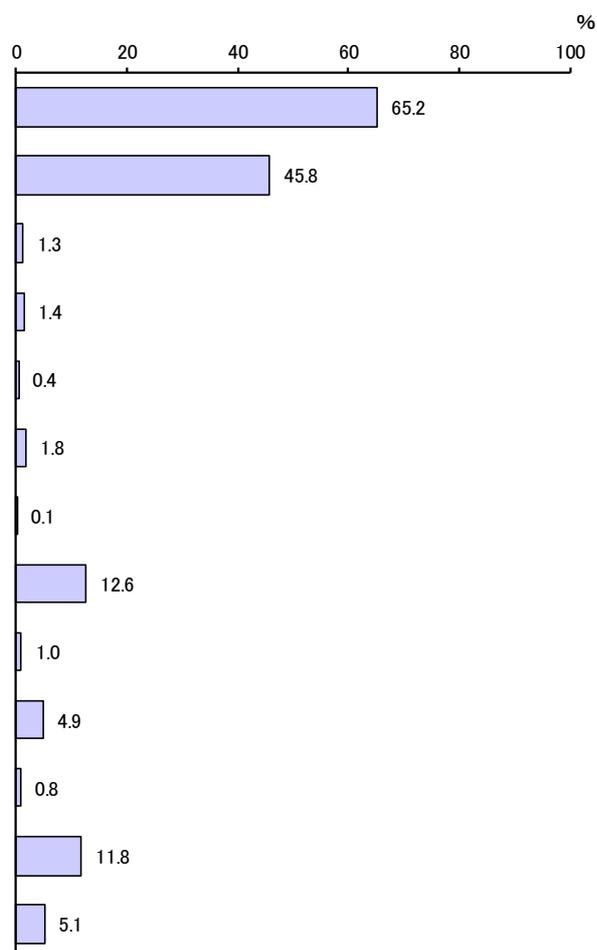
(8) 現在、同居している家族の人数（あなた自身を含む）

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,667	100.0
1人	265	15.9
2人	506	30.4
3人	427	25.6
4人	332	19.9
5人	70	4.2
6人以上	34	2.0
無回答	33	2.0



(9) 同居している人

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,667	100.0
配偶者	1,087	65.2
子ども	763	45.8
子どもの配偶者	21	1.3
孫	24	1.4
友人	6	0.4
パートナー	30	1.8
職場・仕事仲間	1	0.1
父母(あなた・配偶者の)	210	12.6
祖父母(あなた・配偶者の)	16	1.0
兄弟姉妹(あなた・配偶者の)	82	4.9
その他	13	0.8
いない	197	11.8
無回答	85	5.1

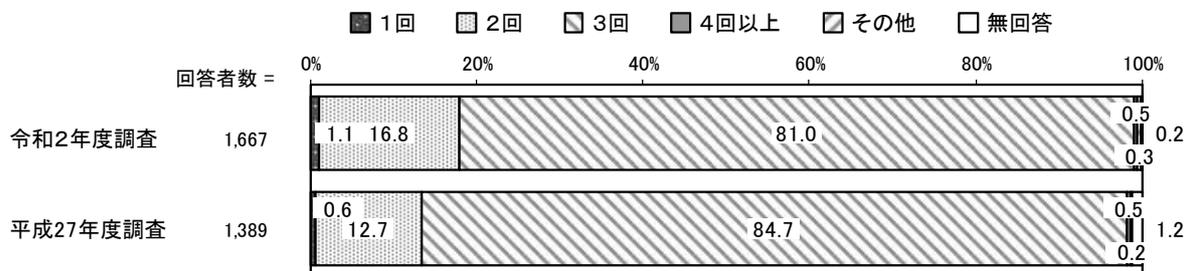


2 食生活について

問1 1日に何回食事をしますか。(間食・夜食を除きます。)(○は1つ)

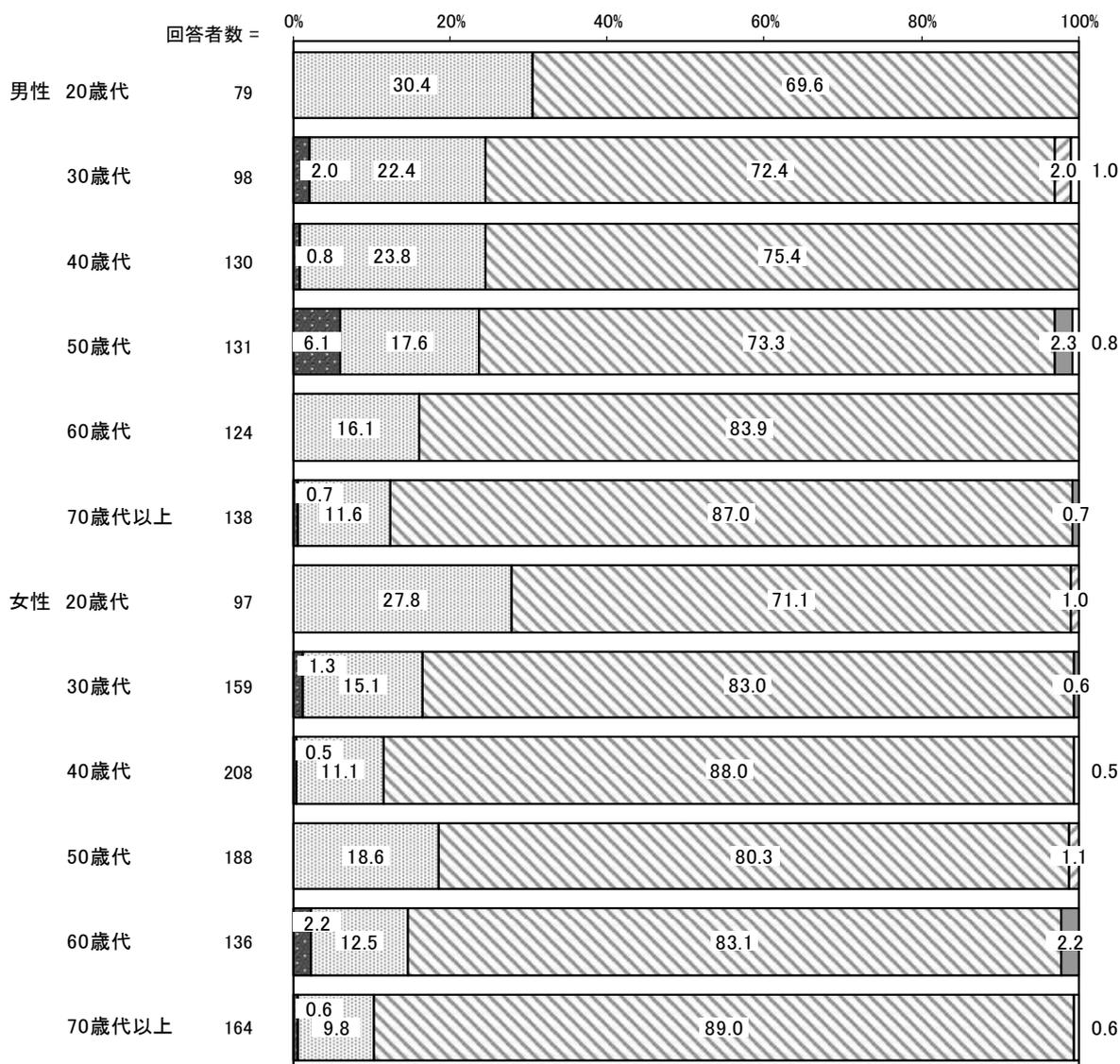
1日の食事回数について、「3回」の割合が81.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が16.8%となっています。

平成27年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

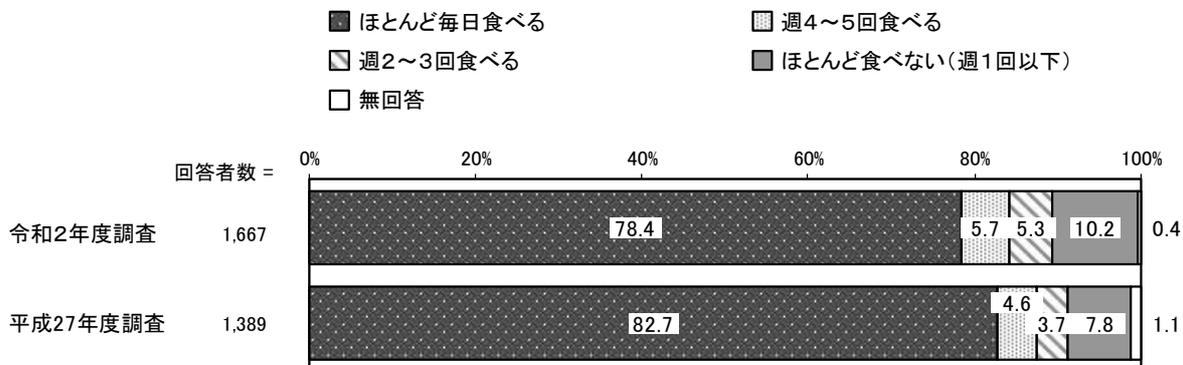
性・年齢別で見ると、男性、女性ともに70歳代以上で「3回」の割合が高くなっています。



問2 朝食は食べますか。(〇は1つ)

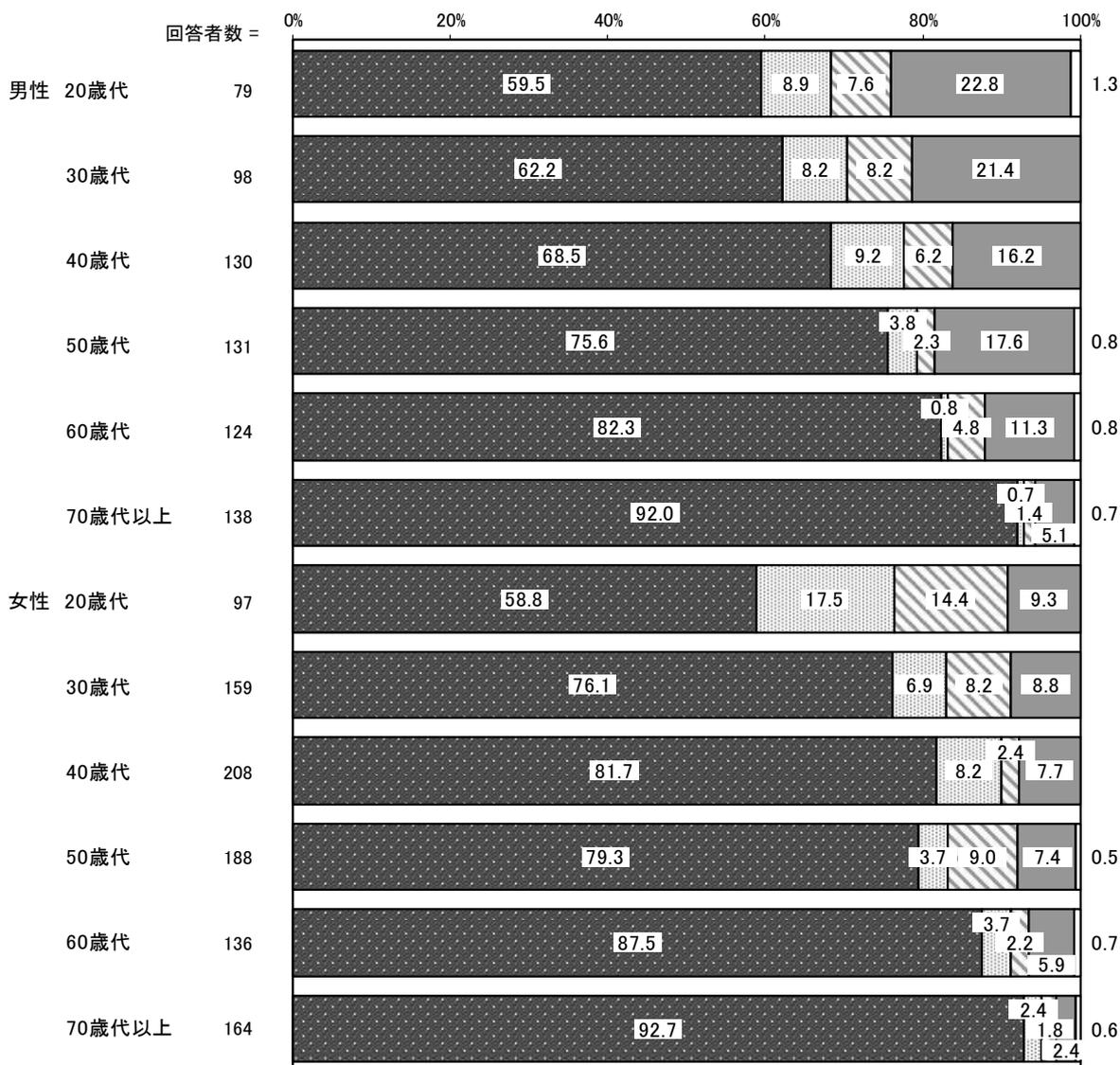
朝食について、「ほとんど毎日食べる」の割合が78.4%と最も高く、次いで「ほとんど食べない(週1回以下)」の割合が10.2%となっています。

平成27年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



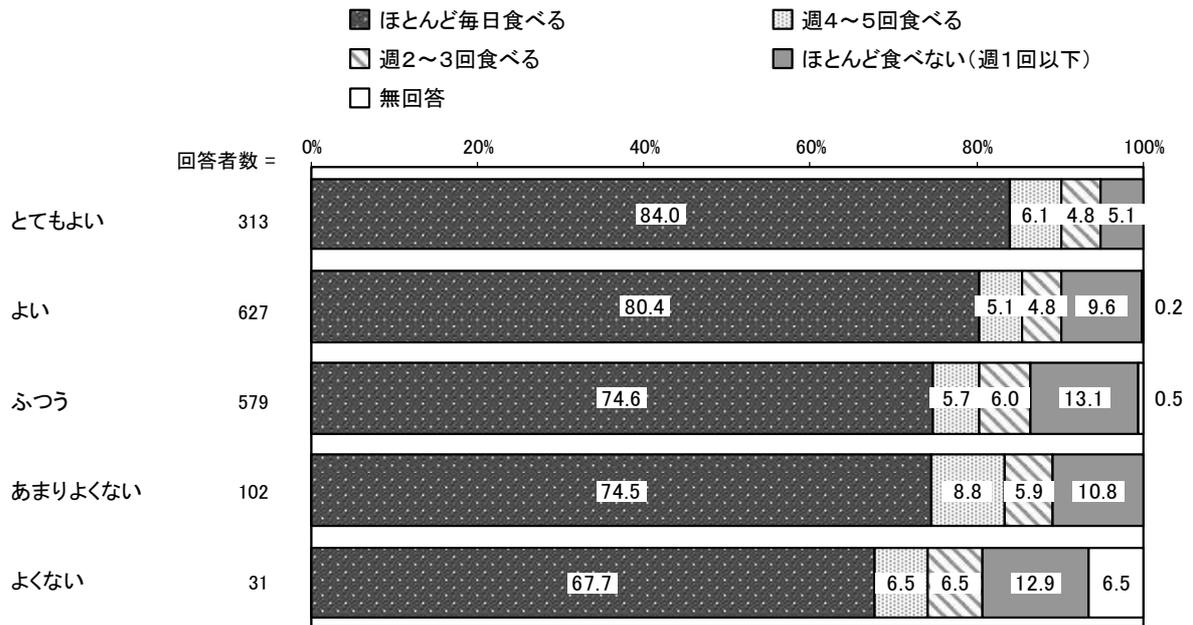
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の20歳代、30歳代、女性の20歳代で「ほとんど毎日食べる」の割合が低くなっています。



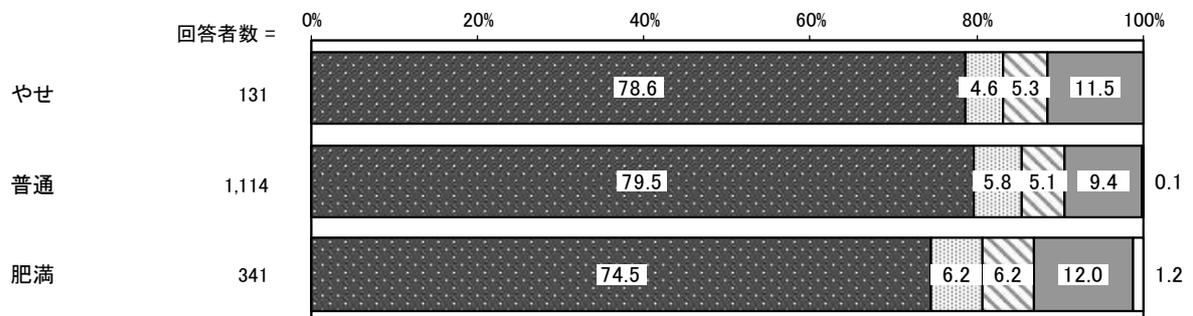
【健康状態別】

健康状態別で見ると、健康状態がよいほど「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっています。



【BMI別】

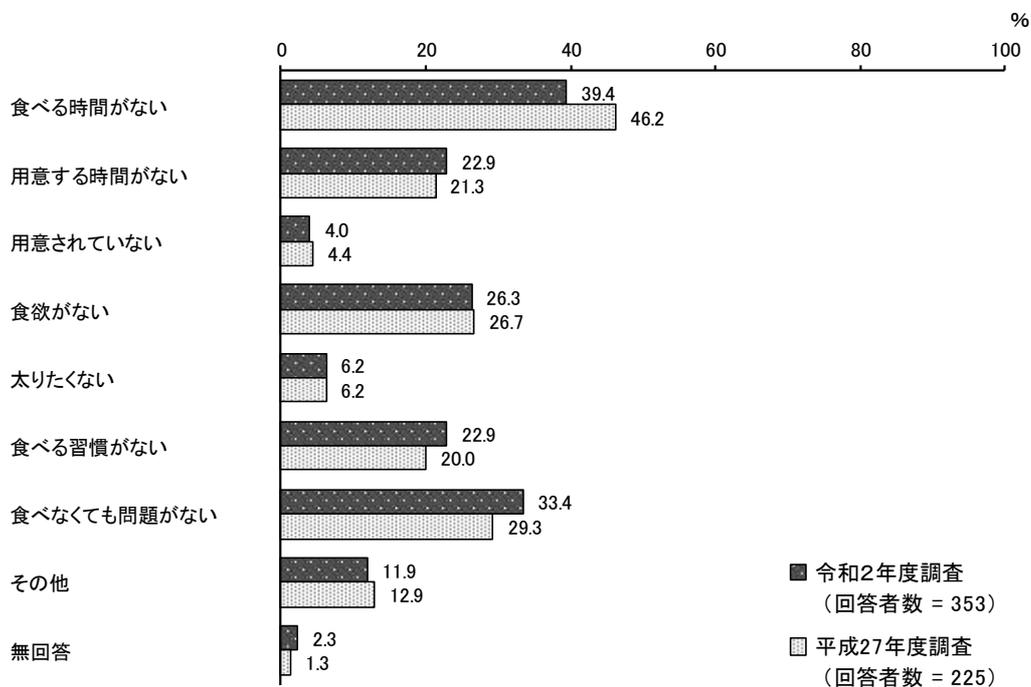
BMI別で見ると、普通で「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっています。



問 2-1 朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

朝食を食べない理由について、「食べる時間がない」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「食べなくても問題がない」の割合が 33.4%、「食欲がない」の割合が 26.3%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「食べる時間がない」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性、女性ともに 20 歳代で「食べる時間がない」の割合が高くなっています。また、男性の 40 歳代で「食べなくても問題がない」の割合が高くなっています。

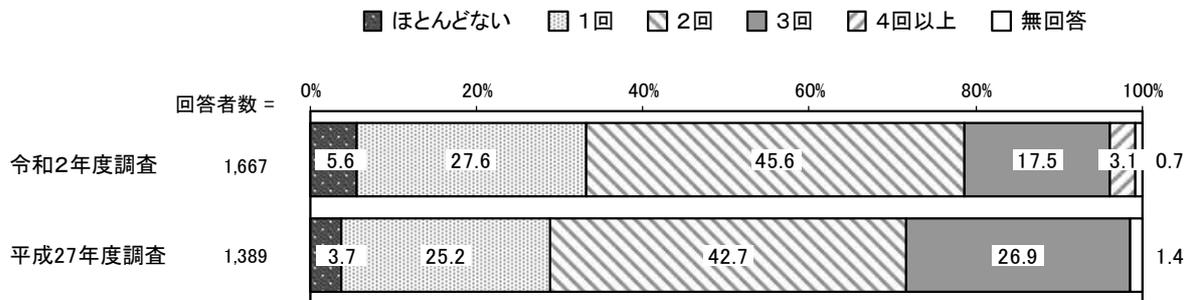
単位：%

区分	有効回答数 (件)	食べる時間がない	用意する時間がない	用意されていない	食欲がない	太りたくない	食べる習慣がない	食べなくても問題がない	その他	無回答
男性 20 歳代	31	58.1	35.5	—	32.3	—	29.0	32.3	6.5	—
30 歳代	37	43.2	35.1	10.8	29.7	8.1	27.0	37.8	2.7	—
40 歳代	41	19.5	17.1	7.3	24.4	2.4	34.1	48.8	9.8	—
50 歳代	31	29.0	9.7	6.5	29.0	6.5	35.5	32.3	3.2	3.2
60 歳代	21	14.3	19.0	—	9.5	14.3	28.6	38.1	19.0	—
70 歳代以上	10	20.0	—	—	20.0	—	20.0	40.0	20.0	20.0
女性 20 歳代	40	62.5	37.5	10.0	20.0	7.5	7.5	15.0	15.0	—
30 歳代	38	50.0	26.3	2.6	34.2	13.2	21.1	39.5	10.5	—
40 歳代	38	44.7	23.7	—	31.6	13.2	13.2	31.6	18.4	5.3
50 歳代	38	42.1	13.2	—	34.2	—	15.8	28.9	18.4	5.3
60 歳代	16	31.3	12.5	—	12.5	—	25.0	25.0	12.5	6.3
70 歳代以上	11	—	18.2	—	9.1	—	27.3	36.4	18.2	—

問3 主食（ごはん・パン・めんなど）、主菜（魚・肉・卵・大豆製品の料理）、副菜（野菜を主にした料理）をそろえて食べることが1日のうちに何回ありますか。（〇は1つ）

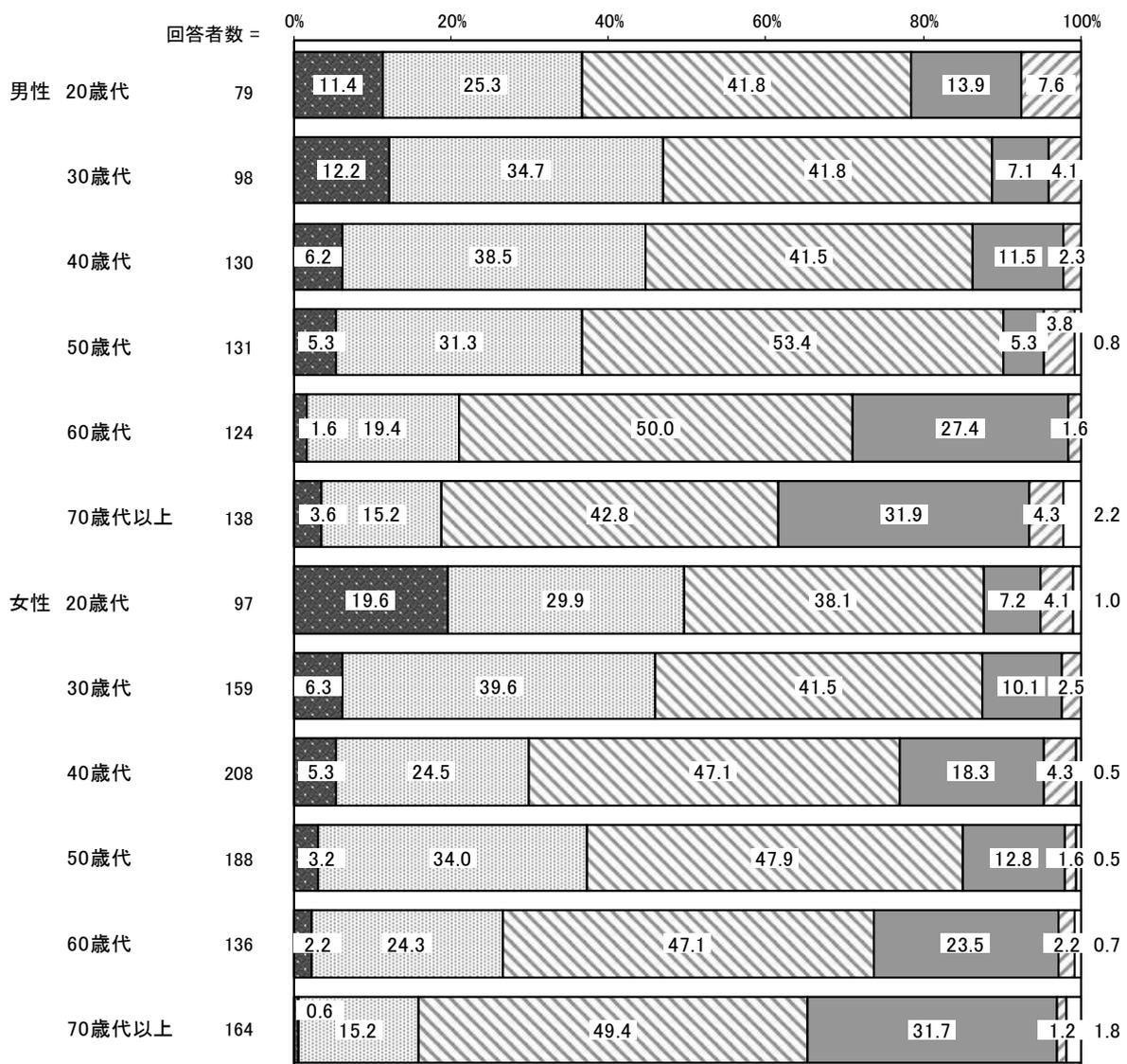
主食、主菜、副菜をそろえて食べる回数について、「2回」の割合が45.6%と最も高く、次いで「1回」の割合が27.6%、「3回」の割合が17.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「3回」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

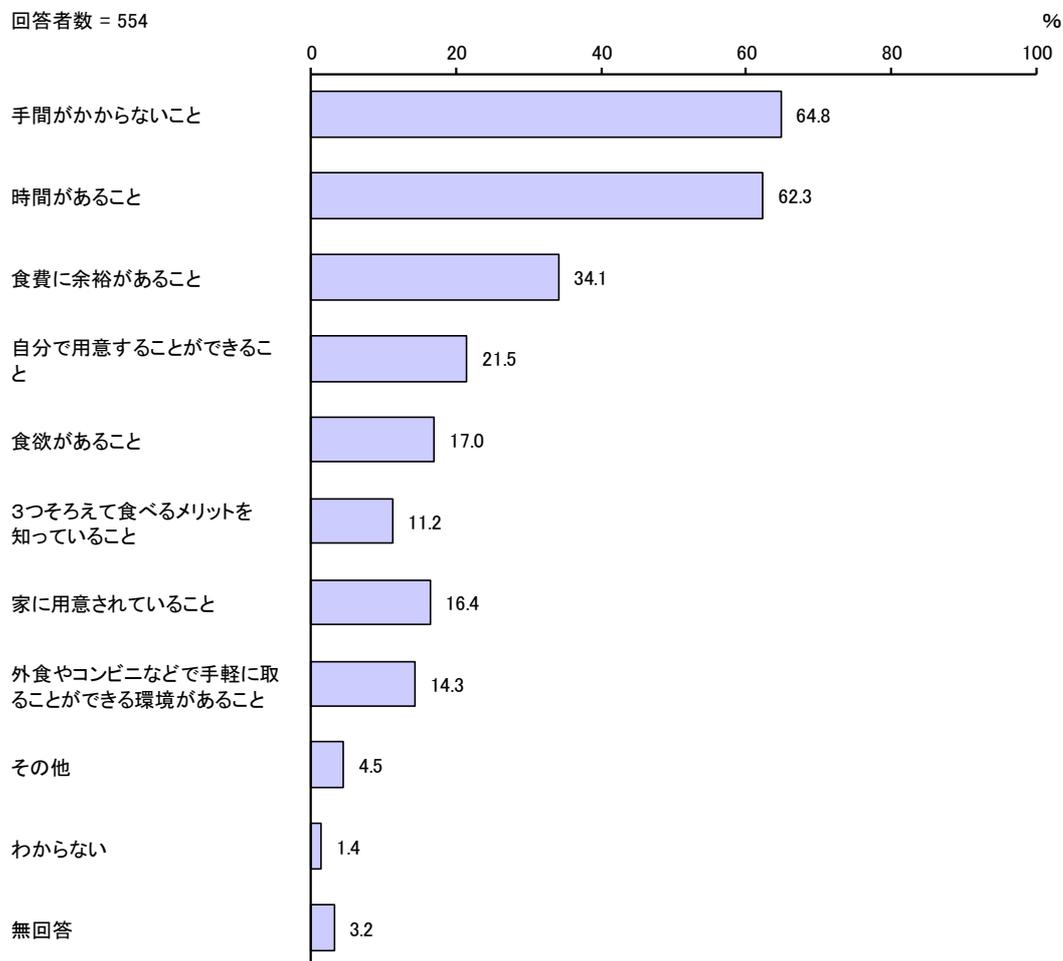
性・年齢別で見ると、女性の20歳代で「ほとんどない」の割合が高くなっています。



問3-1 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる回数を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる回数を増やすことについて、「手間がかからないこと」の割合が64.8%と最も高く、次いで「時間があること」の割合が62.3%、「食費に余裕があること」の割合が34.1%となっています。

回答者数 = 554



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性、女性ともに20歳代で「手間がかからないこと」の割合が高くなっています。また、若い世代ほど「食費に余裕があること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手間がかからないこと	時間があること	食費に余裕があること	自分で用意することができること	食欲があること	3つそろえて食べるメリットを知っていること	家に用意されていること	外食やコンビニなどで手軽に取ることができる環境があること	その他	わからない	無回答
男性 20歳代	29	72.4	55.2	48.3	24.1	17.2	10.3	27.6	13.8	—	—	—
30歳代	46	67.4	71.7	39.1	23.9	10.9	13.0	28.3	21.7	2.2	2.2	4.3
40歳代	58	60.3	56.9	36.2	17.2	1.7	13.8	17.2	10.3	3.4	—	5.2
50歳代	48	60.4	56.3	31.3	18.8	12.5	8.3	14.6	16.7	10.4	4.2	—
60歳代	26	50.0	38.5	11.5	26.9	26.9	—	19.2	15.4	3.8	—	3.8
70歳代以上	26	38.5	26.9	15.4	26.9	19.2	11.5	23.1	26.9	3.8	7.7	3.8
女性 20歳代	48	75.0	68.8	52.1	27.1	20.8	14.6	18.8	16.7	2.1	—	—
30歳代	73	80.8	83.6	35.6	24.7	20.5	11.0	11.0	15.1	2.7	—	—
40歳代	62	69.4	72.6	32.3	12.9	11.3	8.1	12.9	12.9	4.8	3.2	1.6
50歳代	70	65.7	68.6	34.3	18.6	21.4	14.3	15.7	11.4	7.1	1.4	4.3
60歳代	36	61.1	61.1	30.6	27.8	16.7	13.9	8.3	5.6	5.6	—	5.6
70歳代以上	26	42.3	26.9	26.9	15.4	42.3	11.5	7.7	7.7	7.7	—	7.7

【食育に対する関心度別】

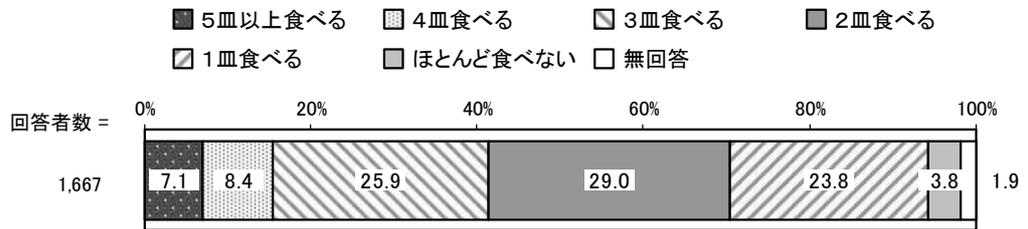
食育に対する関心度別でみると、どちらかといえば関心がある、どちらかといえば関心がない、関心がないで「手間がかからないこと」の割合が、関心があるで「時間があること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	手間がかからないこと	時間があること	食費に余裕があること	自分で用意することができること	食欲があること	3つそろえて食べるメリットを知っていること	家に用意されていること	外食やコンビニなどで手軽に取ることができる環境があること	その他	わからない	無回答
関心がある	99	55.6	66.7	31.3	18.2	17.2	13.1	13.1	14.1	7.1	2.0	3.0
どちらかといえば関心がある	230	69.6	66.1	41.3	21.3	18.7	10.4	17.8	14.3	4.3	0.9	3.0
どちらかといえば関心がない	135	66.7	60.0	25.2	24.4	14.1	9.6	18.5	14.8	3.0	1.5	3.0
関心がない	48	66.7	50.0	27.1	18.8	8.3	12.5	14.6	16.7	4.2	2.1	6.3
どちらともいえない	35	60.0	57.1	40.0	25.7	22.9	14.3	11.4	11.4	5.7	2.9	—

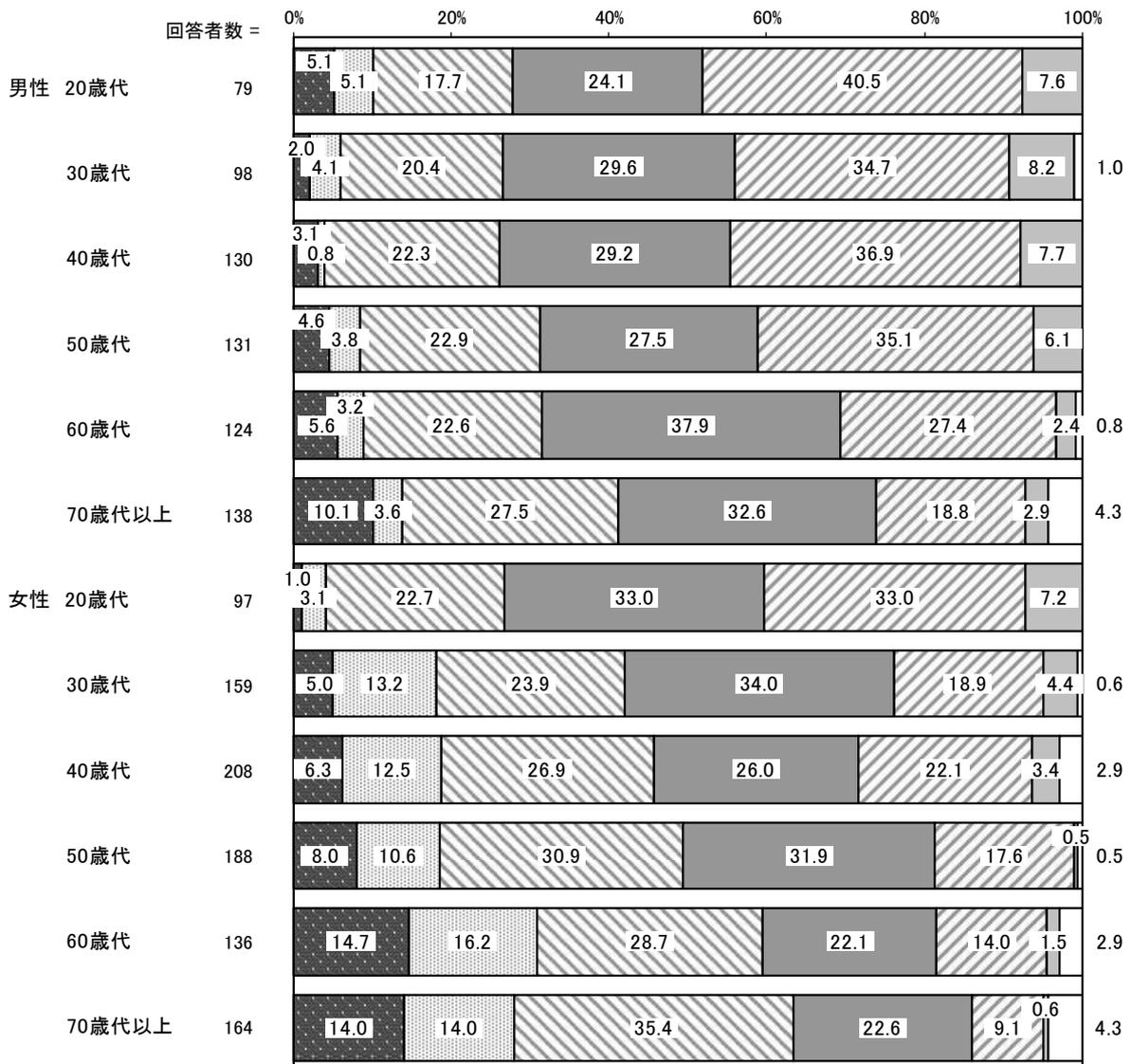
問4 野菜料理を1日にどのくらい食べていますか。(〇は1つ)

野菜料理約70グラムを1皿として1日に食べる量について、「2皿食べる」の割合が29.0%と最も高く、次いで「3皿食べる」の割合が25.9%、「1皿食べる」の割合が23.8%となっています。



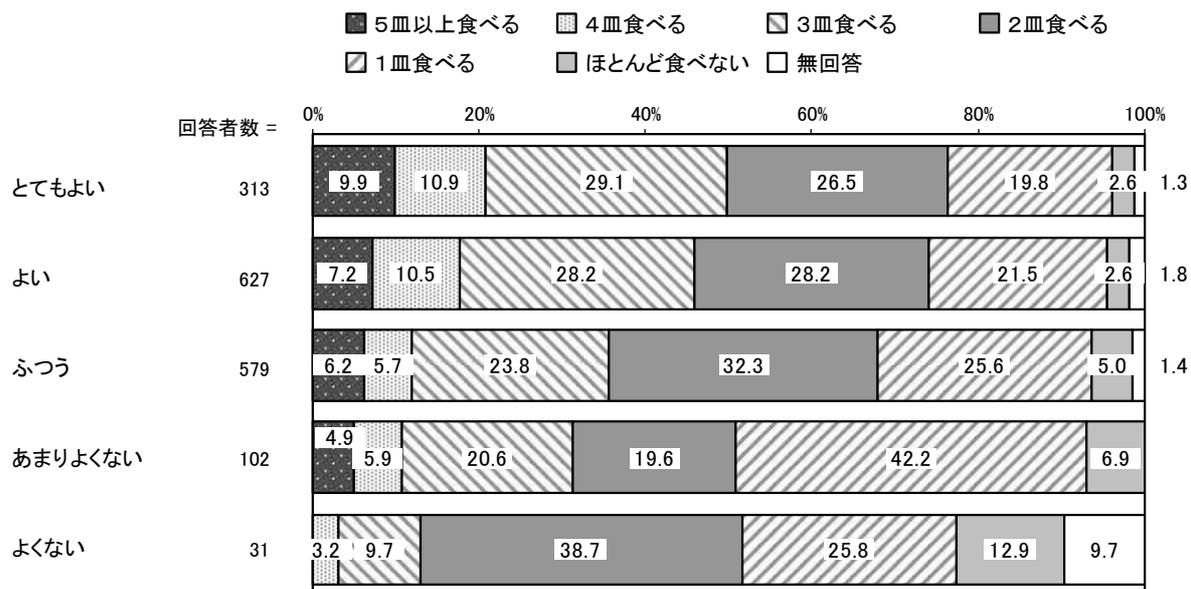
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性70歳代以上、女性の60歳代、70歳代以上で「5皿以上食べる」の割合が高くなっています。



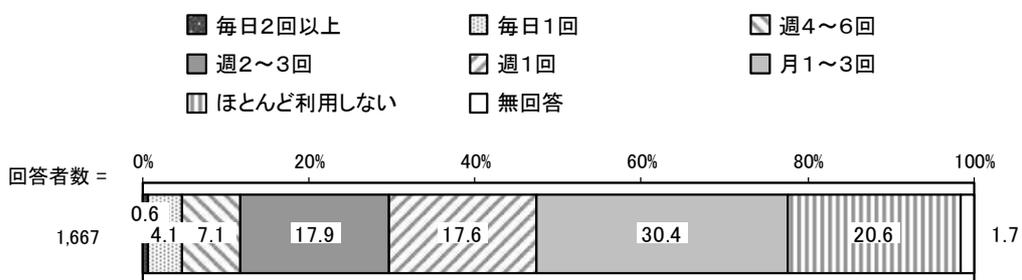
【健康状態別】

健康状態別で見ると、とてもよいほど野菜を多く食べている傾向が見られます。



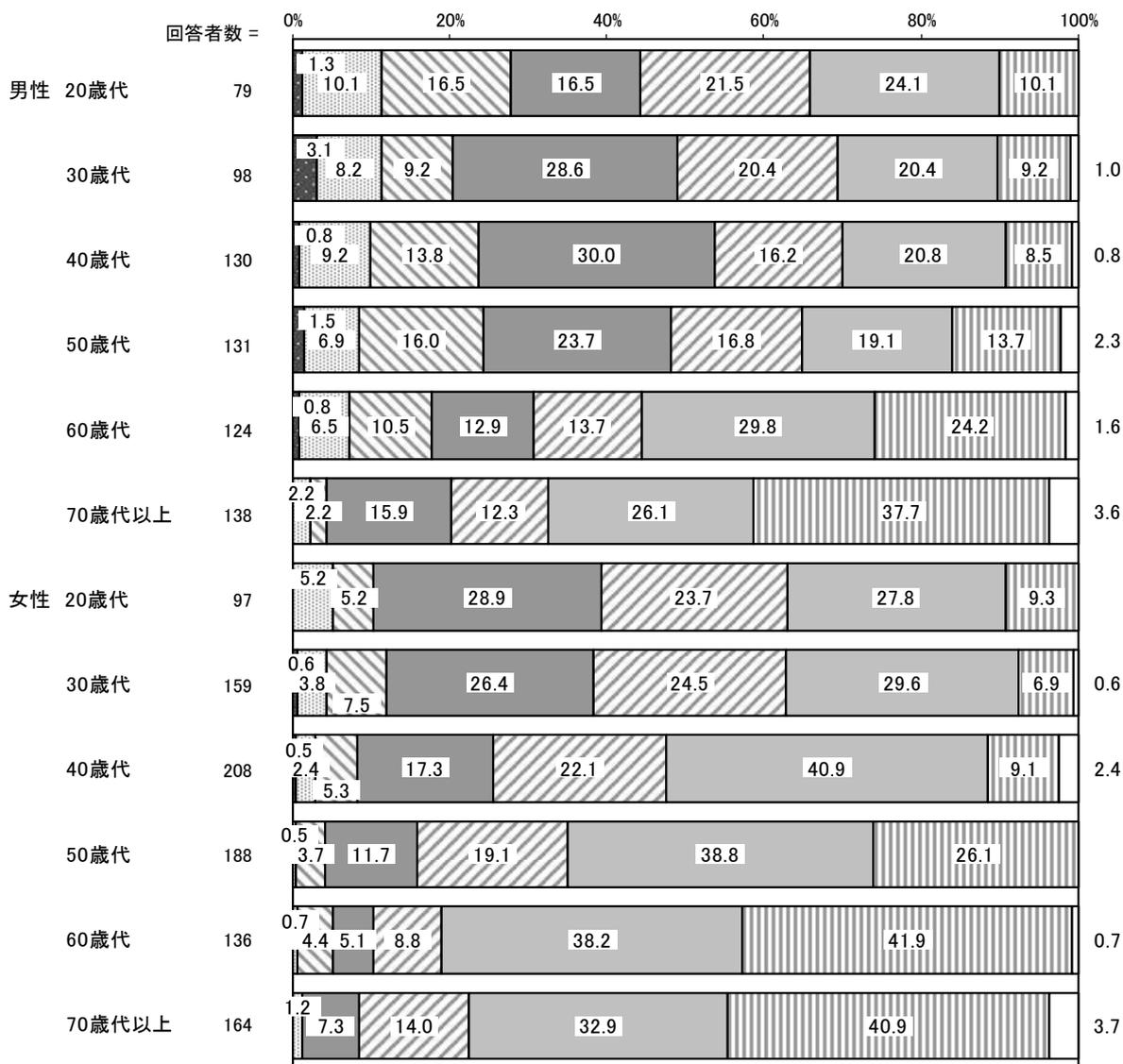
問5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前は、外食（飲食店での食事）をどのくらい利用していましたか。（〇は1つ）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前の外食の利用頻度について、「月1～3回」の割合が30.4%と最も高く、次いで「ほとんど利用しない」の割合が20.6%、「週2～3回」の割合が17.9%となっています。



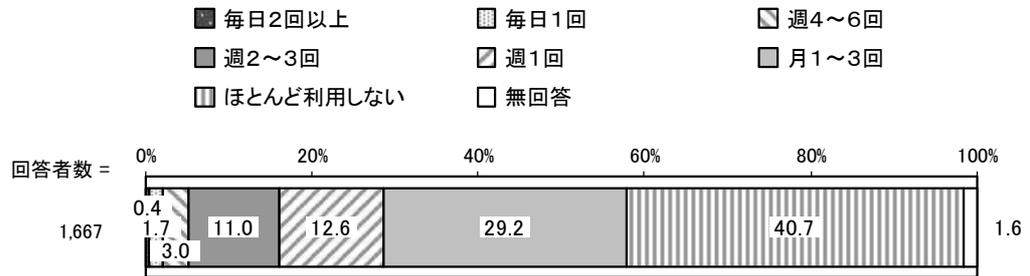
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男性70歳代以上、女性の60歳代、70歳代以上で「ほとんど利用しない」の割合が高くなっています。



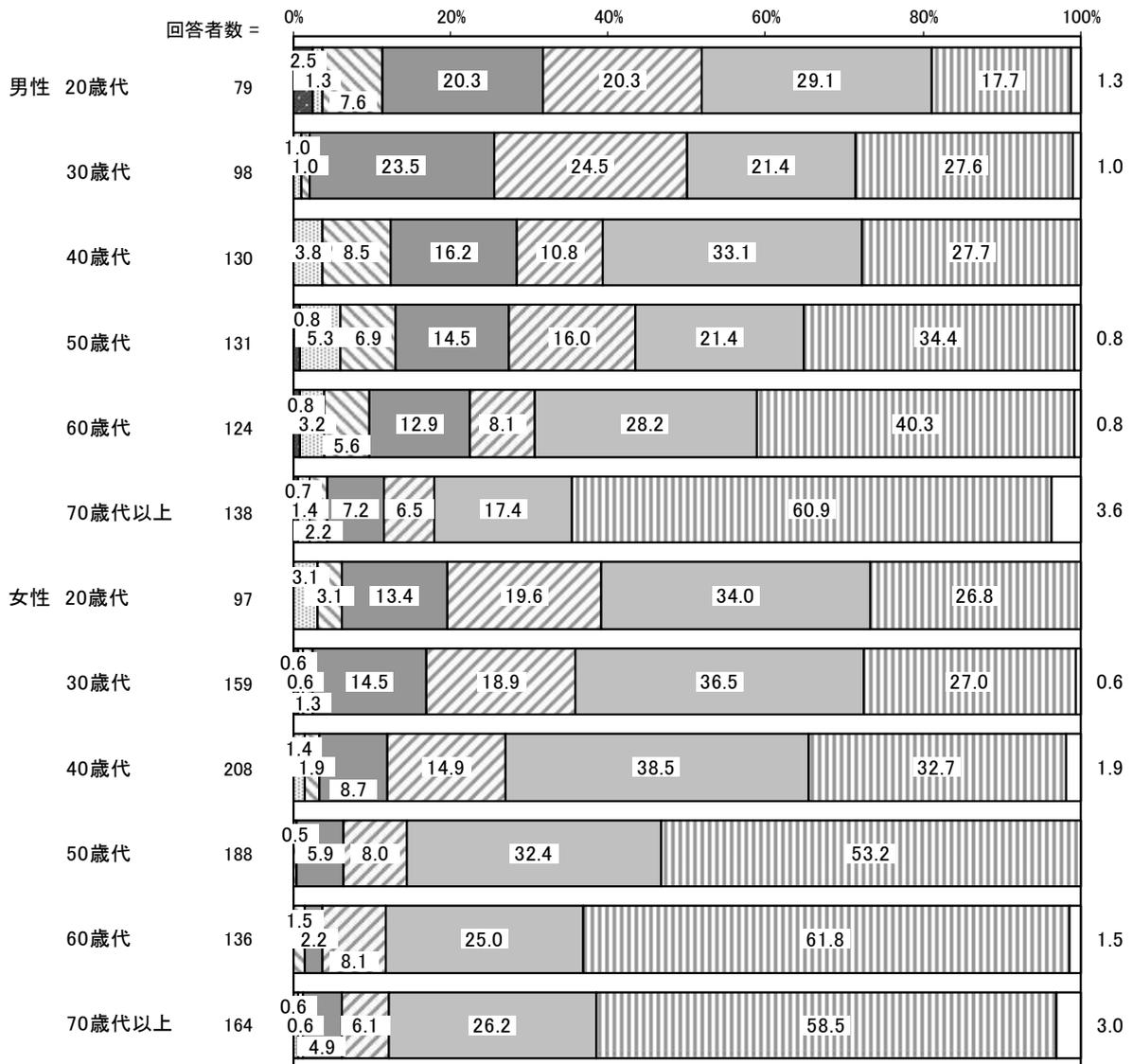
問6 今現在、外食（飲食店での食事）をどのくらい利用しますか。（○は1つ）

現在の外食の利用頻度について「ほとんど利用しない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が29.2%、「週1回」の割合が12.6%となっています。



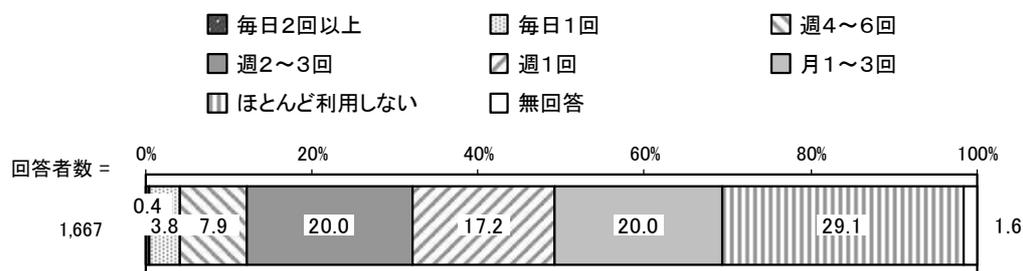
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、女性60歳代、70歳代以上、男性70歳代以上で「ほとんど利用しない」の割合が高くなっています。



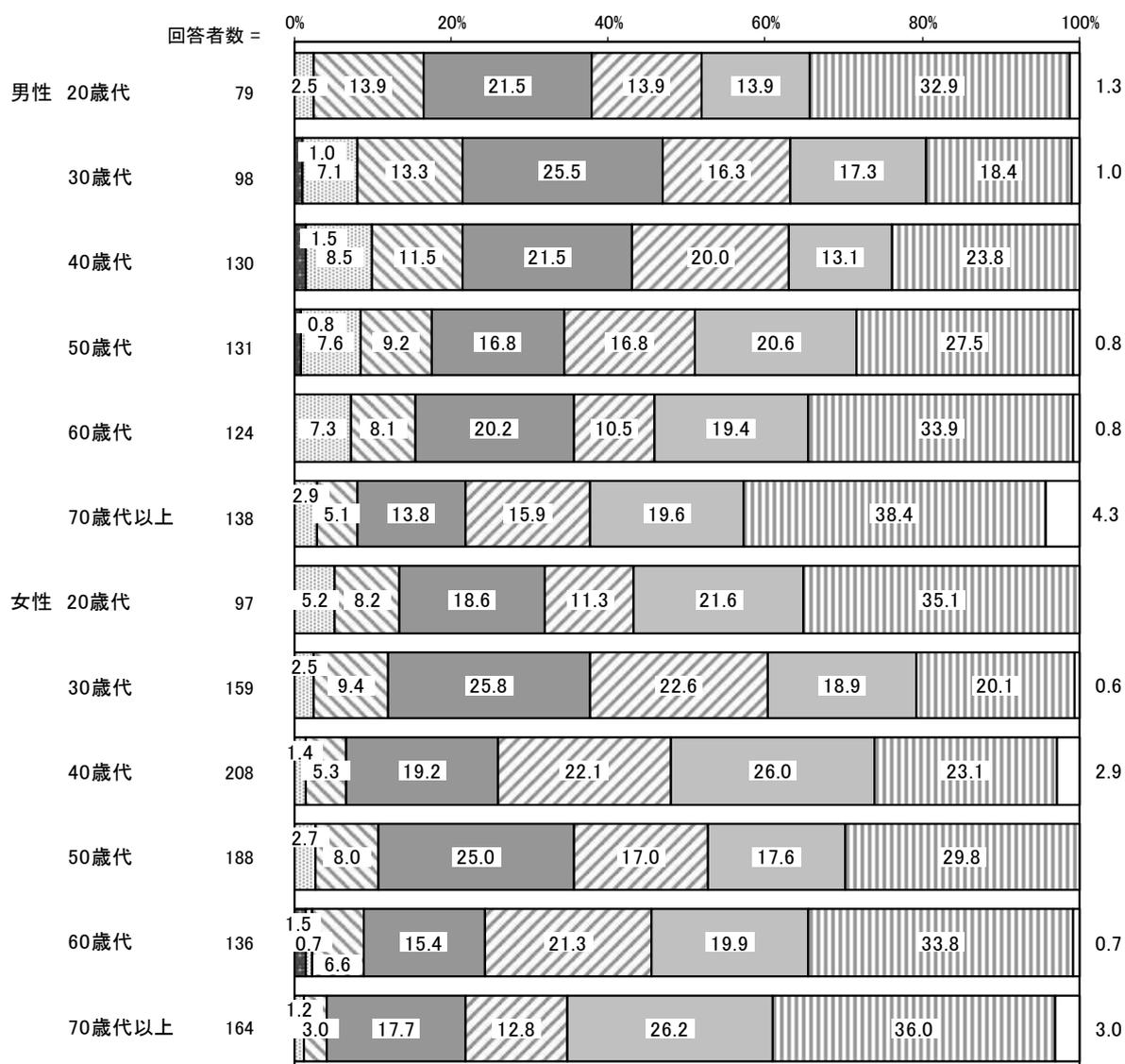
問7 今現在、持ち帰りの市販弁当や総菜をどのぐらい利用していますか。(〇は1つ)

現在の持ち帰りの市販弁当や総菜の利用頻度について、「ほとんど利用しない」の割合が29.1%と最も高く、次いで「週2～3回」と「月1～3回」の割合が20.0%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の70歳代以上で「ほとんど利用しない」の割合が高くなっています。

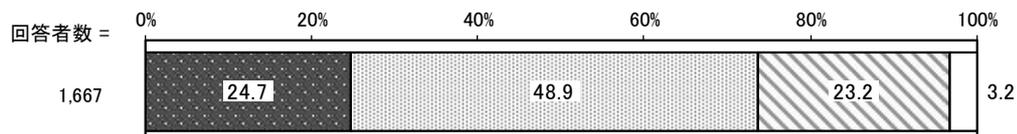


問8 食品の購入のために、次の(ア)～(ク)をどのくらい利用しますか。(各項目に○は1つ)

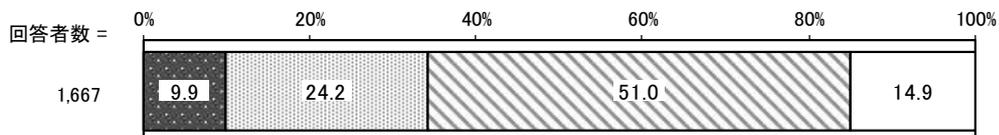
食品の購入のために、利用していることについて、“スーパーマーケット”の「週4日」「週2～3日」の割合が最も高く、73.6%となっています。

■ 週4日以上 ▨ 週2～3日 ▩ 週1日以下 □ 無回答

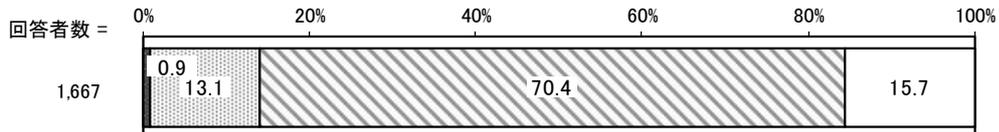
(ア) スーパーマーケット



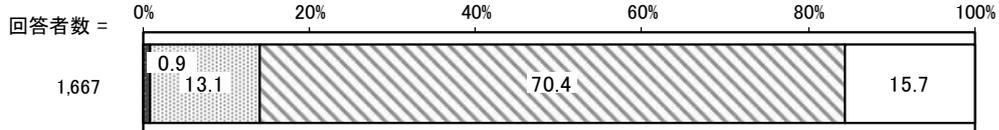
(イ) コンビニエンスストア



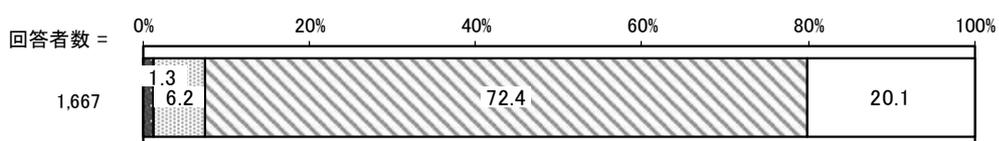
(ウ) ドラッグストア



(エ) 商店街



(オ) 飲食店



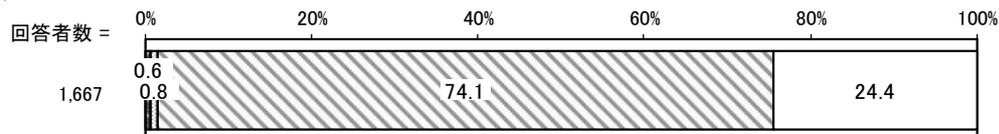
(カ) 宅配サービス

(主に食材)

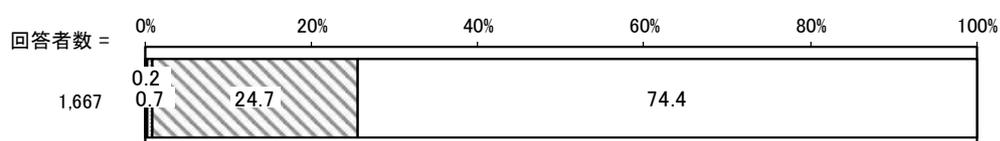


(キ) 配食サービス

(主に弁当)

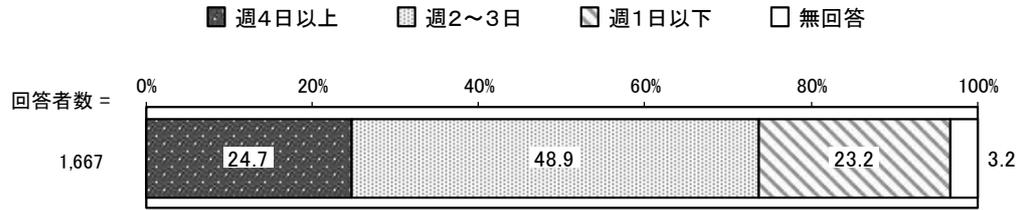


(ク) その他



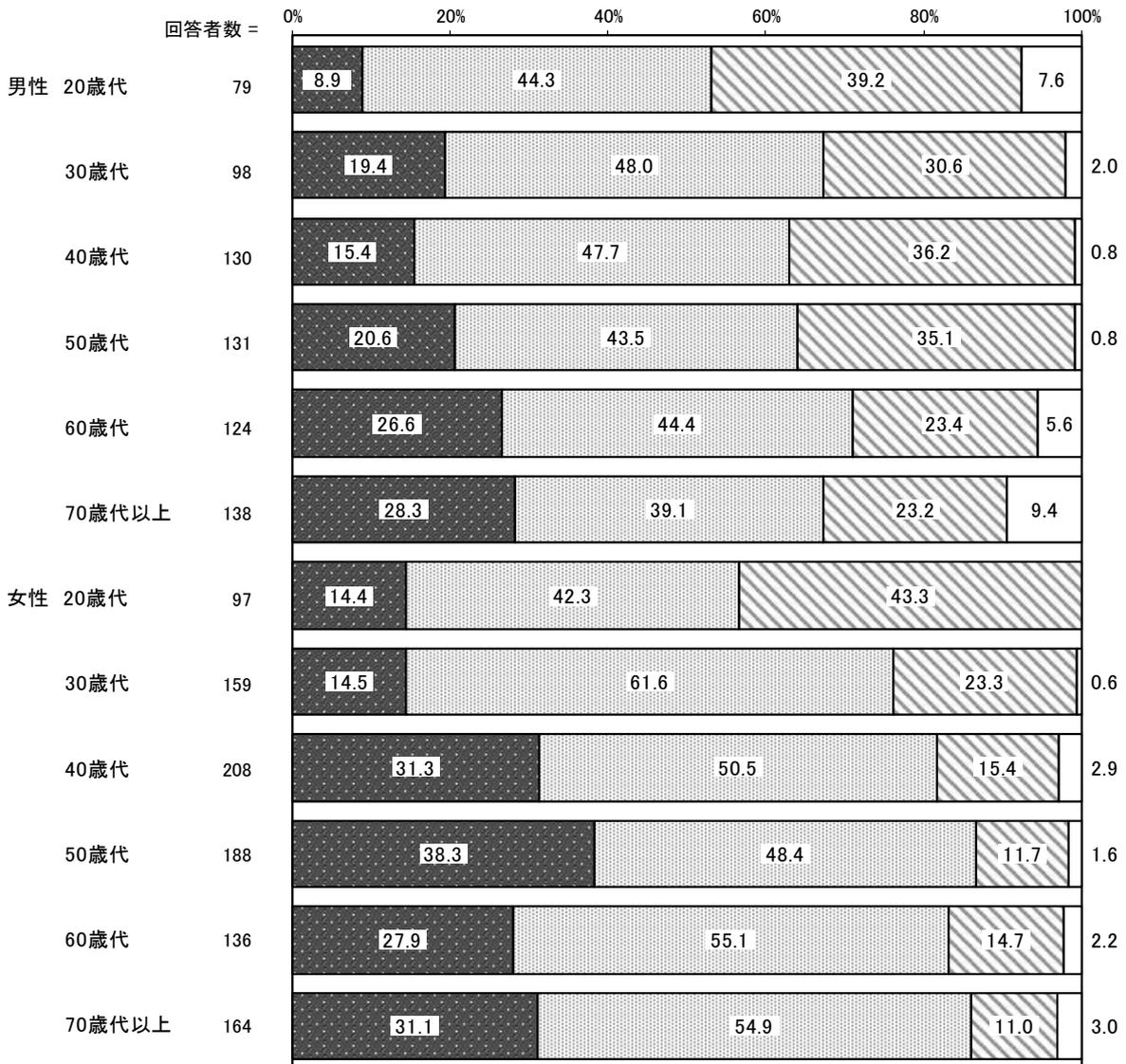
(ア) スーパーマーケットの利用頻度

スーパーマーケットの利用頻度では、「週2～3日」の割合が48.9%と最も高く、次いで「週4日以上」の割合が24.7%、「週1日以下」の割合が23.2%となっています。



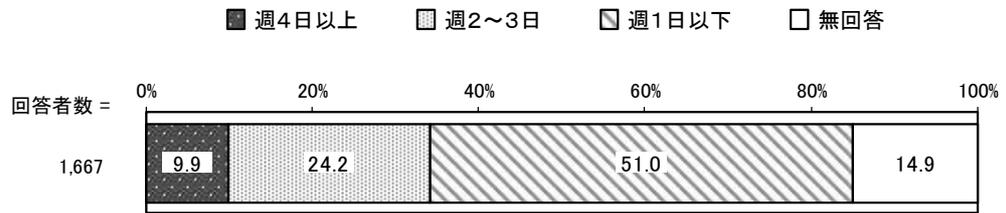
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、女性の20歳代で「週1日以下」の割合が高くなっています。



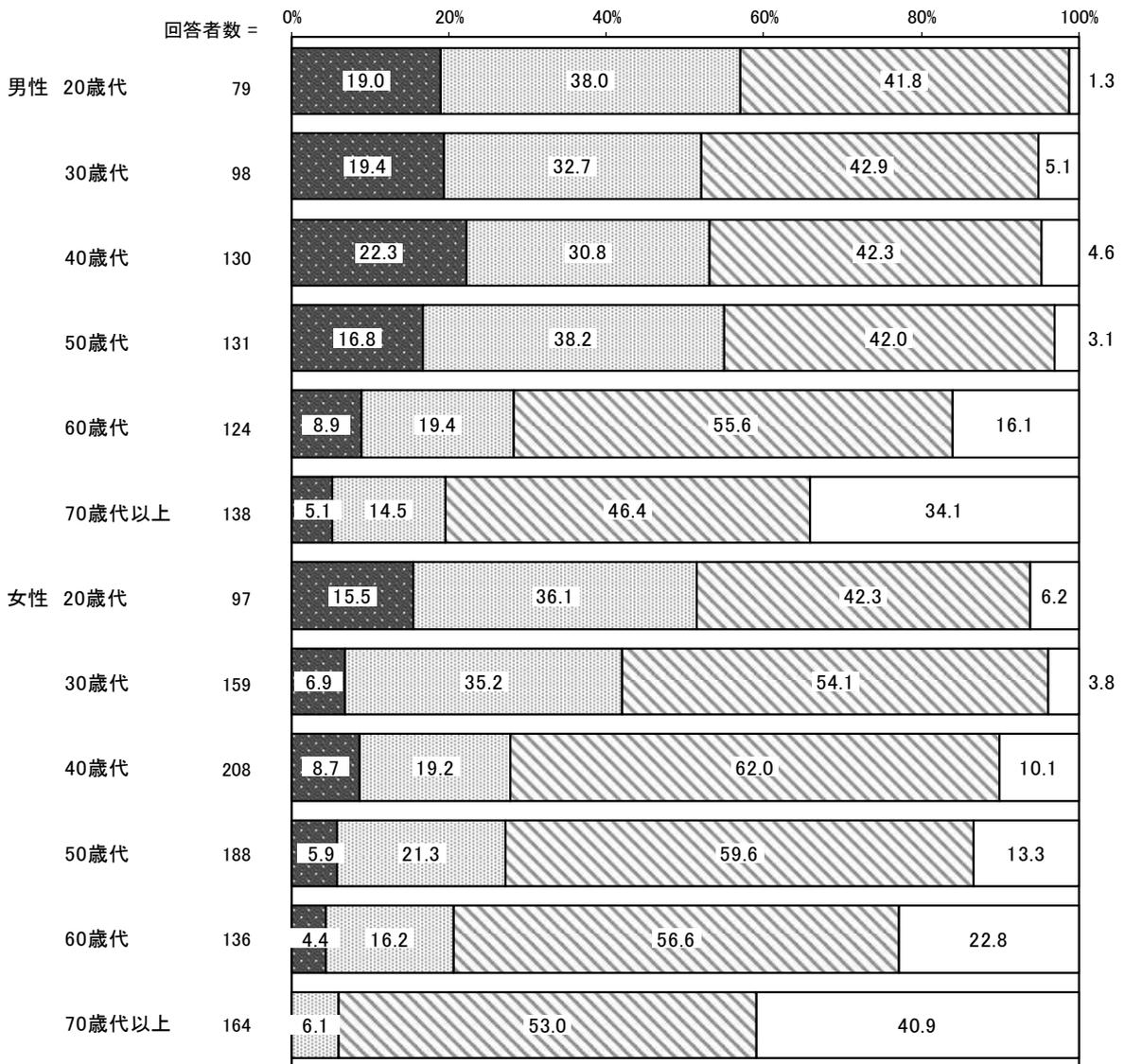
(イ) コンビニエンスストアの利用頻度

コンビニエンスストアの利用頻度では、「週1日以下」の割合が51.0%と最も高く、次いで「週2～3日」の割合が24.2%となっています。



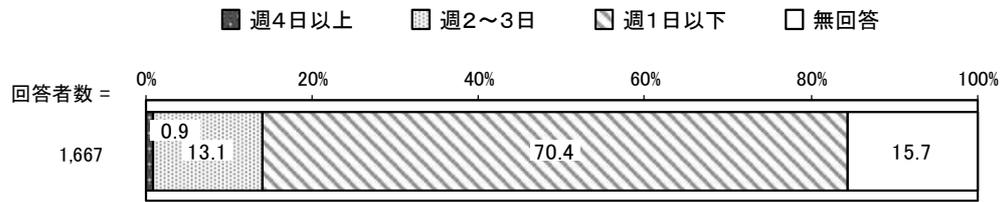
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の60歳代、女性の40歳代で「週1日以下」の割合が高くなっています。



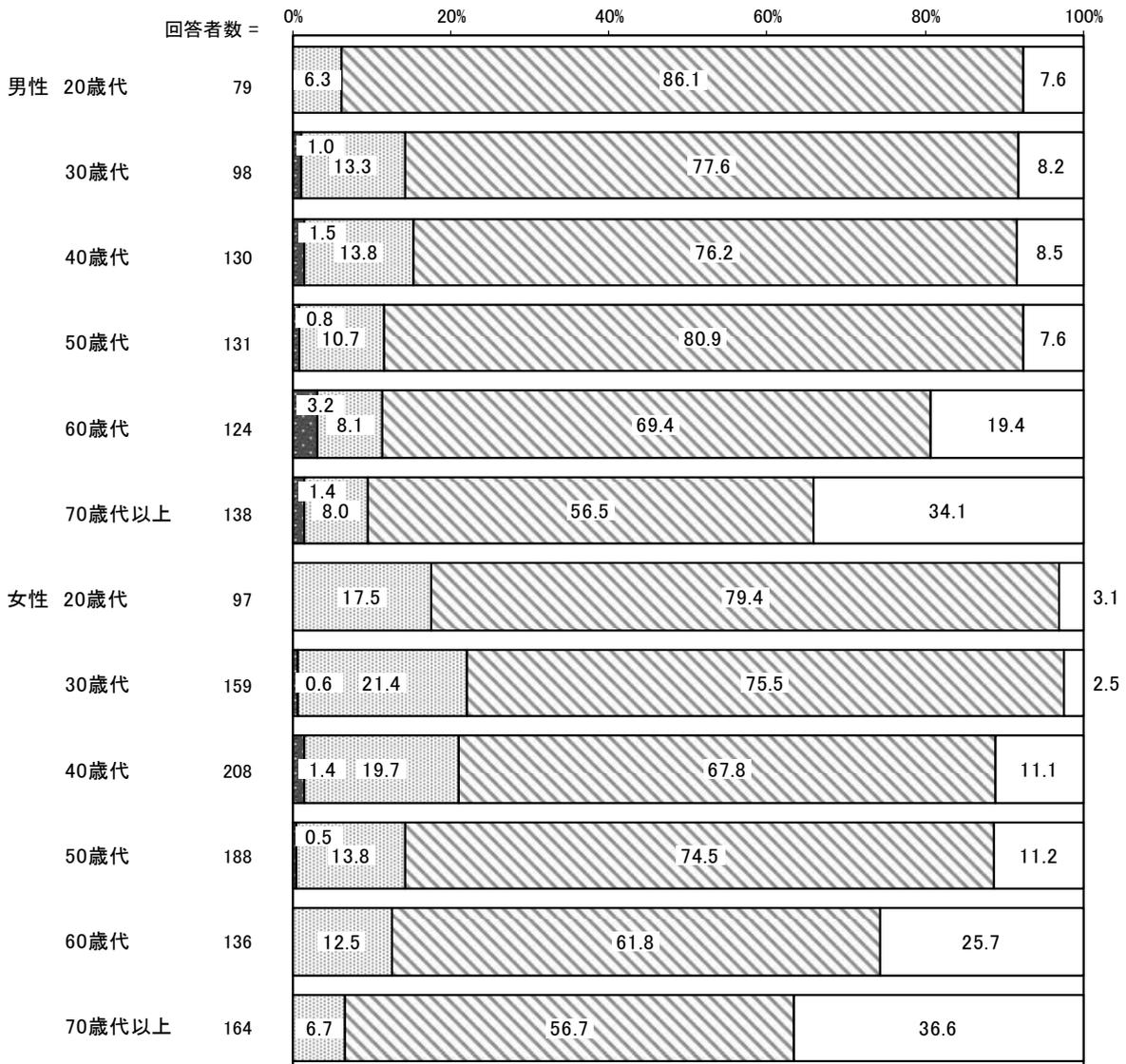
(ウ) ドラッグストアの利用頻度

ドラッグストアの利用頻度では、「週1日以下」の割合が70.4%と最も高く、次いで「週2～3日」の割合が13.1%となっています。



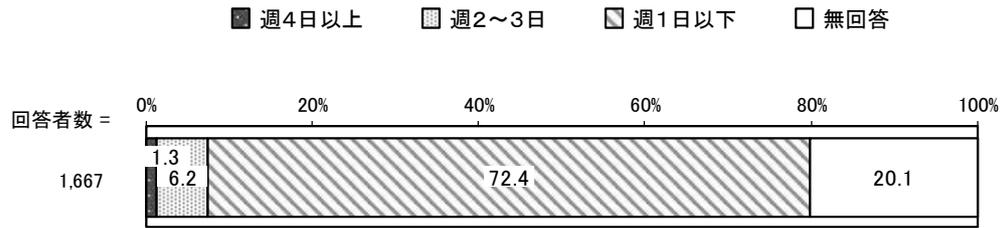
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性、女性ともに20歳代で「週1日以下」の割合が高くなっています。



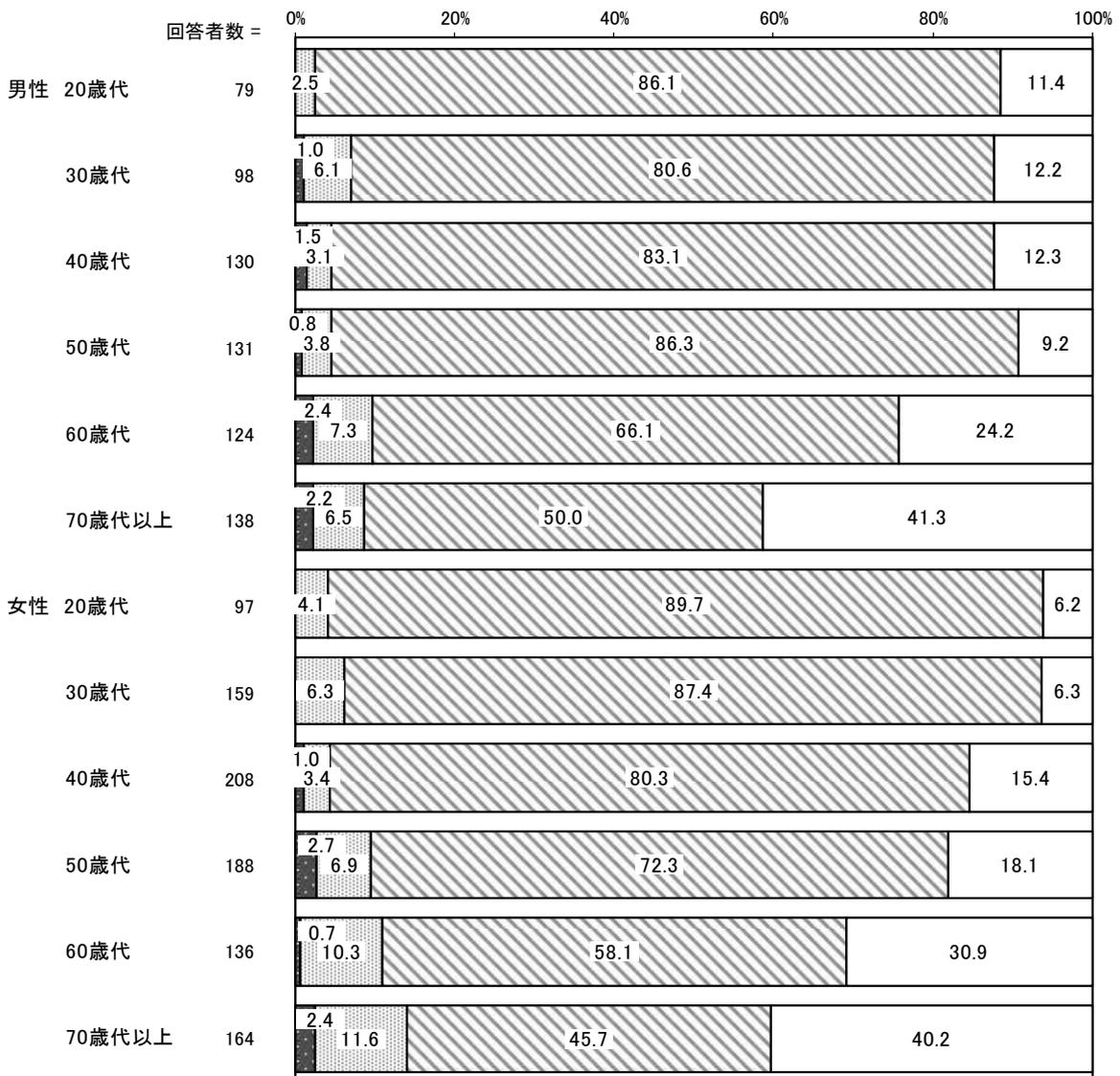
(エ) 商店街の利用頻度

商店街の利用頻度では、「週1日以下」の割合が72.4%と最も高くなっています。



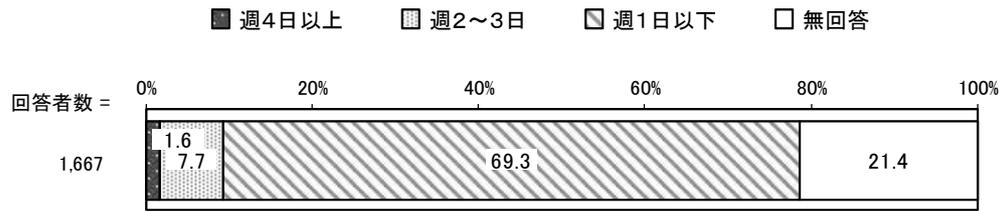
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の20歳代、50歳代、女性の20歳代、30歳代で「週1日以下」の割合が高くなっています。



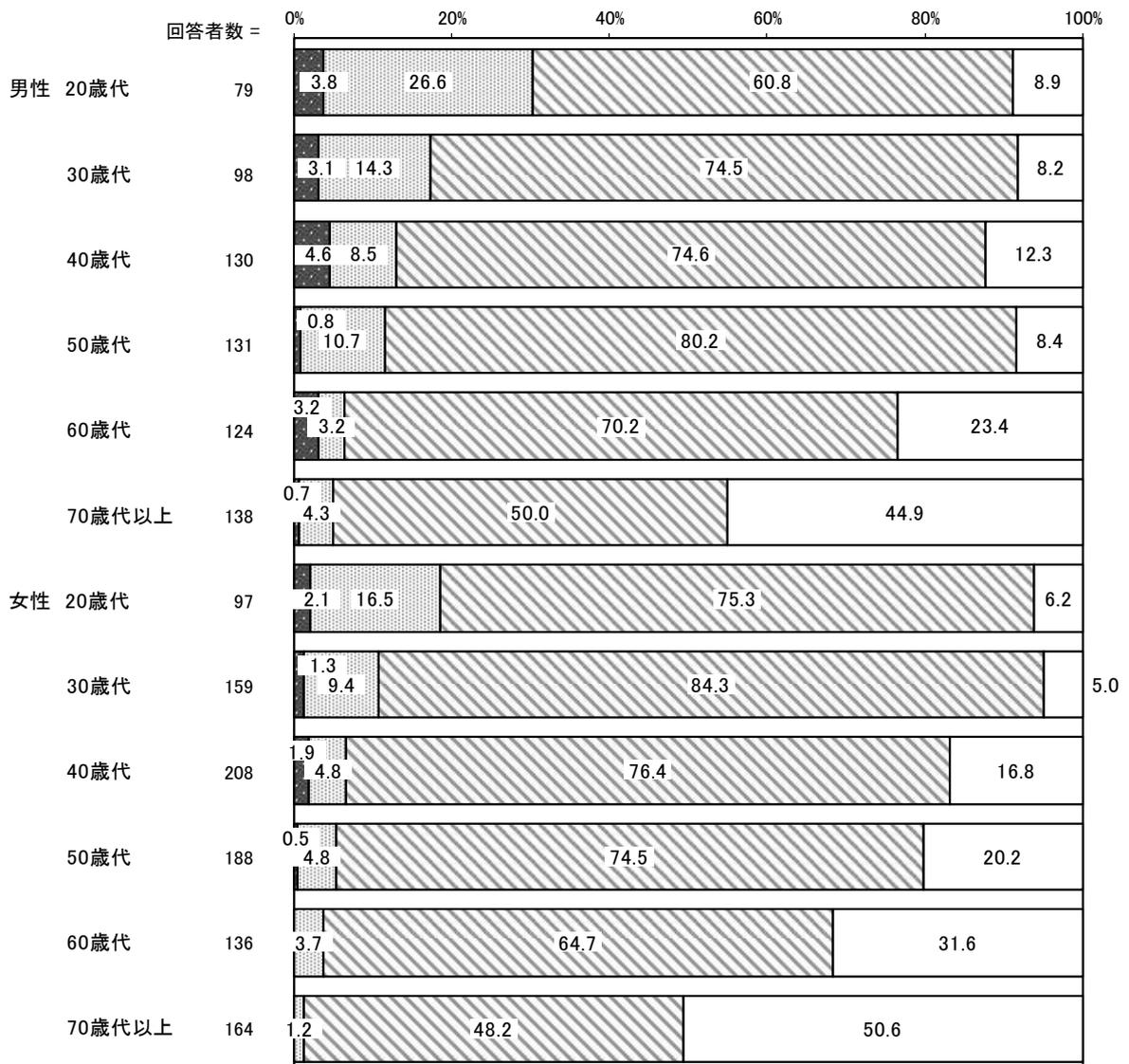
(オ) 飲食店の利用頻度

飲食店の利用頻度では、「週1日以下」の割合が69.3%と最も高くなっています。



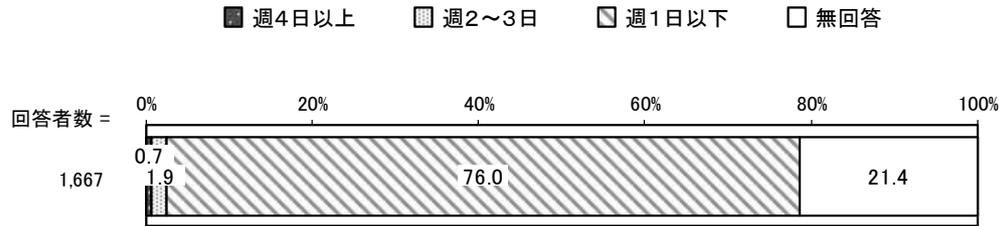
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の50歳代、女性の30歳代で「週1日以下」の割合が高くなっています。



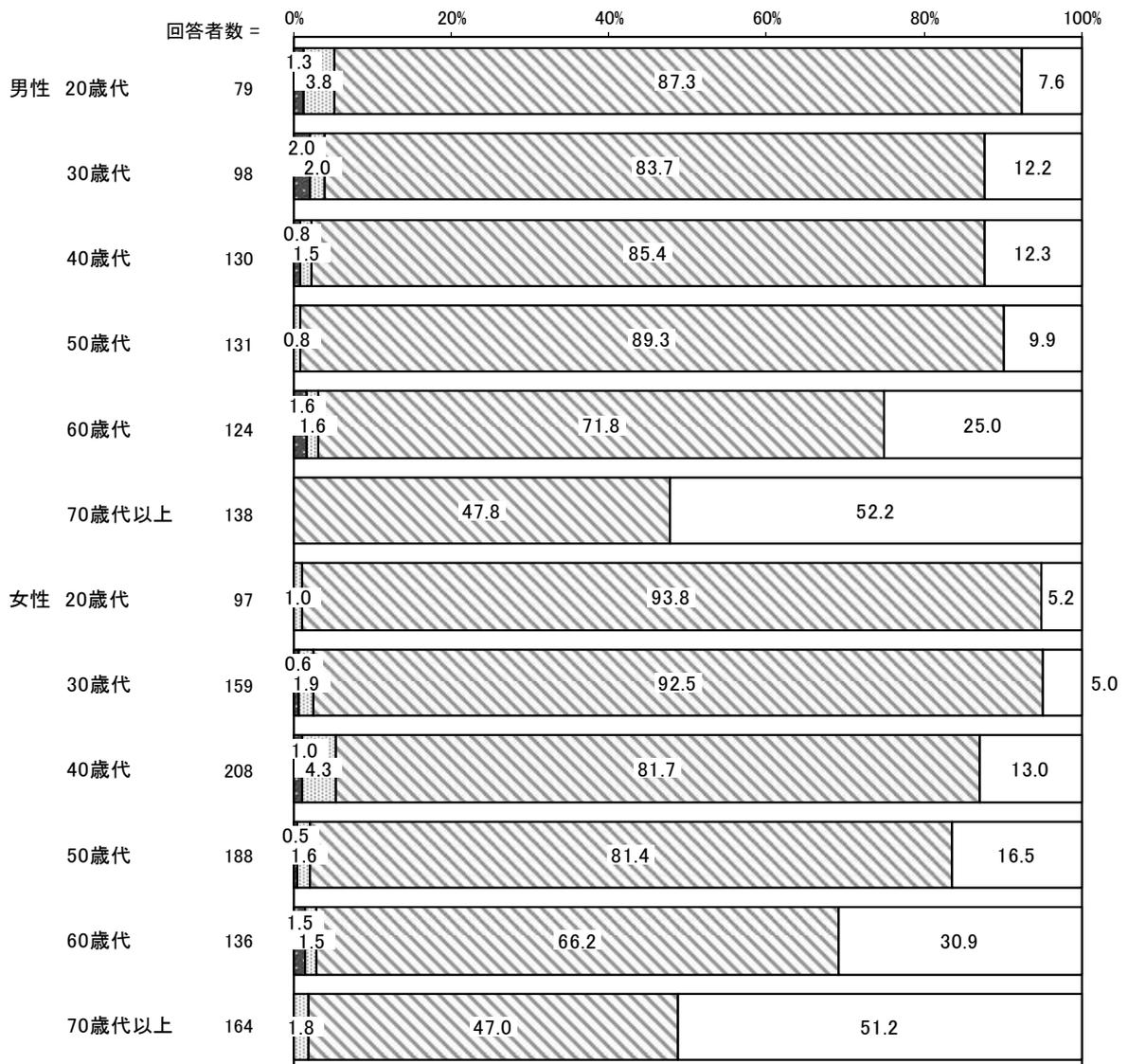
(カ) 宅配サービス（主に食材）の利用頻度

宅配サービス（主に食材）の利用頻度では、「週1日以下」の割合が76.0%と最も高くなっています。



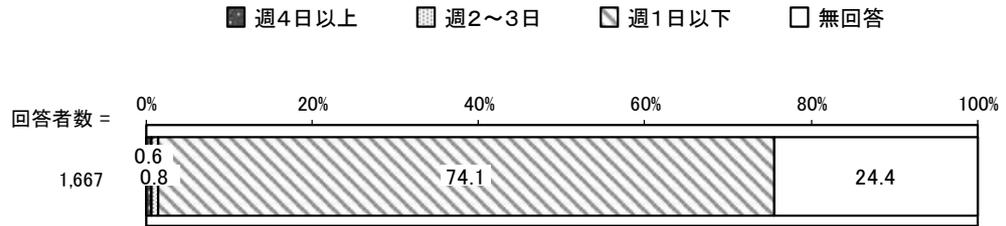
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の50歳代、女性の20歳代、30歳代で「週1日以下」の割合が高くなっています。



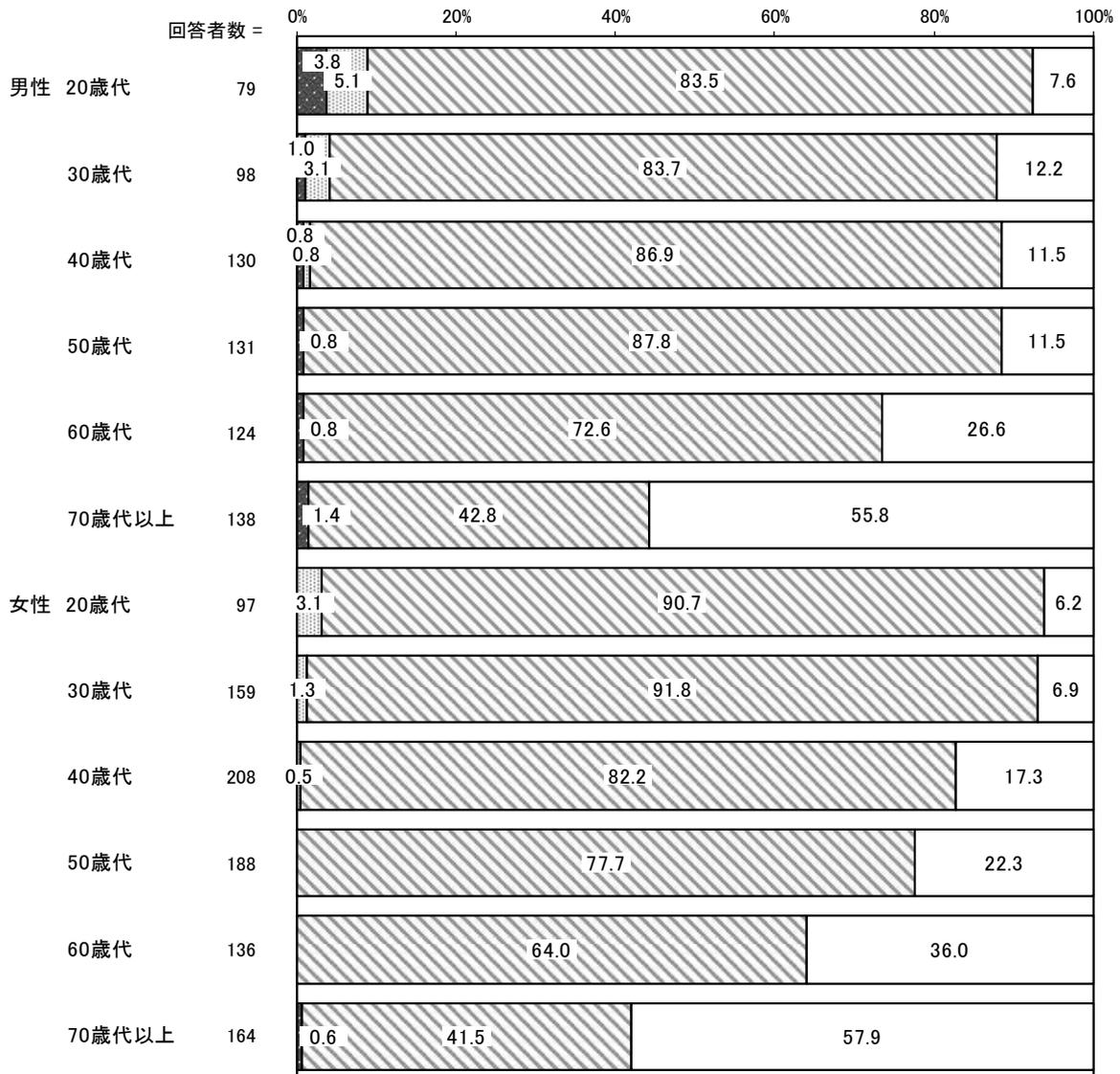
(キ) 配食サービス（主に弁当）の利用頻度

配食サービス（主に弁当）の利用頻度では、「週1日以下」の割合が74.1%と最も高くなっています。



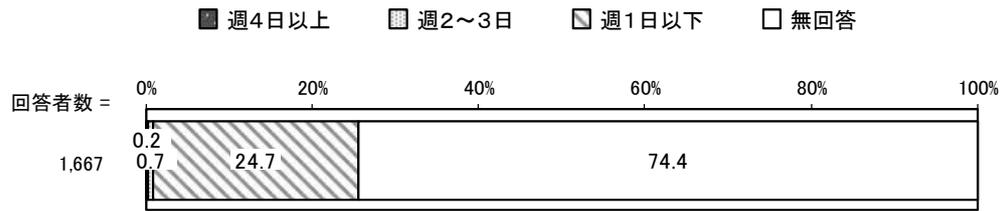
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の40歳代、50歳代、女性の20歳代、30歳代で「週1日以下」の割合が高くなっています。



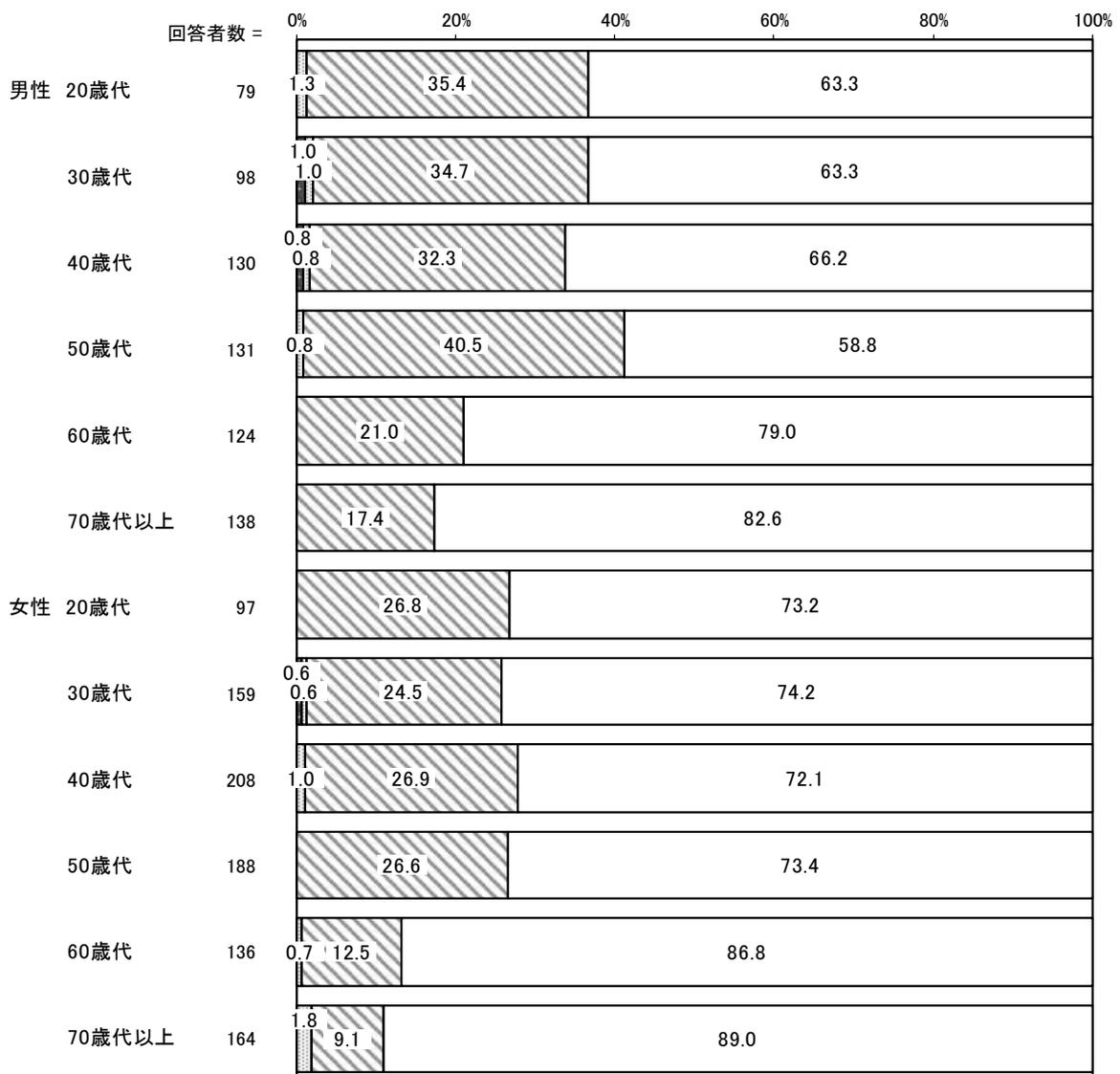
(ク) その他

その他では、無回答が 74.4%。生協、ネットスーパー等の回答がありました。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の 50 歳代で「週 1 日以下」の割合が高くなっています。

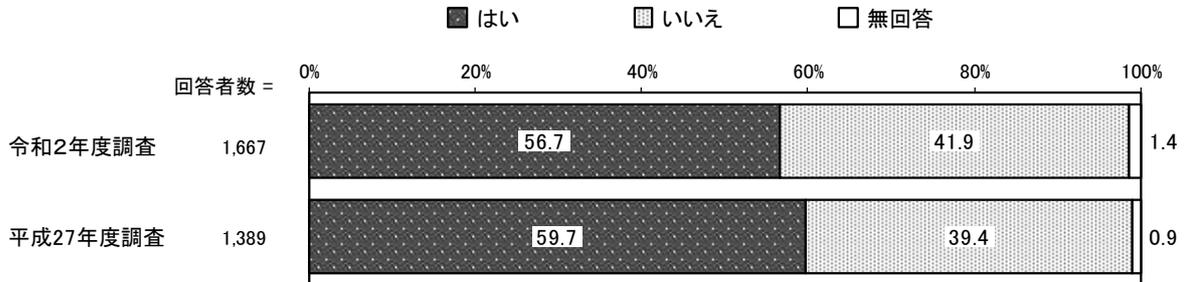


3 地産地消、食文化について

問9 川崎産の農産物があることを知っていますか。(〇は1つ)

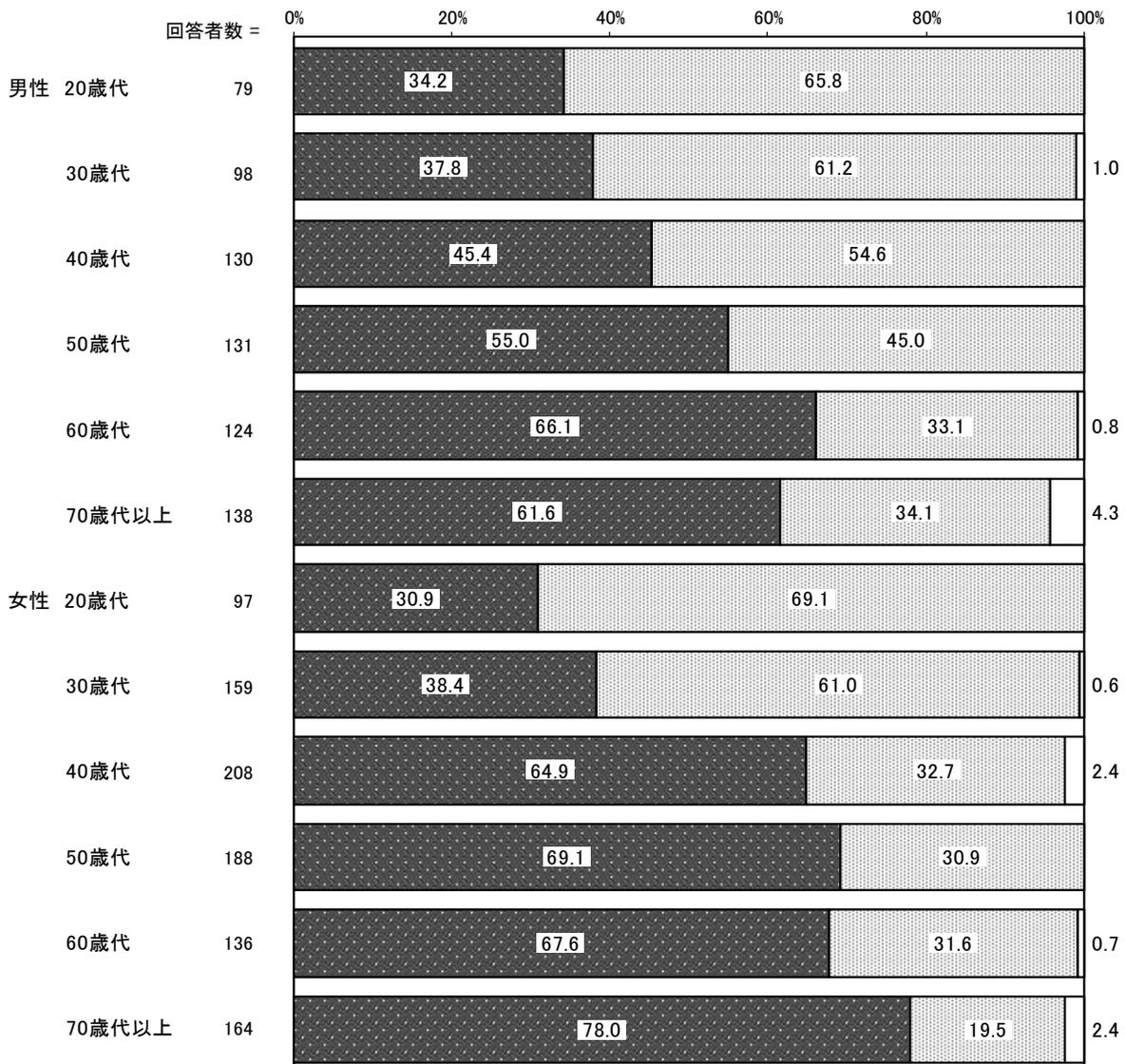
川崎産の農産物の認知度について、「はい」の割合が56.7%、「いいえ」の割合が41.9%となっています。

平成27年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



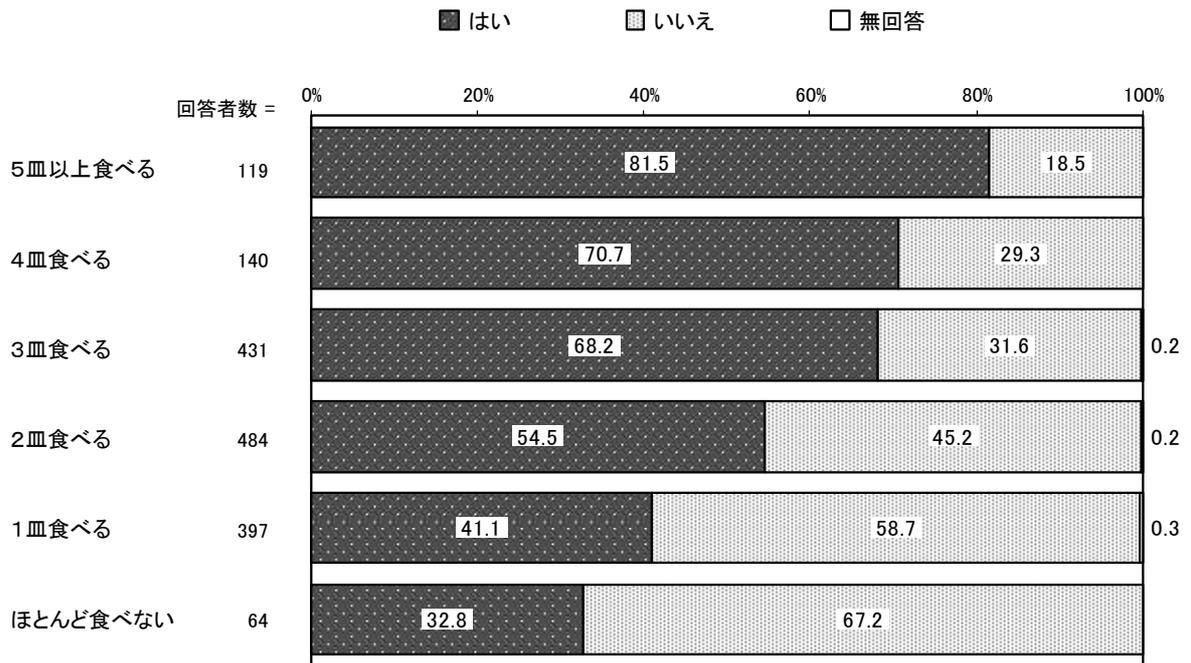
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性、女性ともに20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



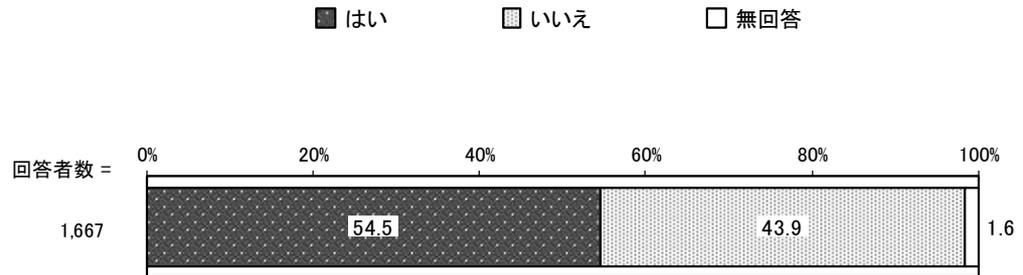
【野菜の量別】

野菜の量別で見ると、皿数が増えるにつれ、「はい」の割合が高くなっています。



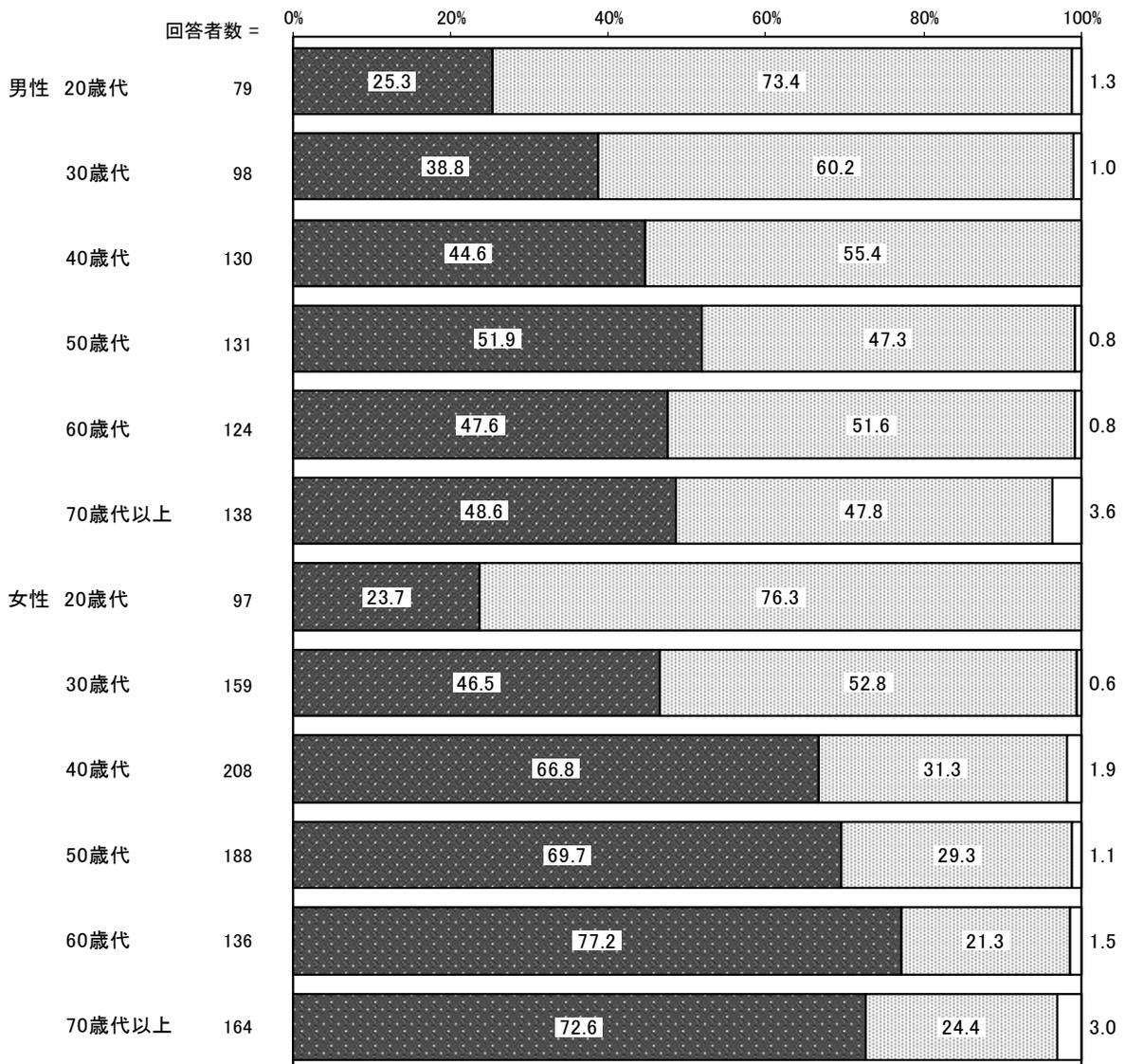
問 10 国産・県内産・川崎産など産地を意識して購入（地産地消）したことがありますか。（〇は1つ）

産地を意識して購入した経験について、「はい」の割合が 54.5%、「いいえ」の割合が 43.9%となっています。



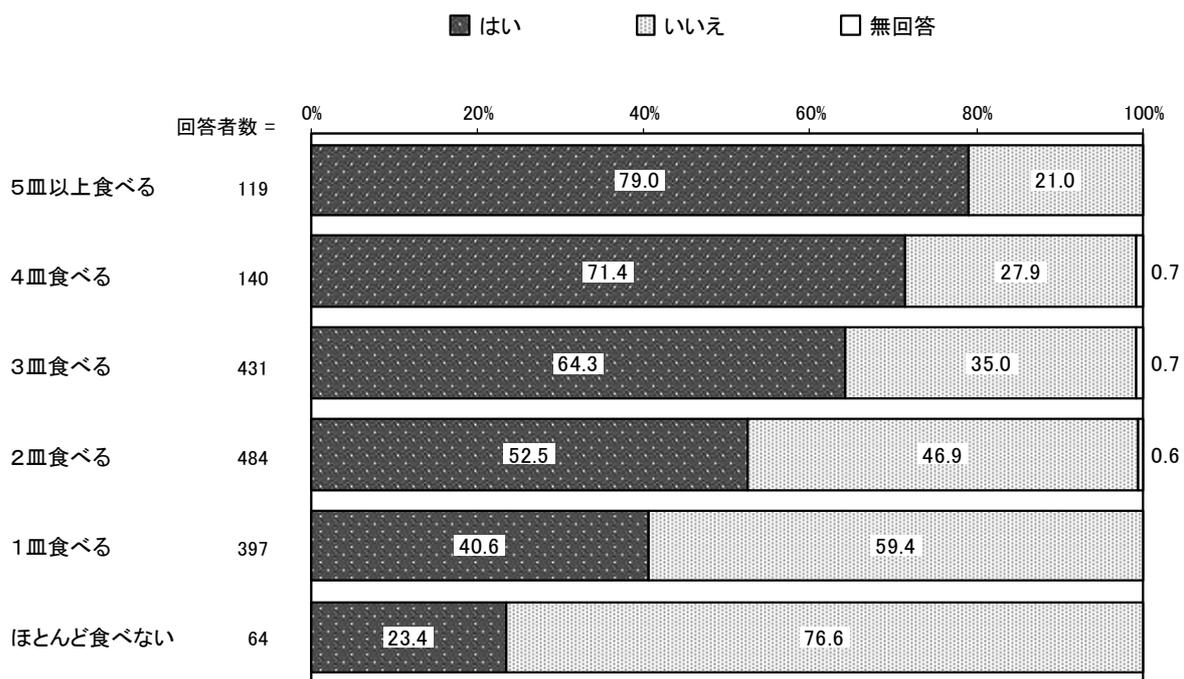
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性、女性ともに 20 歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



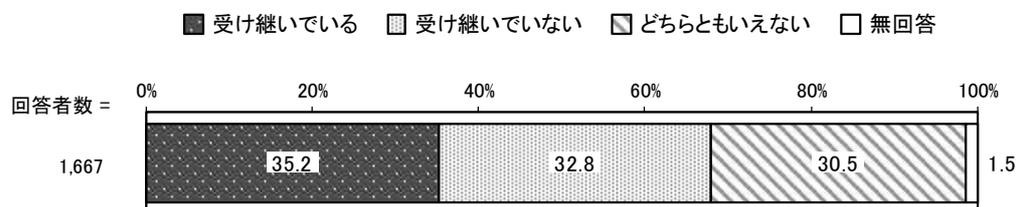
【野菜の量別】

野菜の量別で見ると、皿数が増えるにつれ、「はい」の割合が高くなっています。



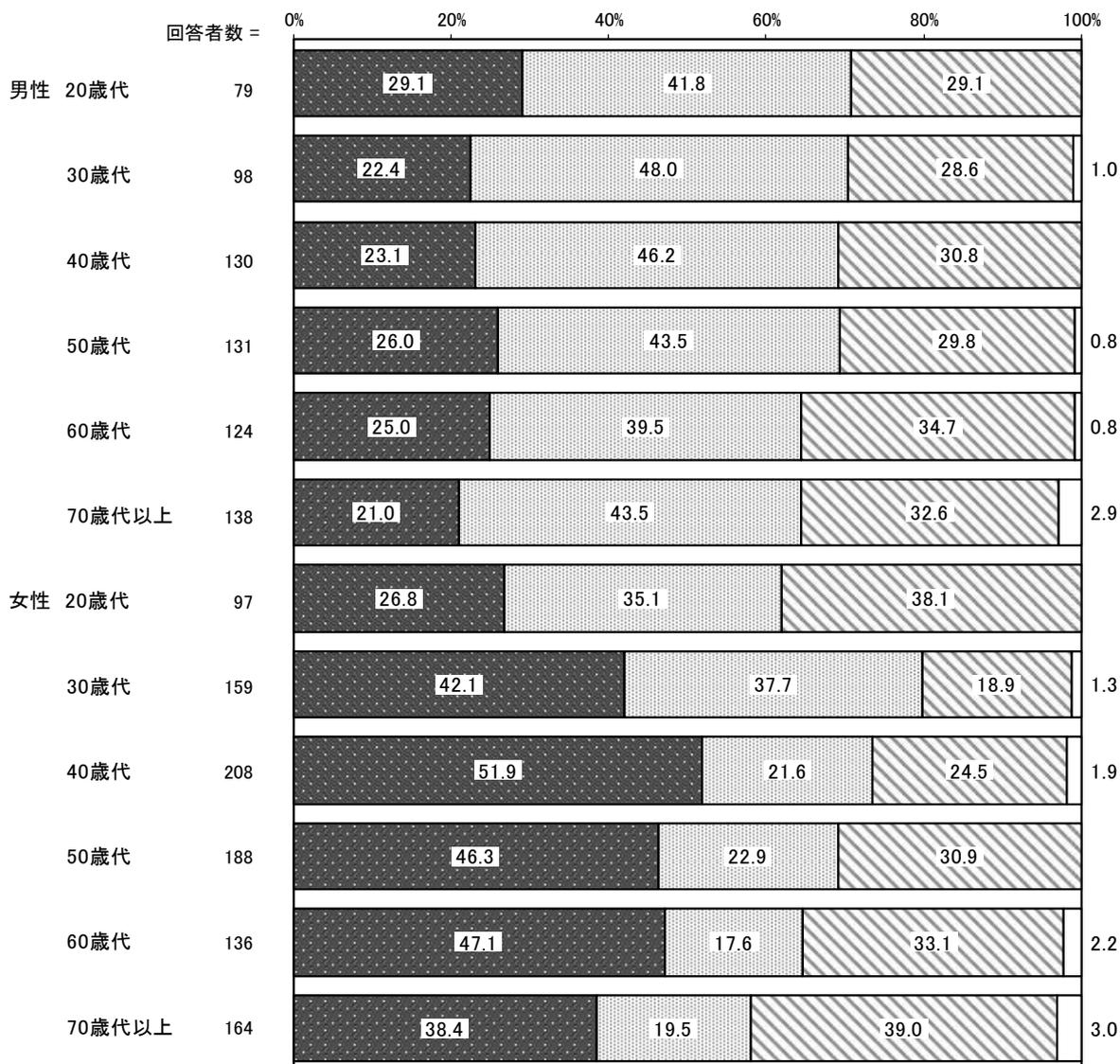
問 11 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。(〇は1つ)

食べ方・作法について、「受け継いでいる」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「受け継いでいない」の割合が 32.8%、「どちらともいえない」の割合が 30.5%となっています。



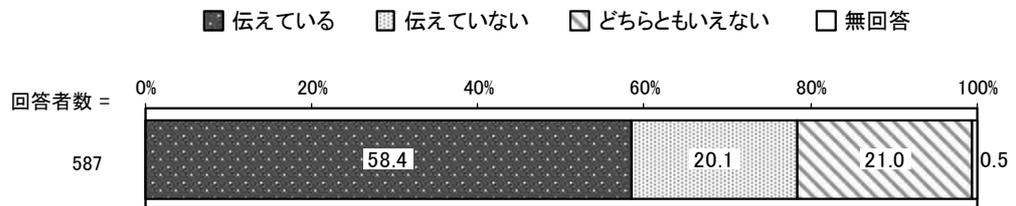
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の30歳代で「受け継いでいない」の割合が高くなっています。



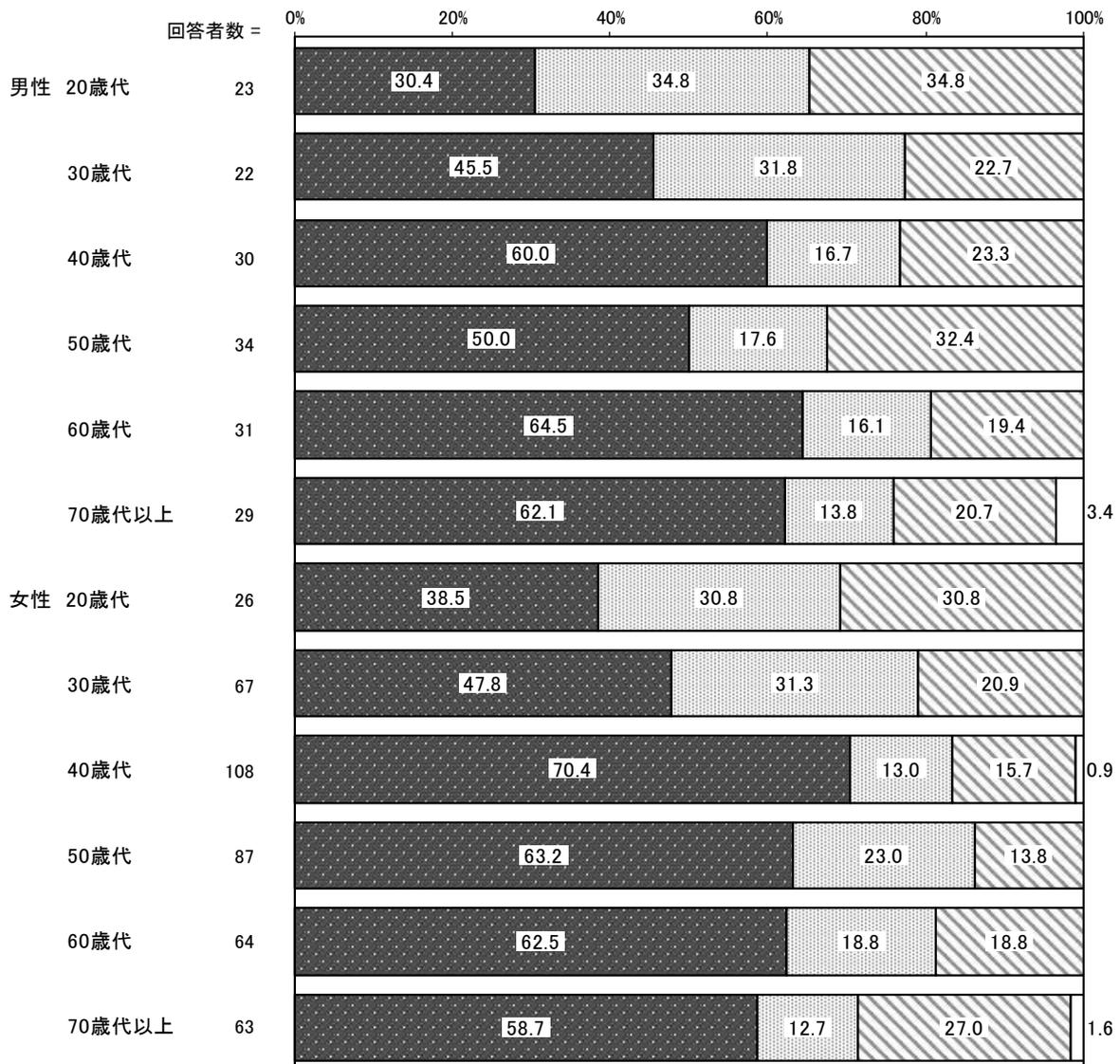
問 11-1 あなたが郷土料理や伝統料理など、地域や家庭において受け継いできた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を、地域や次世代（子どもや孫を含む）に対し伝えていきますか。（○は1つ）

食べ方・作法の地域や次世代への継承について「伝えている」の割合が58.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が21.0%、「伝えていない」の割合が20.1%となっています。



【性・年齢別】

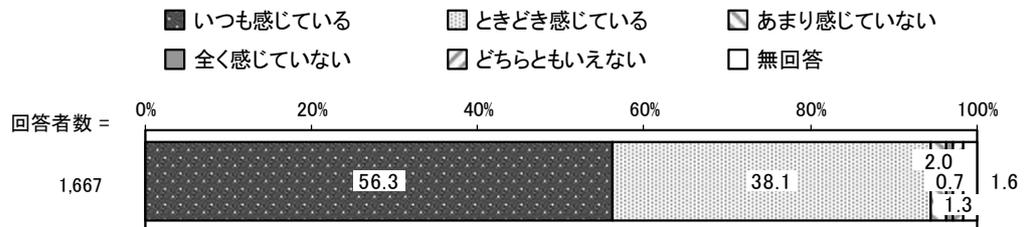
性・年齢別で見ると、男性、女性ともに20歳代、30歳代で「伝えていない」の割合が高くなっています。



4 食品ロス、食の安全性について

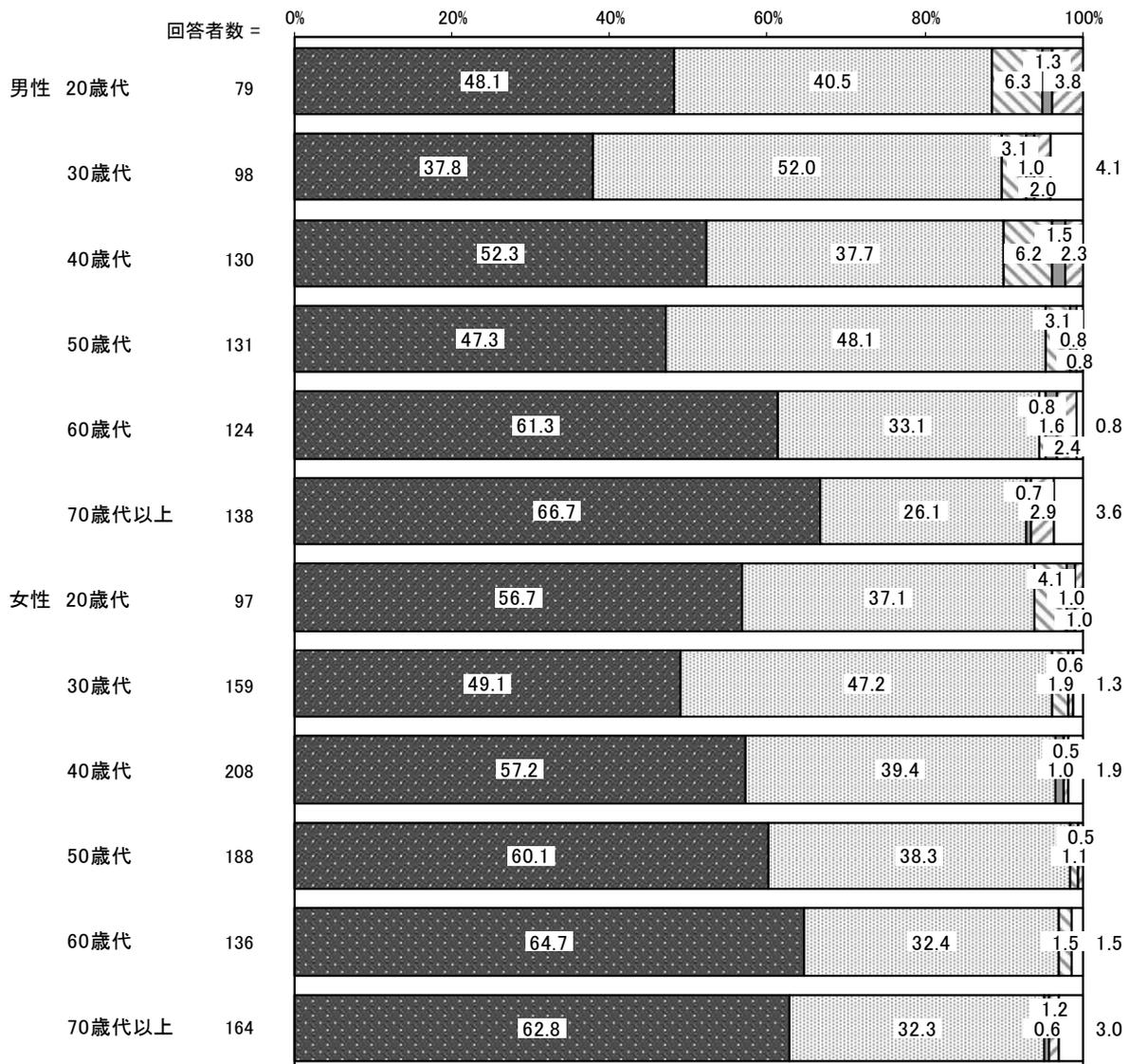
問 12 家庭や食品産業において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、日頃から「もったいない」と感じることはありますか。(〇は1つ)

食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して「もったいない」と感じることについて、「いつも感じている」の割合が56.3%と最も高く、次いで「ときどき感じている」の割合が38.1%となっています。



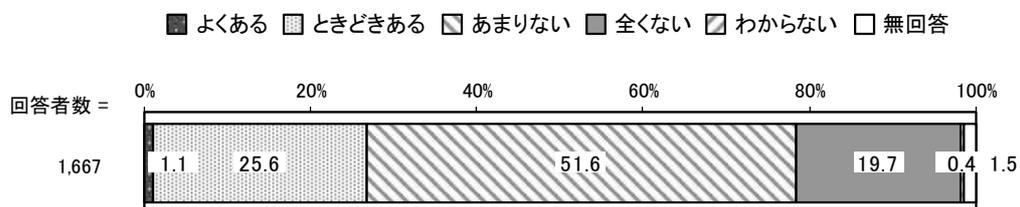
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男性の70歳代以上で「いつも感じている」の割合が高くなっています。



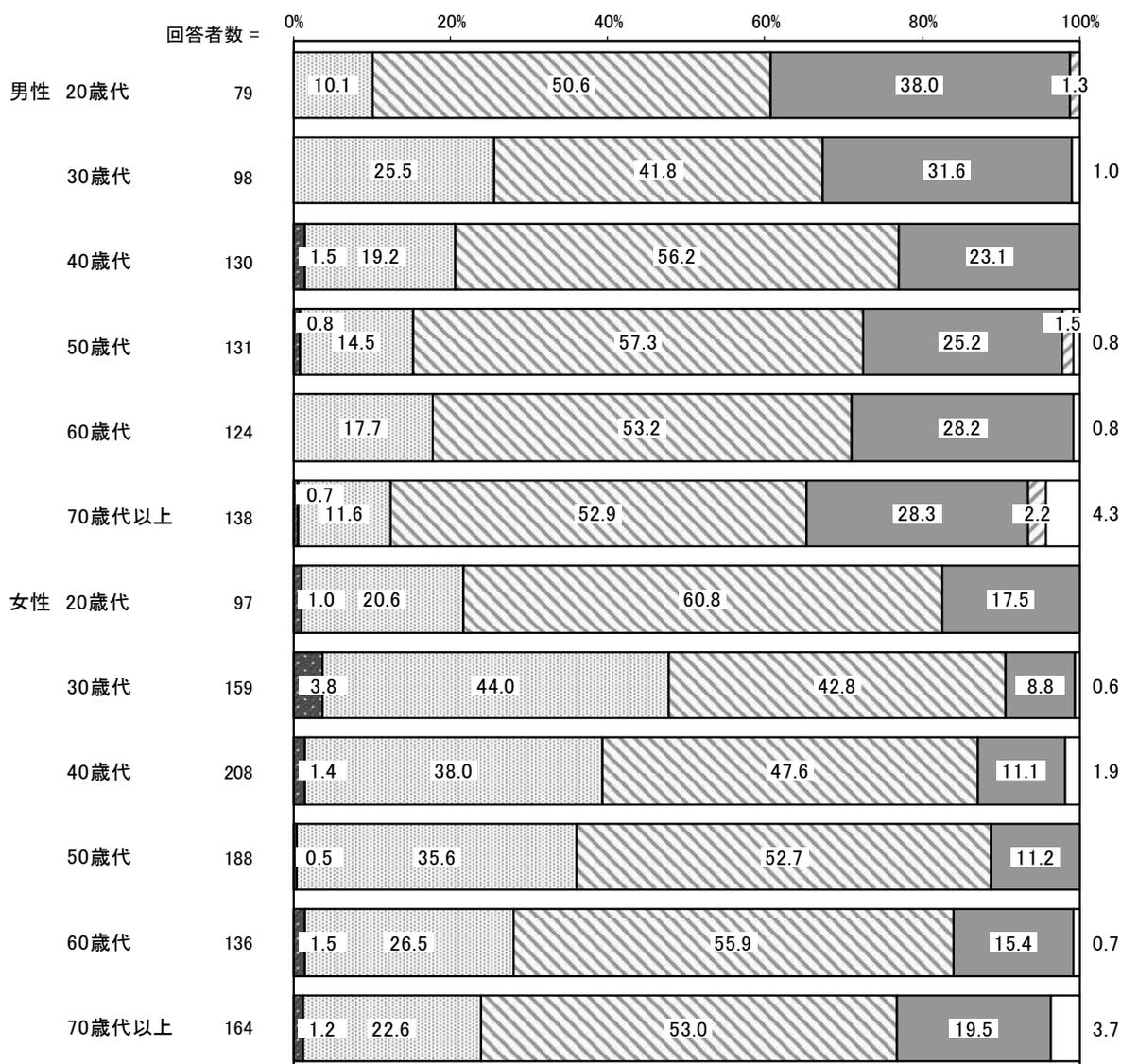
問13 あなたは、購入した食品を食べないまま、捨ててしまうことがありますか。(〇は1つ)

購入した食品を食べないまま捨ててしまうことについて、「あまりない」の割合が51.6%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が25.6%、「全くない」の割合が19.7%となっています。



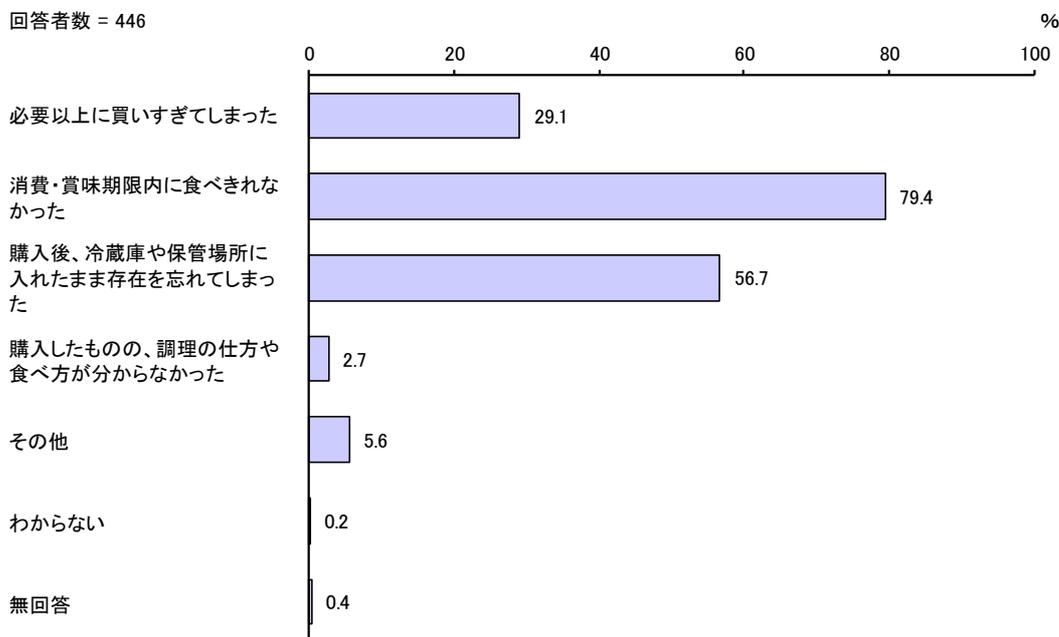
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男性に比べ女性の方が「よくある」「ときどきある」の割合が高く特に女性の30歳代の割合が高くなっています。



問 13-1 捨ててしまった原因は何だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

捨ててしまった原因について、「消費・賞味期限内に食べきれなかった」の割合が 79.4%と最も高く、次いで「購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れてしまった」の割合が 56.7%、「必要以上に買いすぎてしまった」の割合が 29.1%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の 30 歳代、40 歳代、女性の 30 歳代で「消費・賞味期限内に食べきれなかった」の割合が高くなっています。

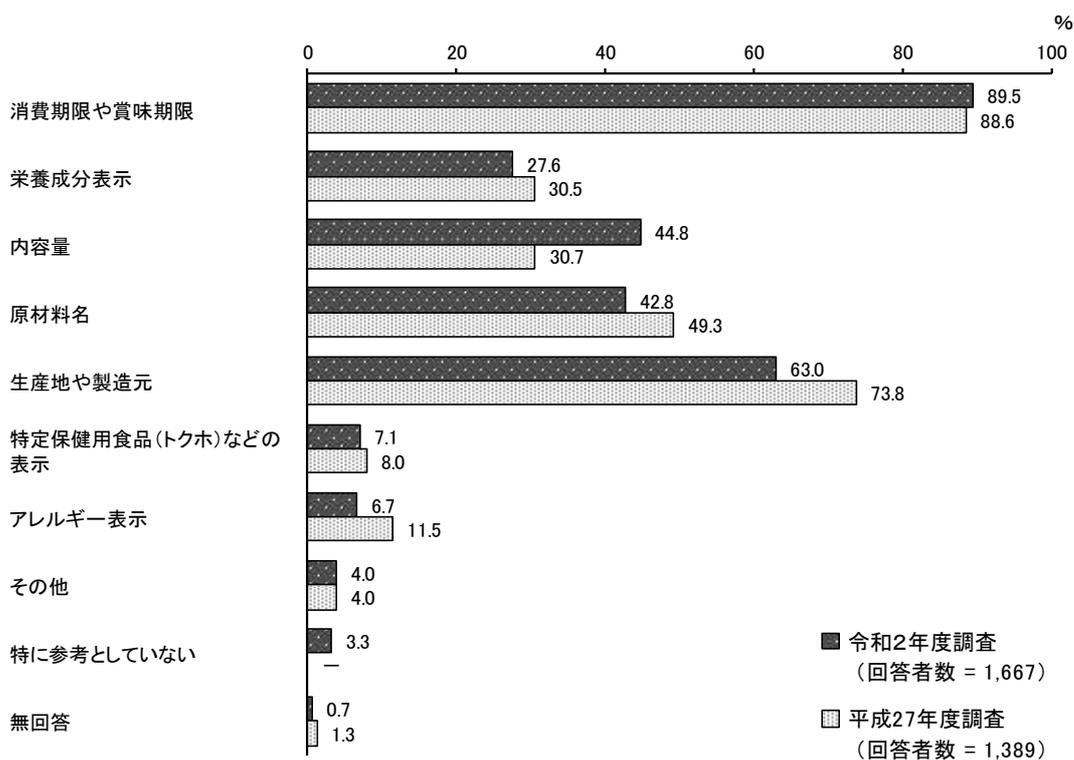
単位：%

区分	有効回答数 (件)	必要以上に買いすぎてしまった	消費・賞味期限内に食べきれなかった	購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れてしまった	購入したものの、調理の仕方や食べ方が分からなかった	その他	わからない	無回答
男性 20 歳代	8	50.0	87.5	62.5	—	12.5	—	—
30 歳代	25	20.0	88.0	56.0	—	8.0	—	—
40 歳代	27	33.3	88.9	40.7	3.7	3.7	—	—
50 歳代	20	20.0	80.0	65.0	—	—	—	—
60 歳代	22	9.1	63.6	50.0	4.5	9.1	—	—
70 歳代以上	17	41.2	58.8	64.7	—	5.9	5.9	—
女性 20 歳代	21	19.0	85.7	52.4	—	—	—	—
30 歳代	76	30.3	88.2	50.0	3.9	2.6	—	—
40 歳代	82	32.9	79.3	65.9	3.7	8.5	—	1.2
50 歳代	68	27.9	79.4	54.4	4.4	7.4	—	1.5
60 歳代	38	28.9	81.6	60.5	2.6	5.3	—	—
70 歳代以上	39	38.5	61.5	59.0	—	2.6	—	—

問 14 食品を購入するときに、表示で参考に使っているものはありますか。(あてはまるもの全てに○)

食品を購入するときに、表示で参考に使っているものについて、「消費期限や賞味期限」の割合が89.5%と最も高く、次いで「生産地や製造元」の割合が63.0%、「内容量」の割合が44.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「内容量」の割合が増加しています。一方、「原材料名」「生産地や製造元」の割合が減少しています。



※平成27年度調査には、「特に参考としていない」の選択肢はありません。

【性・年齢別】

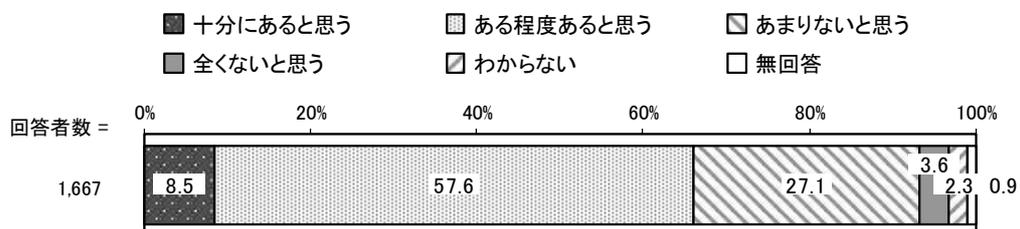
性・年齢別で見ると、男性、女性ともに年齢が低くなるにつれ「内容量」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	消費期限や賞味期限	栄養成分表示	内容量	原材料名	生産地や製造元	特定保健用食品(トクホ)などの表示	アレルギー表示	その他	特に参考としない	無回答
男性 20歳代	79	79.7	35.4	57.0	26.6	22.8	3.8	2.5	5.1	7.6	—
30歳代	98	83.7	28.6	54.1	40.8	46.9	8.2	11.2	1.0	6.1	—
40歳代	130	80.8	24.6	41.5	36.9	59.2	6.2	6.2	6.2	7.7	—
50歳代	131	87.8	30.5	41.2	31.3	58.8	7.6	3.1	0.8	2.3	0.8
60歳代	124	89.5	25.8	37.1	38.7	61.3	5.6	4.0	4.8	4.8	—
70歳代以上	138	87.7	15.9	29.0	37.0	56.5	4.3	5.1	4.3	7.2	2.2
女性 20歳代	97	88.7	28.9	58.8	24.7	37.1	7.2	4.1	2.1	4.1	—
30歳代	159	92.5	25.8	55.3	41.5	65.4	0.6	6.3	5.7	1.3	—
40歳代	208	92.3	27.4	50.5	54.8	75.0	7.7	7.7	3.4	1.4	0.5
50歳代	188	94.1	31.4	48.4	55.3	78.7	9.0	8.0	2.7	1.1	0.5
60歳代	136	97.1	30.1	33.8	51.5	79.4	10.3	12.5	7.4	0.7	—
70歳代以上	164	90.9	29.9	38.4	48.2	72.0	12.2	7.3	3.7	1.2	2.4

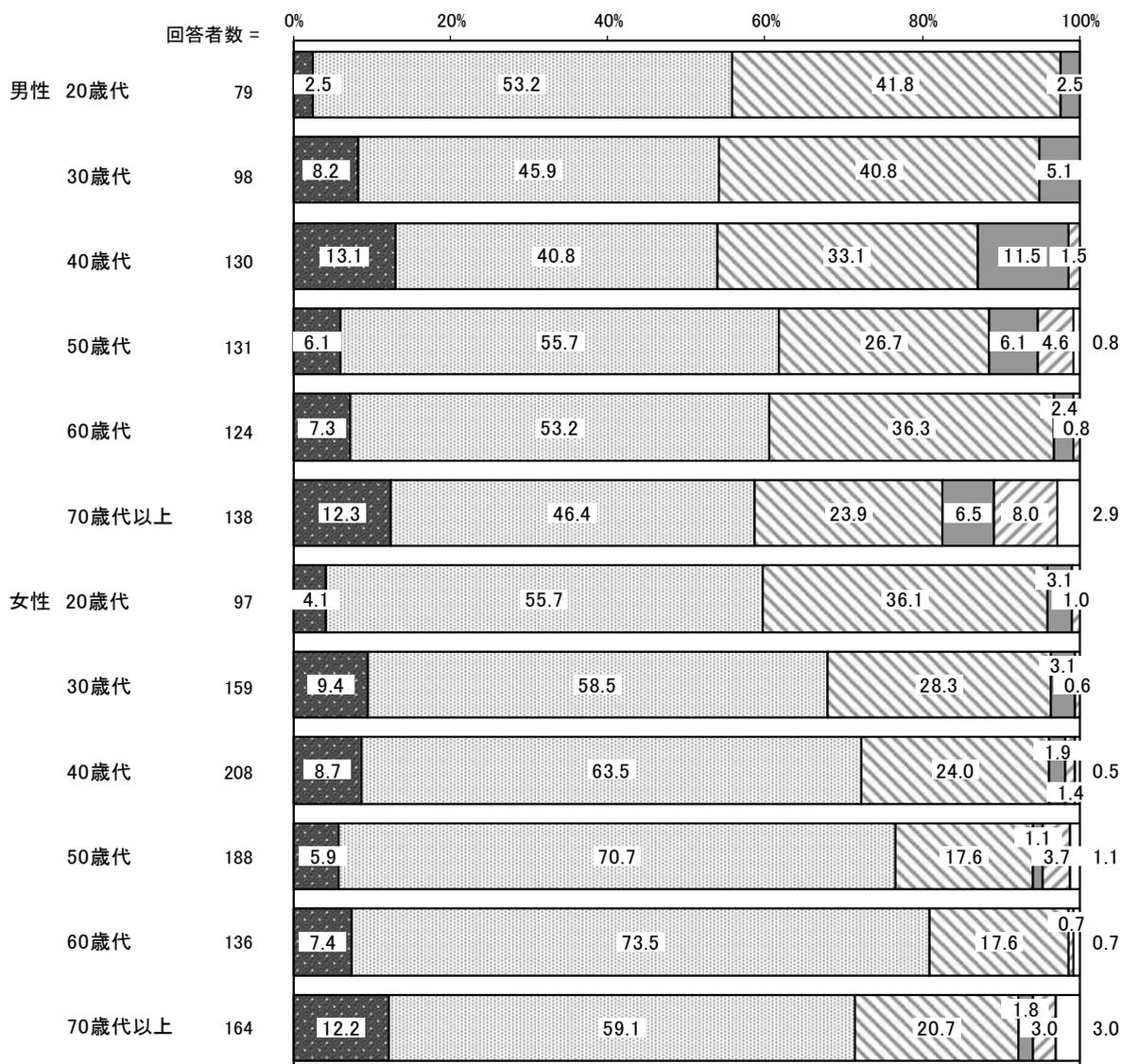
問 15 あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識（食物アレルギーや食中毒防止など）があると思いますか。（○は1つ）

食品の安全性に関する基礎的な知識について、「ある程度あると思う」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「あまりないと思う」の割合が 27.1%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の方が「あまりないと思う」「全くないと思う」の割合が高く、特に男性の20歳代30歳代、40歳代の割合が高くなっています。

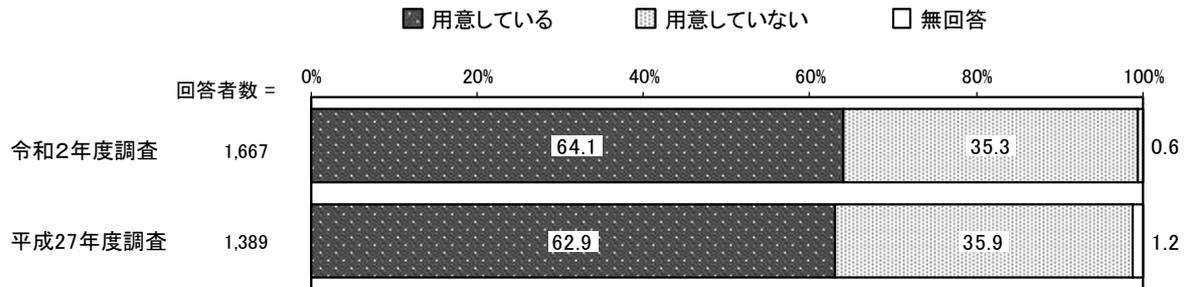


5 災害時の備蓄について

問 16 災害時（地震や風水害だけでなく、新型コロナウイルス感染症拡大も含む）に備えて、非常用の食料や飲料を用意していますか。（○は1つ）

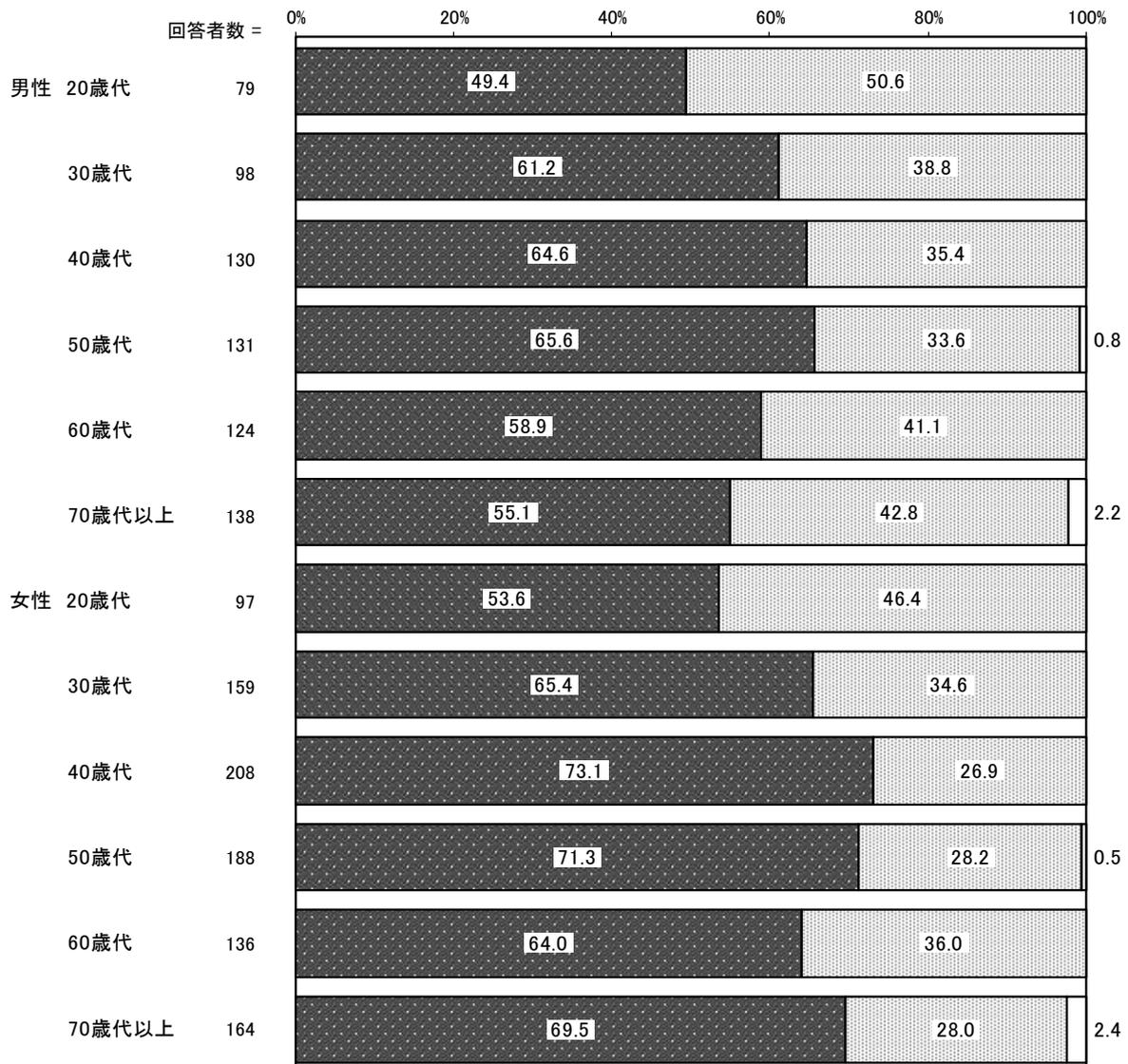
非常用の食料や飲料の用意について、「用意している」の割合が 64.1%、「用意していない」の割合が 35.3%となっています。

平成 27 年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

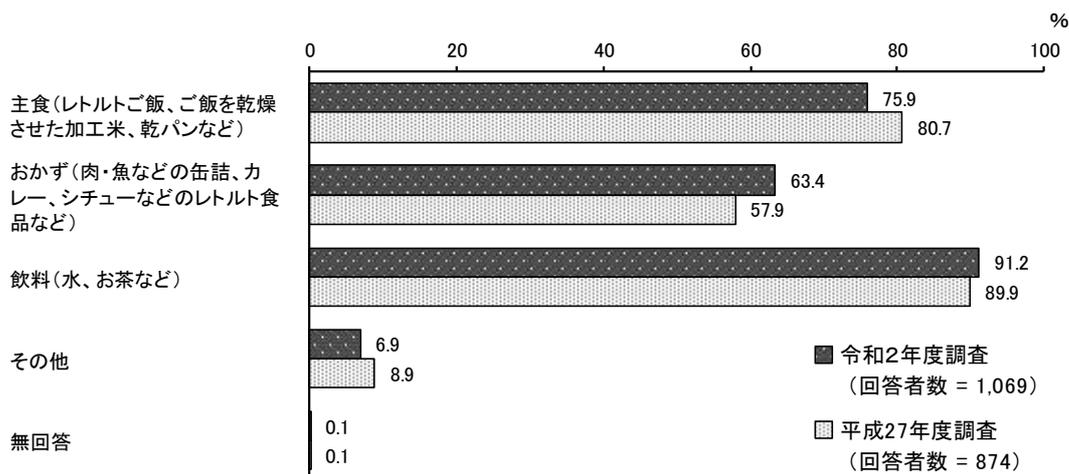
性・年齢別で見ると、男性、女性ともに 20 歳代で「用意していない」の割合が高くなっています。



問 16-1 非常用の食料などとしてどんなものを用意していますか。(あてはまるもの全てに○)

用意している非常用の食料について、「飲料（水、お茶など）」の割合が 91.2%と最も高く、次いで「主食（レトルトご飯、ご飯を乾燥させた加工米、乾パンなど）」の割合が 75.9%、「おかず（肉・魚などの缶詰、カレー、シチューなどのレトルト食品など）」の割合が 63.4%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「おかず（肉・魚などの缶詰、カレー、シチューなどのレトルト食品など）」の割合が増加しています。



【性・年齢別】

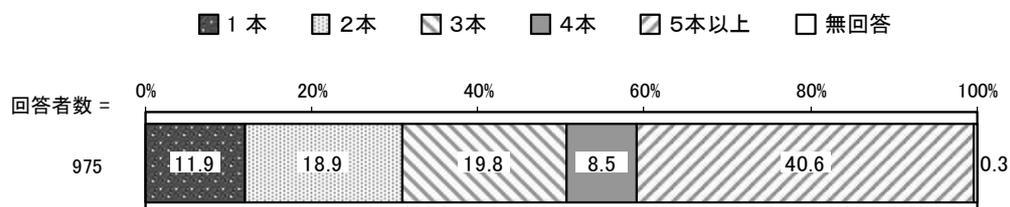
性・年齢別でみると、男性の 30 歳代で「主食（レトルトご飯、ご飯を乾燥させた加工米、乾パンなど）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	主食(レトルトご飯、ご飯を乾燥させた加工米、乾パンなど)	おかず(肉・魚などの缶詰、カレー、シチューなどのレトルト食品など)	飲料(水、お茶など)	その他	無回答
男性 20 歳代	39	74.4	61.5	84.6	7.7	—
30 歳代	60	83.3	43.3	88.3	5.0	—
40 歳代	84	79.8	50.0	92.9	4.8	—
50 歳代	86	73.3	61.6	94.2	8.1	—
60 歳代	73	68.5	60.3	90.4	4.1	—
70 歳代以上	76	75.0	71.1	88.2	5.3	—
女性 20 歳代	52	78.8	57.7	92.3	1.9	—
30 歳代	104	75.0	54.8	92.3	7.7	—
40 歳代	152	75.7	65.8	93.4	5.9	0.7
50 歳代	134	78.4	70.1	93.3	10.4	—
60 歳代	87	73.6	75.9	92.0	13.8	—
70 歳代以上	114	77.2	72.8	86.8	4.4	—

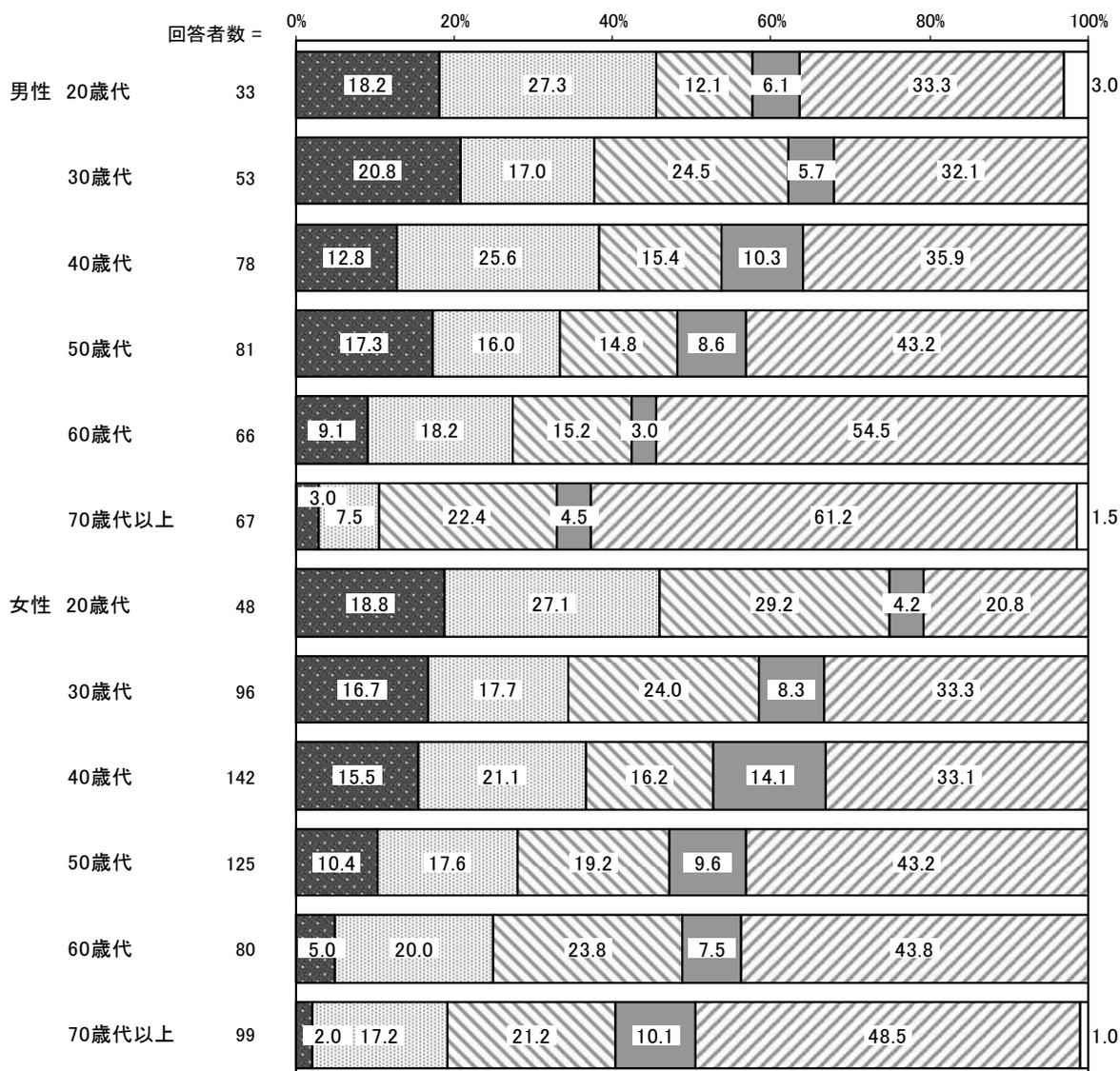
問 16-2 あなた1人分として飲料をどのくらい用意していますか。2リットル=1本
でお答えください。(〇は1つ)

1人分として用意している量について、「5本以上」の割合が40.6%と最も高く、次いで「3本」の割合が19.8%、「2本」の割合が18.9%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の70歳代以上で「5本以上」の割合が高くなっています。

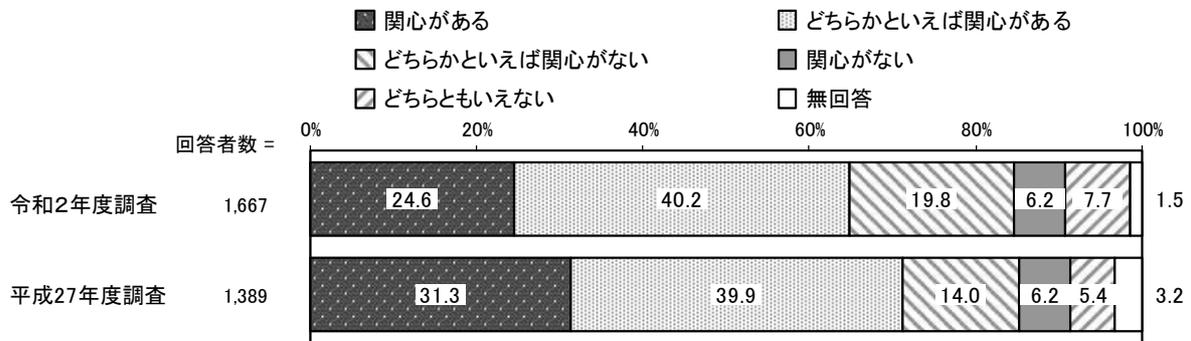


6 食育・食育活動について

問 17 食育に関心がありますか。(○は1つ)

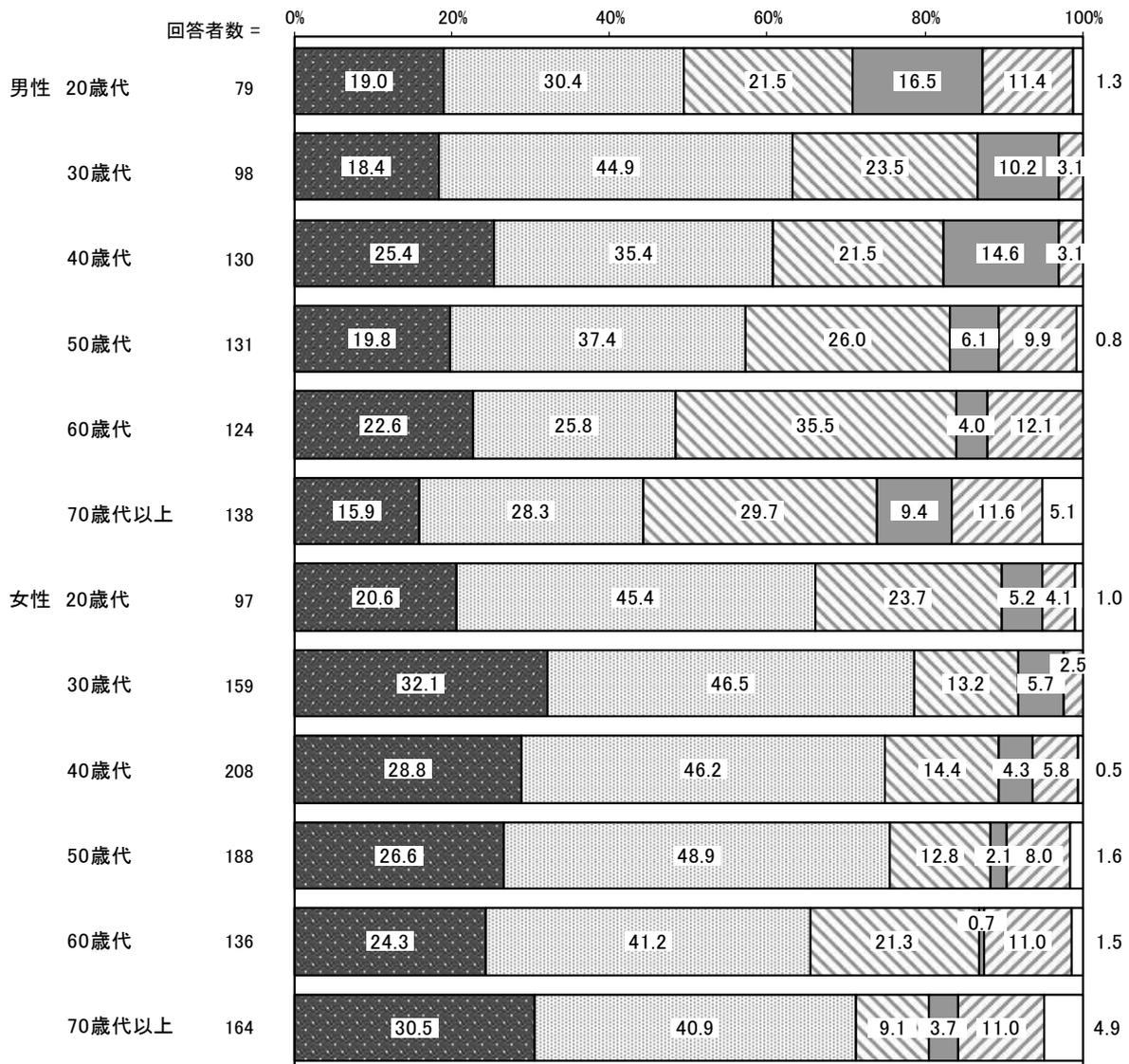
食育への関心について、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の割合が64.8%となっています。

平成27年度調査では71.2%なので、6.4%減少しています。



【性・年齢別】

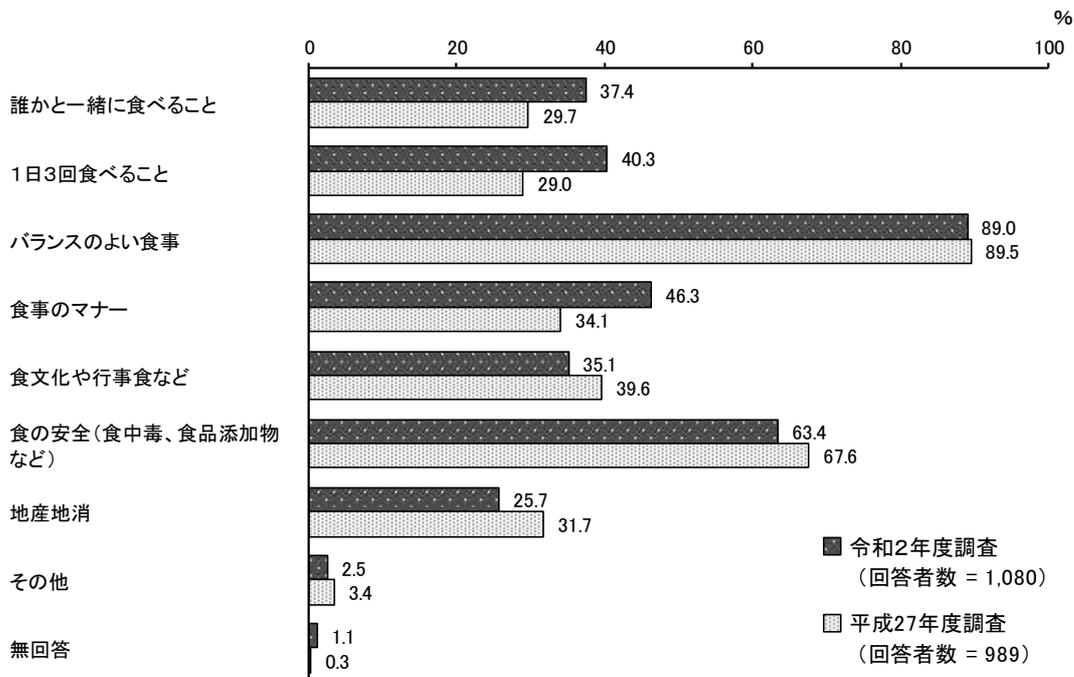
性・年齢別でみると、男性の20歳代、40歳代で「関心がない」の割合が高くなっています。



問 17-1 何に関心がありますか。(あてはまるもの全てに○)

関心があるものについて、「バランスのよい食事」の割合が 89.0%と最も高く、次いで「食の安全(食中毒、食品添加物など)」の割合が 63.4%、「食事のマナー」の割合が 46.3%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「誰かと一緒に食べること」「1日3回食べること」「食事のマナー」の割合が増加しています。一方、「地産地消」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

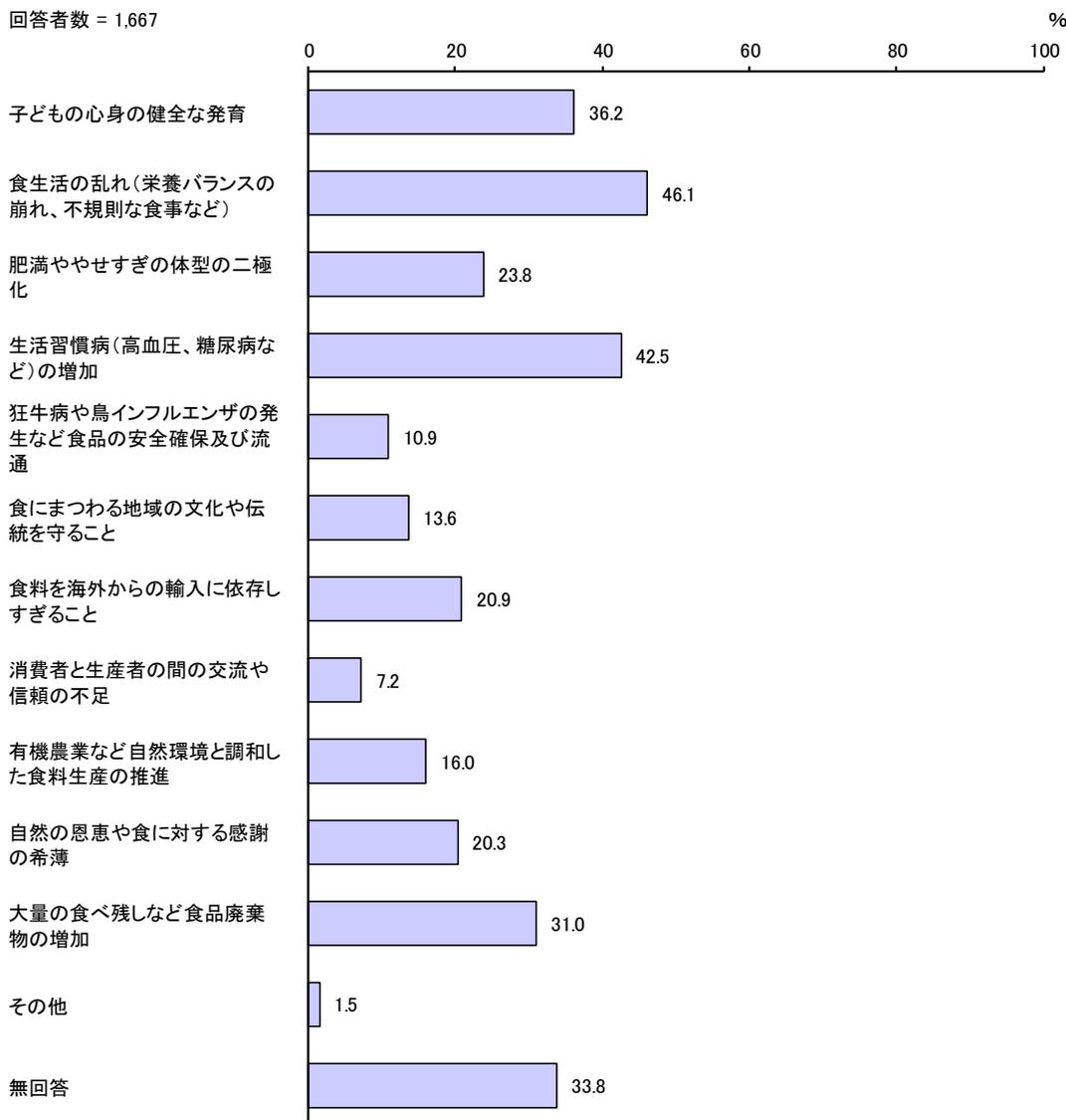
性・年齢別で見ると、男性の20歳代で「バランスのよい食事」の割合が低くなっています。また、男女とも70歳代以上で、「誰かと一緒に食べる」と「1日3回食べる」との割合が低くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	誰かと一緒に食べる	1日3回食べる	バランスのよい食事	食事のマナー	食文化や行事食など	食の安全(食中毒、食品添加物など)	地産地消	その他	無回答
男性 20歳代	39	46.2	23.1	69.2	46.2	25.6	51.3	12.8	—	2.6
30歳代	62	35.5	32.3	83.9	48.4	37.1	50.0	14.5	1.6	—
40歳代	79	46.8	32.9	86.1	50.6	43.0	57.0	26.6	2.5	1.3
50歳代	75	30.7	37.3	90.7	44.0	34.7	54.7	22.7	2.7	1.3
60歳代	60	25.0	40.0	86.7	36.7	25.0	63.3	25.0	6.7	3.3
70歳代以上	61	16.4	65.6	93.4	16.4	18.0	63.9	11.5	1.6	—
女性 20歳代	64	34.4	23.4	90.6	46.9	28.1	51.6	17.2	—	—
30歳代	125	48.8	32.8	87.2	60.8	40.0	63.2	24.8	4.0	—
40歳代	156	45.5	35.9	91.7	65.4	53.2	65.4	34.6	3.2	—
50歳代	142	38.0	38.7	90.8	44.4	38.0	70.4	31.0	1.4	—
60歳代	89	40.4	50.6	92.1	38.2	25.8	68.5	31.5	2.2	3.4
70歳代以上	117	27.4	59.0	90.6	32.5	25.6	75.2	26.5	2.6	3.4

問 17-2 関心のある理由はなんですか。(あてはまるもの全てに○)

関心のある理由について、「食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事など）」の割合が46.1%と最も高く、次いで「生活習慣病（高血圧、糖尿病など）の増加」の割合が42.5%、「子どもの心身の健全な発育」の割合が36.2%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男性の40歳代、女性の30歳代、40歳代で「子どもの心身の健全な発育」の割合が、女性の20歳代で「食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事など）」の割合が高くなっています。

単位：％

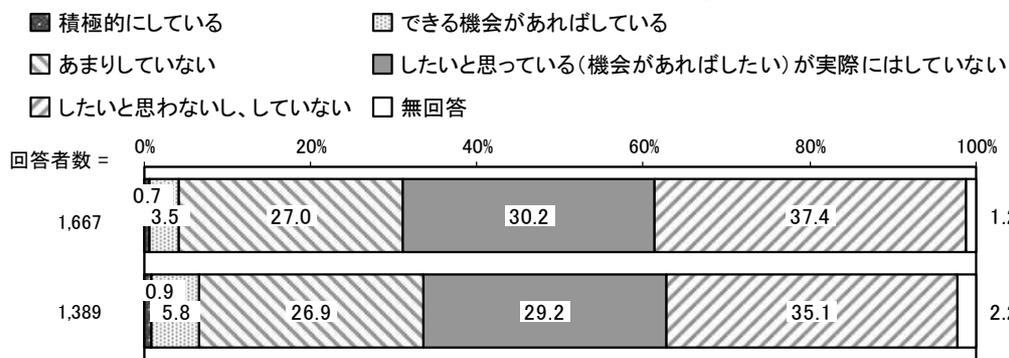
区分	有効回答数(件)	子どもの心身の健全な発育	食生活の乱れ(栄養バランスの崩れ、不規則な食事など)	肥満ややせすぎの体型の二極化	生活習慣病(高血圧、糖尿病など)の増加	狂牛病や鳥インフルエンザの発生など食品の安全確保及び流通	食にまつわる地域の文化や伝統を守る
男性 20歳代	79	21.5	39.2	20.3	24.1	5.1	5.1
30歳代	98	36.7	39.8	29.6	38.8	9.2	12.2
40歳代	130	42.3	39.2	26.2	33.1	9.2	16.9
50歳代	131	26.0	38.9	22.9	36.6	9.2	17.6
60歳代	124	15.3	34.7	21.8	39.5	8.1	9.7
70歳代以上	138	10.9	31.9	15.9	41.3	4.3	5.1
女性 20歳代	97	23.7	58.8	29.9	37.1	4.1	10.3
30歳代	159	60.4	49.7	25.2	37.7	8.2	17.0
40歳代	208	58.2	47.6	25.5	41.3	8.2	23.6
50歳代	188	47.9	56.4	24.5	52.7	16.0	17.6
60歳代	136	33.1	52.9	22.8	49.3	16.9	11.0
70歳代以上	164	26.8	53.7	22.6	59.8	24.4	6.7

区分	食料を海外からの輸入に依存しすぎること	消費者と生産者の間の交流や信頼の不足	有機農業など自然環境と調和した食料生産の推進	自然の恩恵や食に対する感謝の希薄	大量の食べ残しなど食品廃棄物の増加	その他	無回答
男性 20歳代	12.7	3.8	2.5	13.9	19.0	1.3	50.6
30歳代	10.2	4.1	6.1	12.2	17.3	—	36.7
40歳代	17.7	9.2	11.5	19.2	25.4	3.1	39.2
50歳代	17.6	5.3	9.9	23.7	29.8	3.8	43.5
60歳代	18.5	3.2	15.3	11.3	21.0	1.6	50.0
70歳代以上	21.7	5.8	19.6	10.9	26.1	—	50.0
女性 20歳代	7.2	6.2	5.2	13.4	28.9	1.0	33.0
30歳代	10.7	8.2	14.5	20.8	29.6	1.9	20.8
40歳代	21.6	9.1	19.2	28.4	34.6	0.5	23.6
50歳代	28.7	9.0	21.8	28.2	41.5	2.1	23.4
60歳代	29.4	10.3	21.3	22.1	38.2	2.2	33.1
70歳代以上	38.4	7.9	26.2	24.4	40.9	0.6	26.2

問 18 地域で食育に関する何らかの活動を行ったり、参加したりしていますか。(〇は1つ)

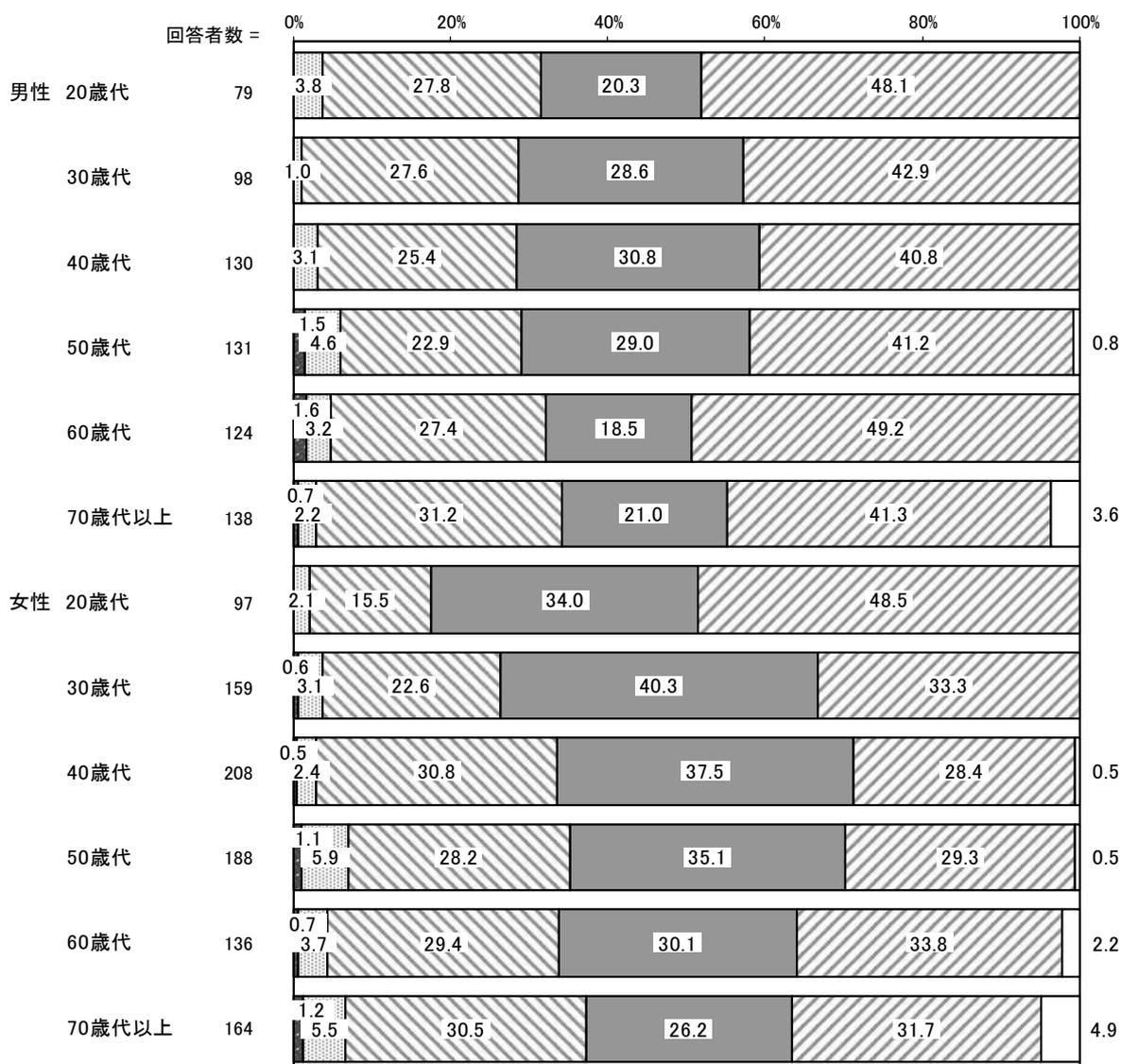
食育に関する活動経験について、「したいと思わないし、していない」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「したいと思っている(機会があればしたい)が実際にはしていない」の割合が 30.2%、「あまりしていない」の割合が 27.0%となっています。

平成 27 年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性、女性ともに 20 歳代で「したいと思わないし、していない」の割合が高くなっています。

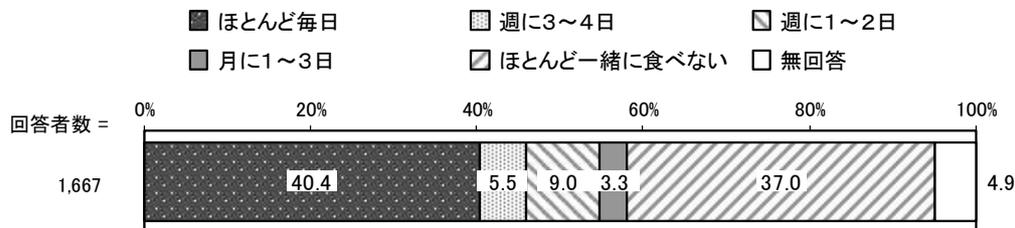


7 共食について

問 19 家族や友人・知人などと一緒に食事をしますか。(各項目に○は1つ)

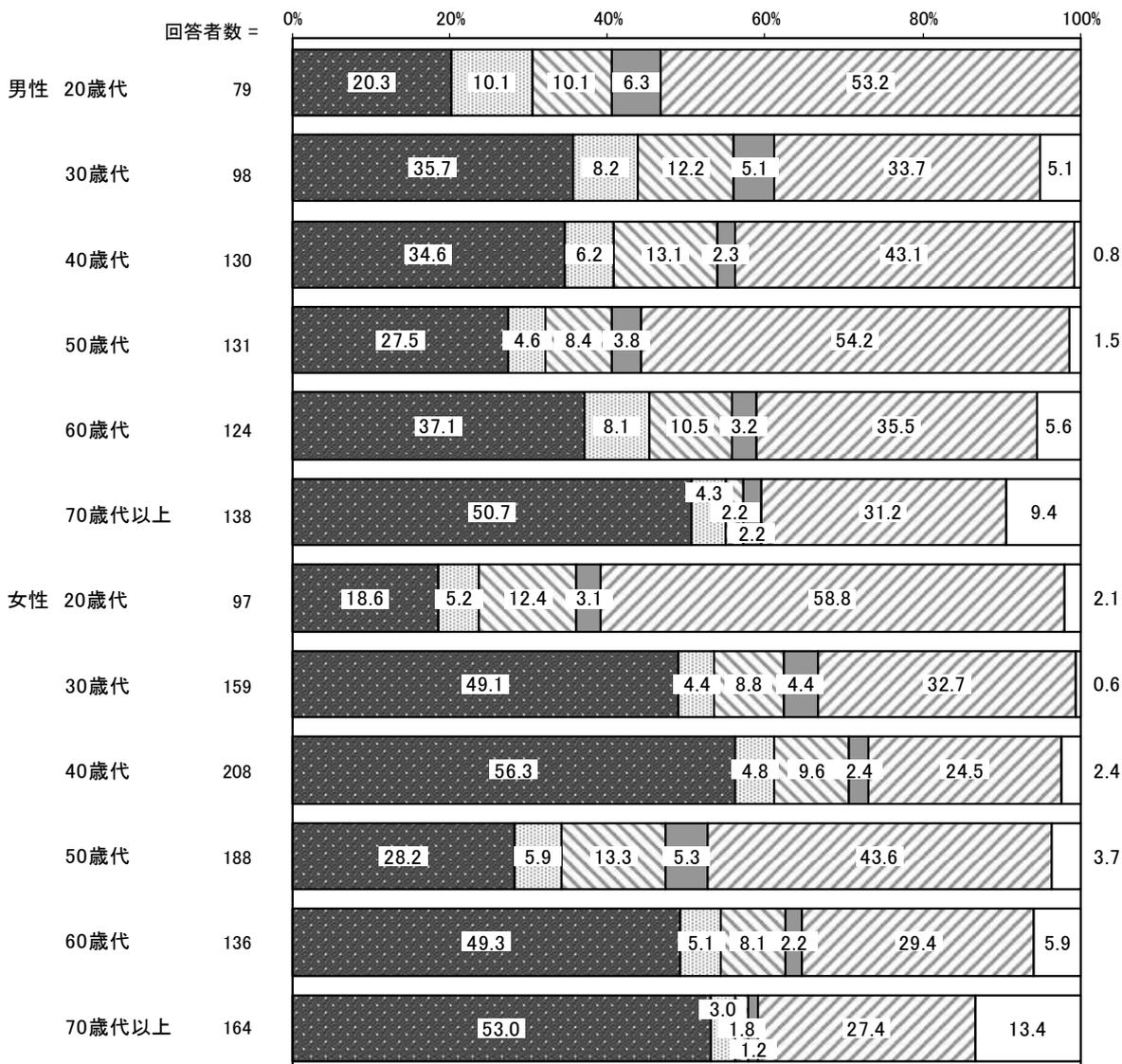
(1) 朝食

家族や友人・知人などと一緒に食事をする日数について、「ほとんど毎日」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「ほとんど一緒に食べない」の割合が 37.0%となっています。



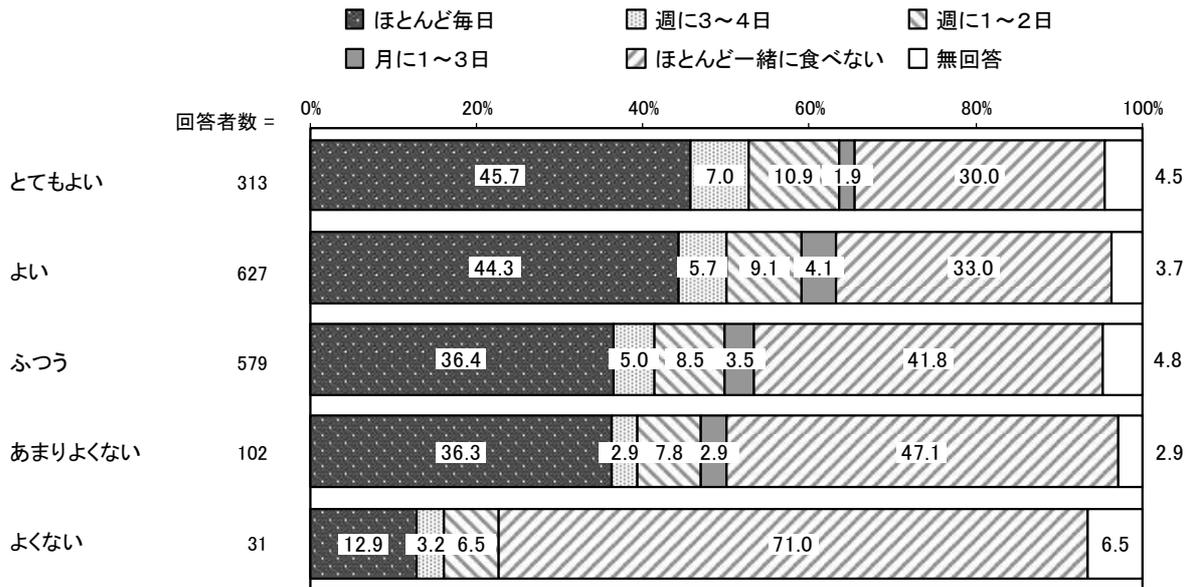
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男性、女性ともに 20 歳代、50 歳代、で「ほとんど一緒に食べない」の割合が高くなっています。



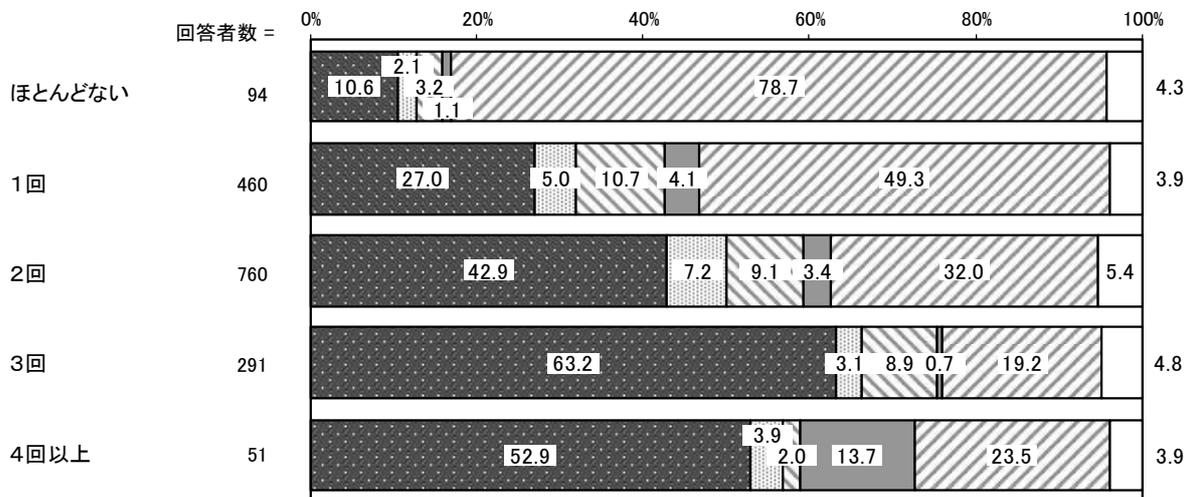
【健康状態別】

健康状態別でみると、健康状態がよいほど、「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



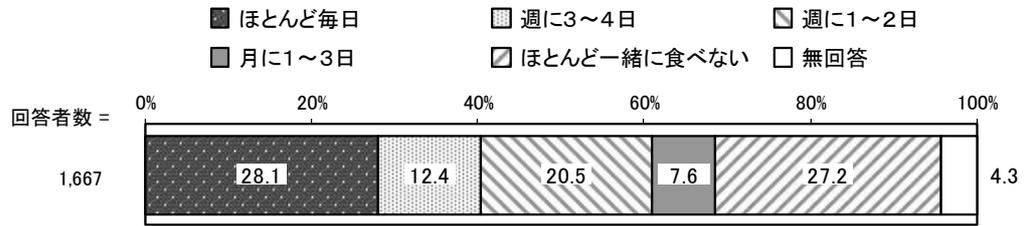
【バランスの取れた食事の摂取別】

バランスの取れた食事の摂取別でみると、バランスの取れた食事がほとんどないで「ほとんど一緒に食べない」の割合が高くなっています。



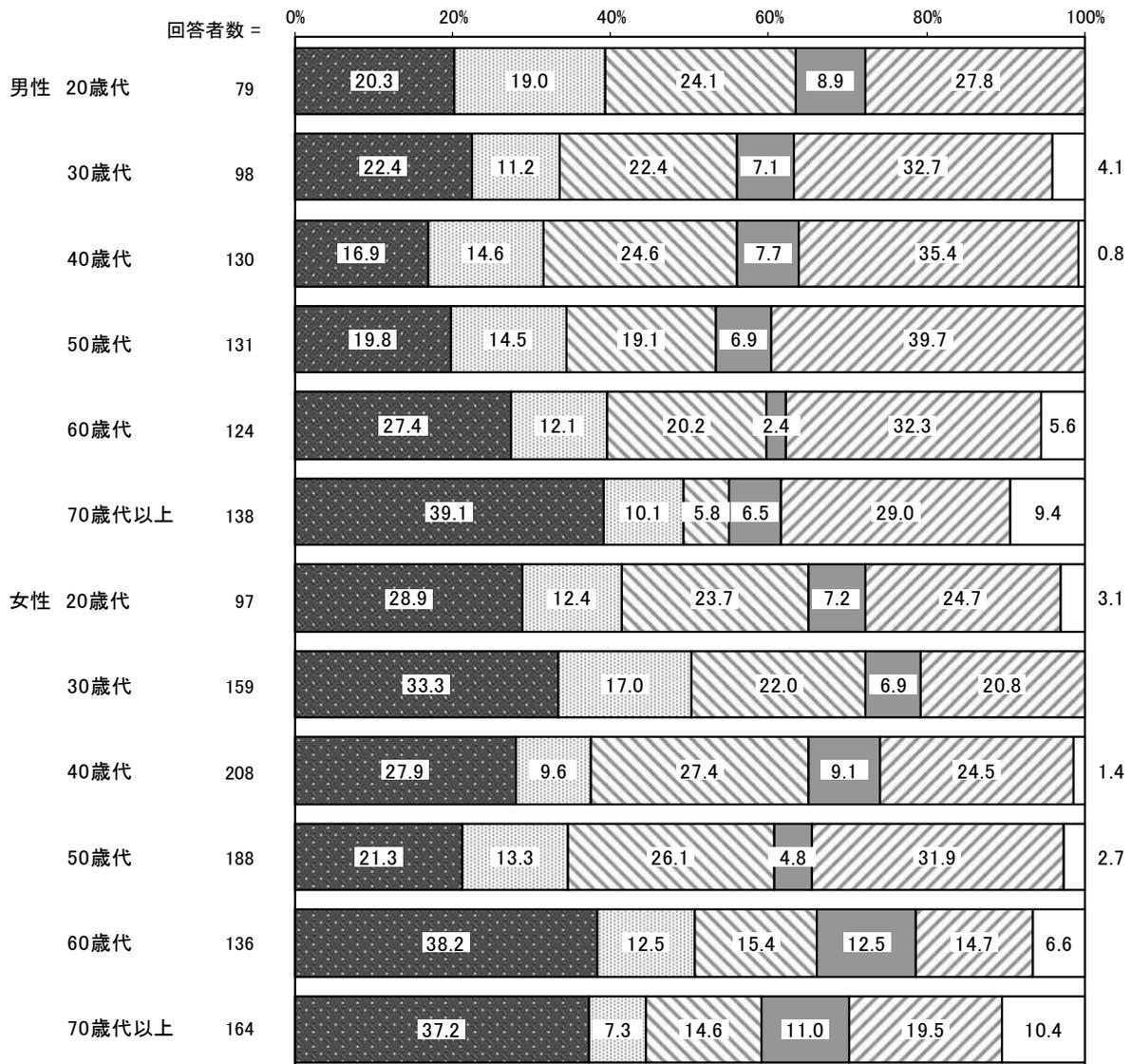
(2) 昼食

家族や友人・知人などと一緒に食事をする日数について、「ほとんど毎日」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「ほとんど一緒に食べない」の割合が 27.2%、「週に1～2日」の割合が 20.5%となっています。



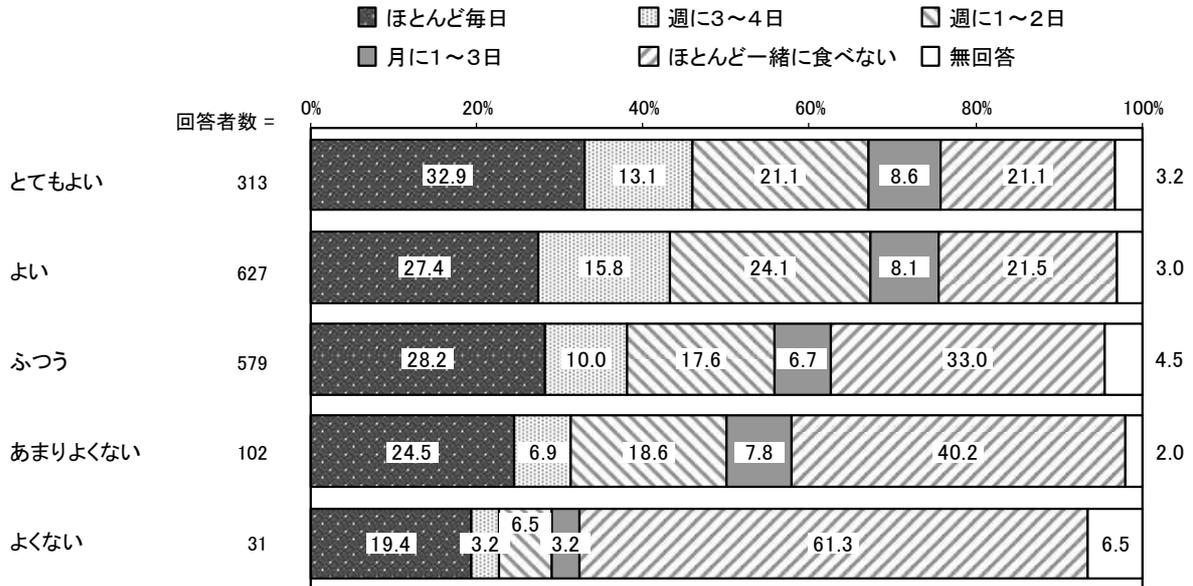
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性、女性ともに 50 歳代で「ほとんど一緒に食べない」の割合が高くなっています。



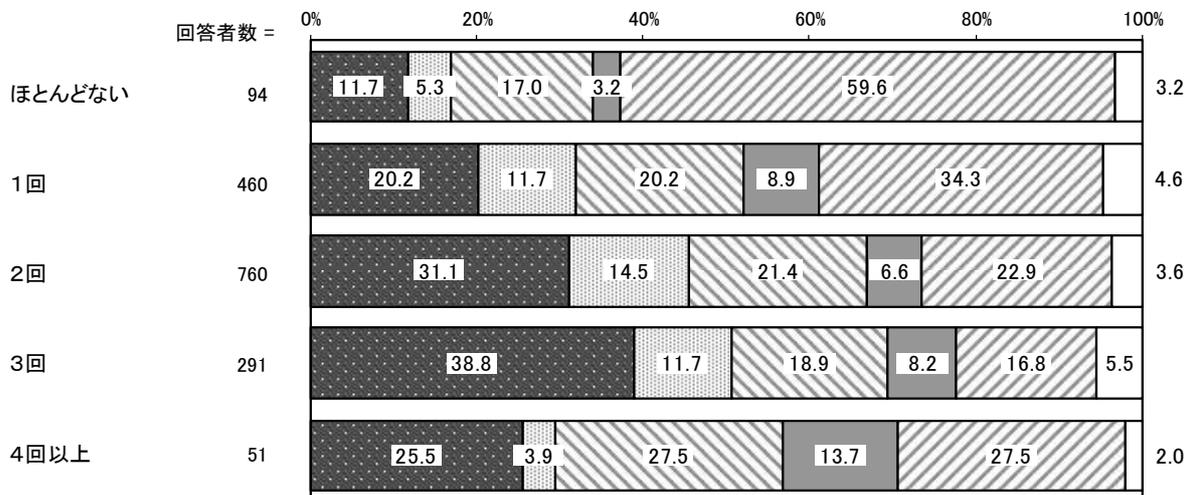
【健康状態別】

健康状態別で見ると、健康状態がよいほど、「ほとんど毎日」「週に3～4日」の割合が高くなっています。



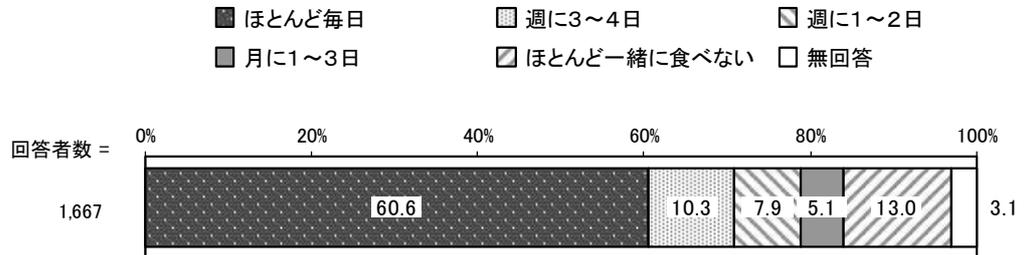
【バランスの取れた食事の摂取別】

バランスの取れた食事の摂取別で見ると、バランスの取れた食事がほとんどないで「ほとんど一緒に食べない」の割合が高くなっています。



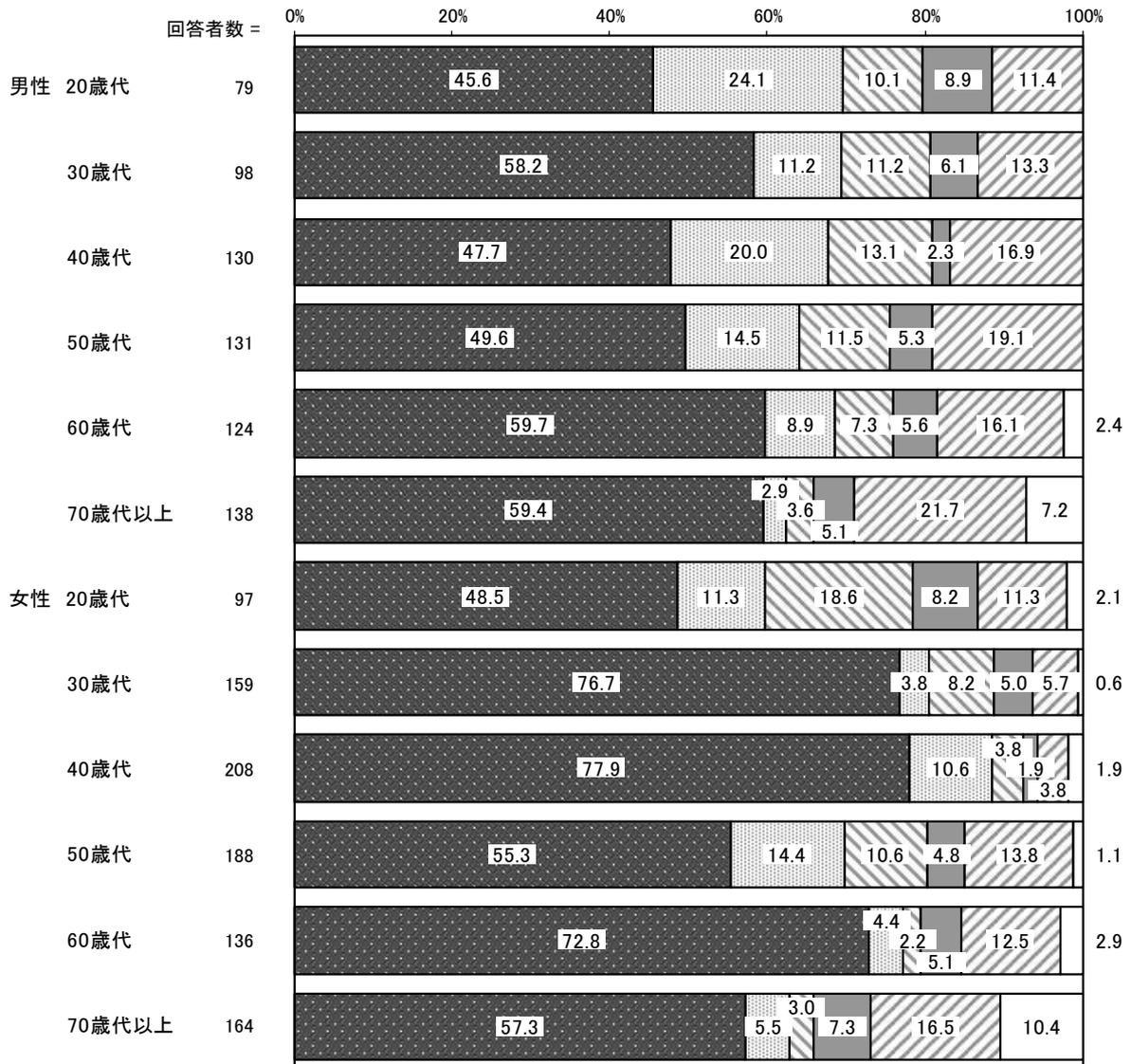
(3) 夕食

家族や友人・知人などと一緒に食事をする日数について、「ほとんど毎日」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「ほとんど一緒に食べない」の割合が 13.0%、「週に3～4日」の割合が 10.3%となっています。



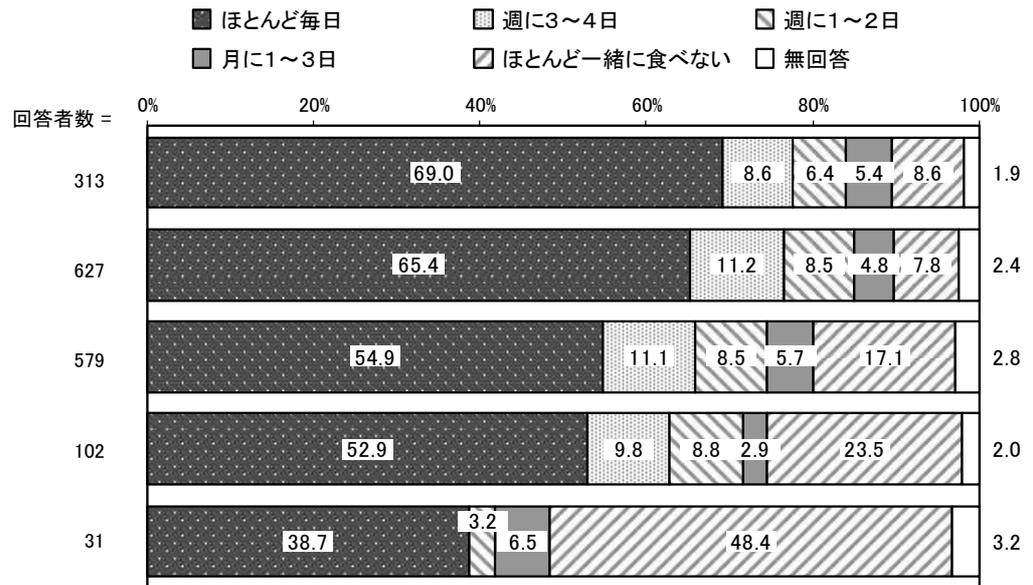
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男性の70歳代以上で「ほとんど一緒に食べない」の割合が高くなっています。



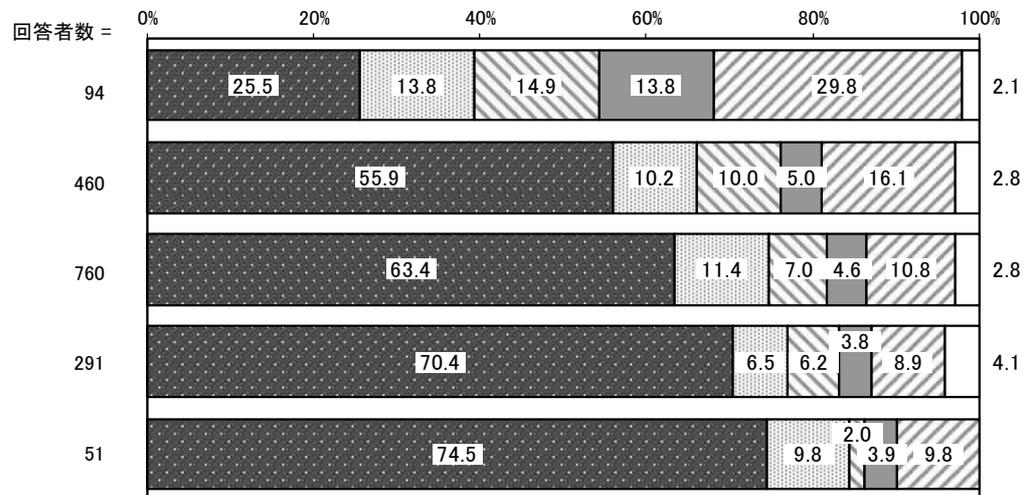
【健康状態別】

健康状態別でみると、健康状態がよいほど「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。

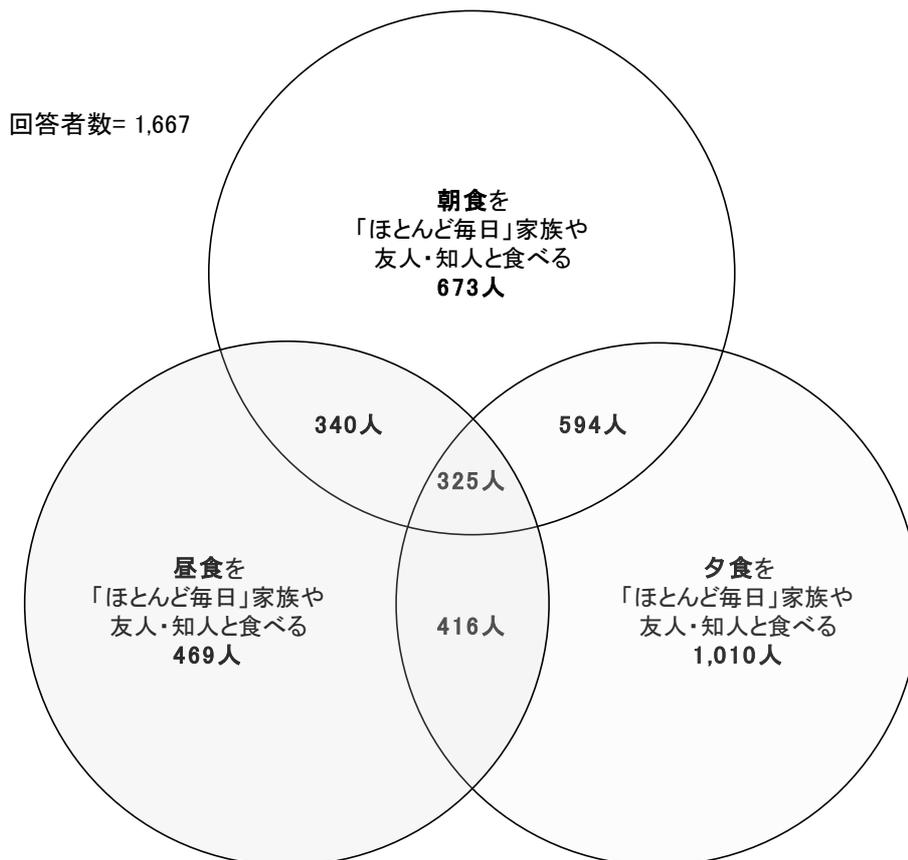


【バランスの取れた食事の摂取別】

バランスの取れた食事の摂取別でみると、バランスの取れた食事の回数が多いほど「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



【参考】 1日のどこか1食でも「ほとんど毎日」家族や友人・知人と食事をする頻度



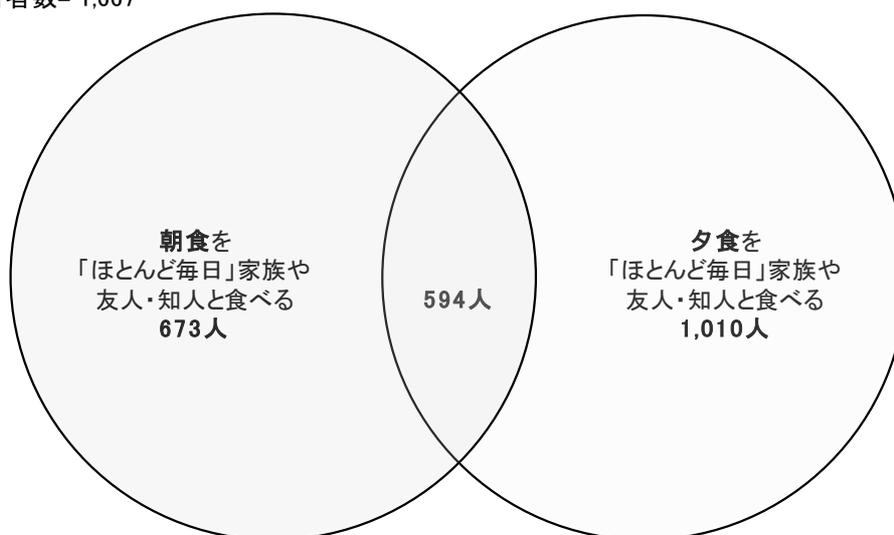
1日のどこか1食でも「ほとんど毎日」家族や友人・知人と食事をする割合＝

$$(673+469+1,010 - (340+416+594-325)) \div 1,667 = 67.6\%$$

※前回調査時（平成 27 年度）は 58.5%でした。

【参考】 朝食と夕食のどちらかを「ほとんど毎日」家族や友人・知人と食事をする頻度

回答者数= 1,667



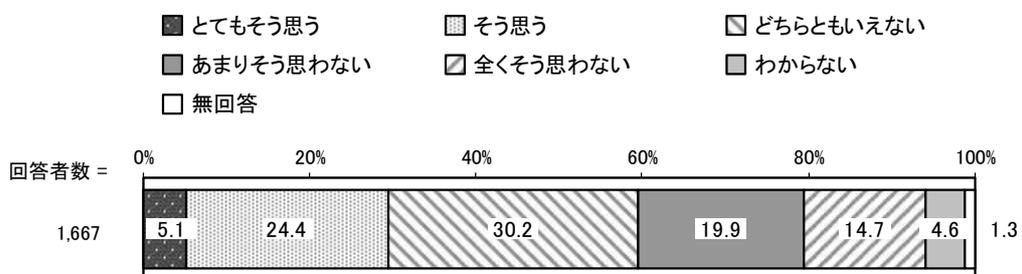
朝食と夕食のどちらかを「ほとんど毎日」家族や友人・知人と食事をする割合＝

$$(673+1,010-594) \div 1,667 = 65.3\%$$

※前回調査時（平成 27 年度）は 54.5%でした。

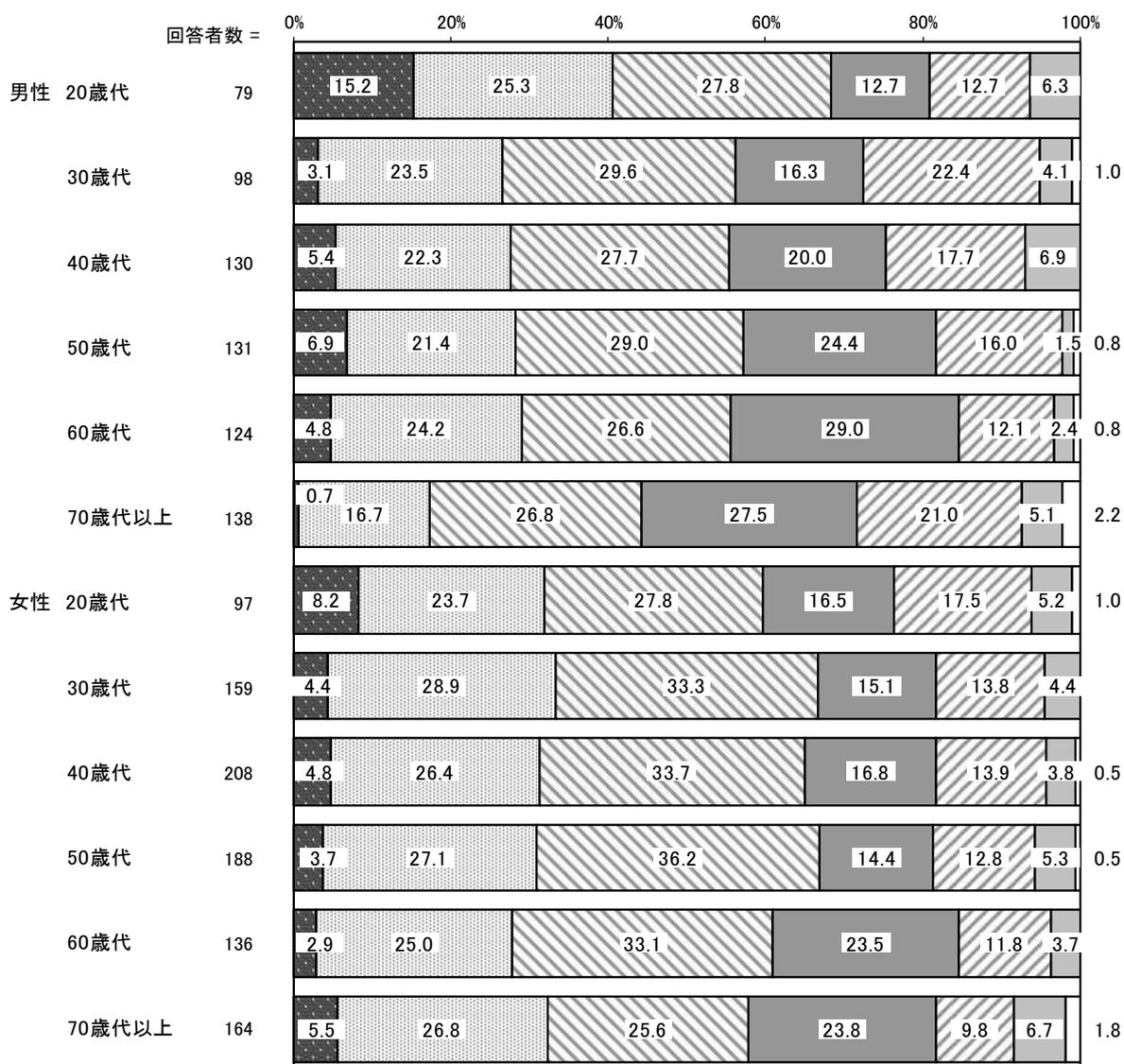
問 20 地域や所属コミュニティ（職場などを含む）での食事会などの機会があれば、あなたは参加したいと思いますか。（○は1つ）

地域や所属コミュニティ（職場などを含む）での食事会について、「どちらともいえない」の割合が30.2%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が24.4%、「あまりそう思わない」の割合が19.9%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性、女性ともに20歳代で「とてもそう思う」の割合が高くなっています。

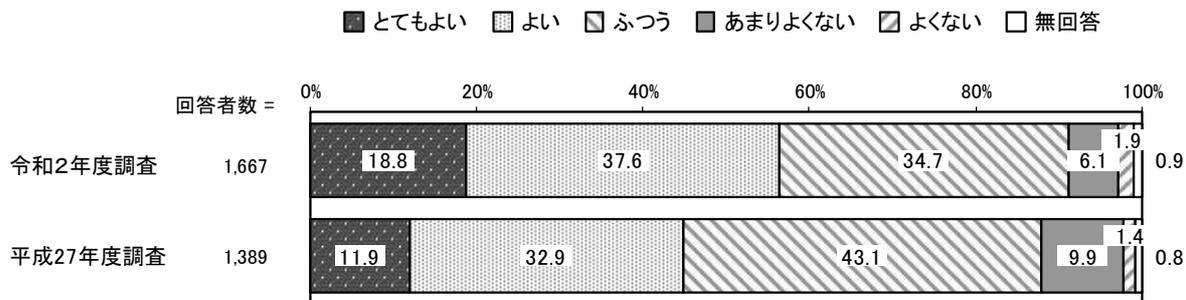


8 健康について

問 21 現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

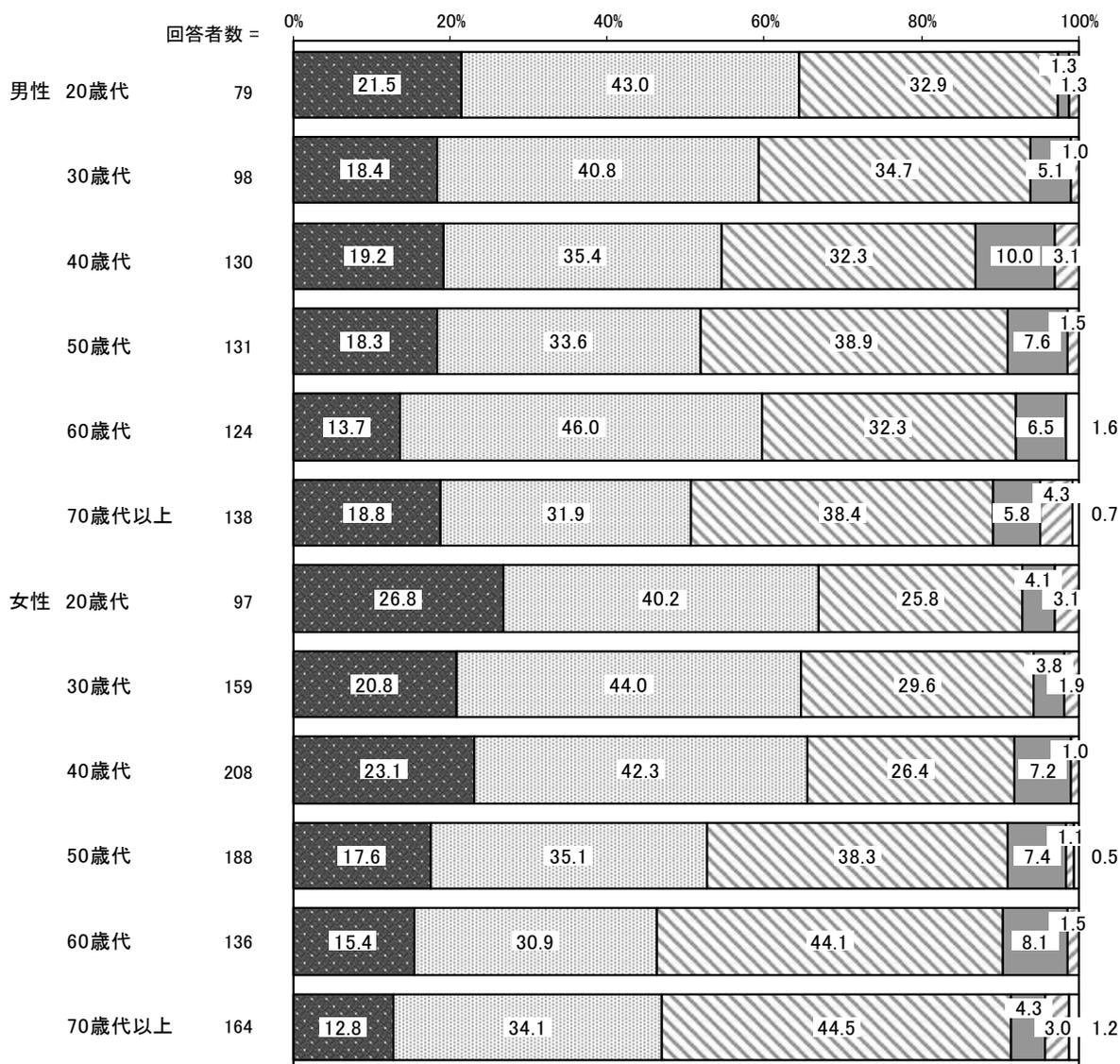
健康状態について、「よい」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「ふつう」の割合が 34.7%、「とてもよい」の割合が 18.8%となっています。

平成 27 年度調査と傾向を比較すると、「とてもよい」の割合が増加しています。一方、「ふつう」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、女性の 20 歳代で「とてもよい」の割合が高くなっています。

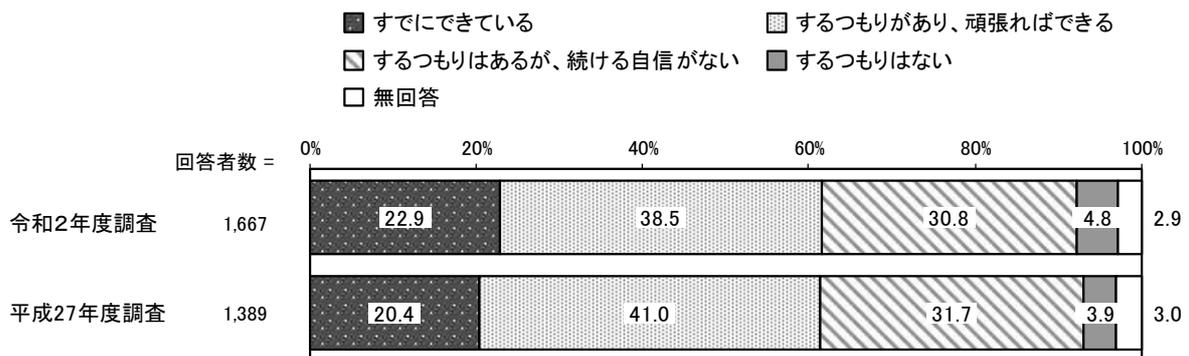


問 22 高血圧、糖尿病、脳卒中などの生活習慣病の予防及び改善に役立つことのうち、あなたの普段の行動としてあてはまるものに○をつけてください。(各項目に○は1つ)

(1) よく噛んでゆっくり食べる

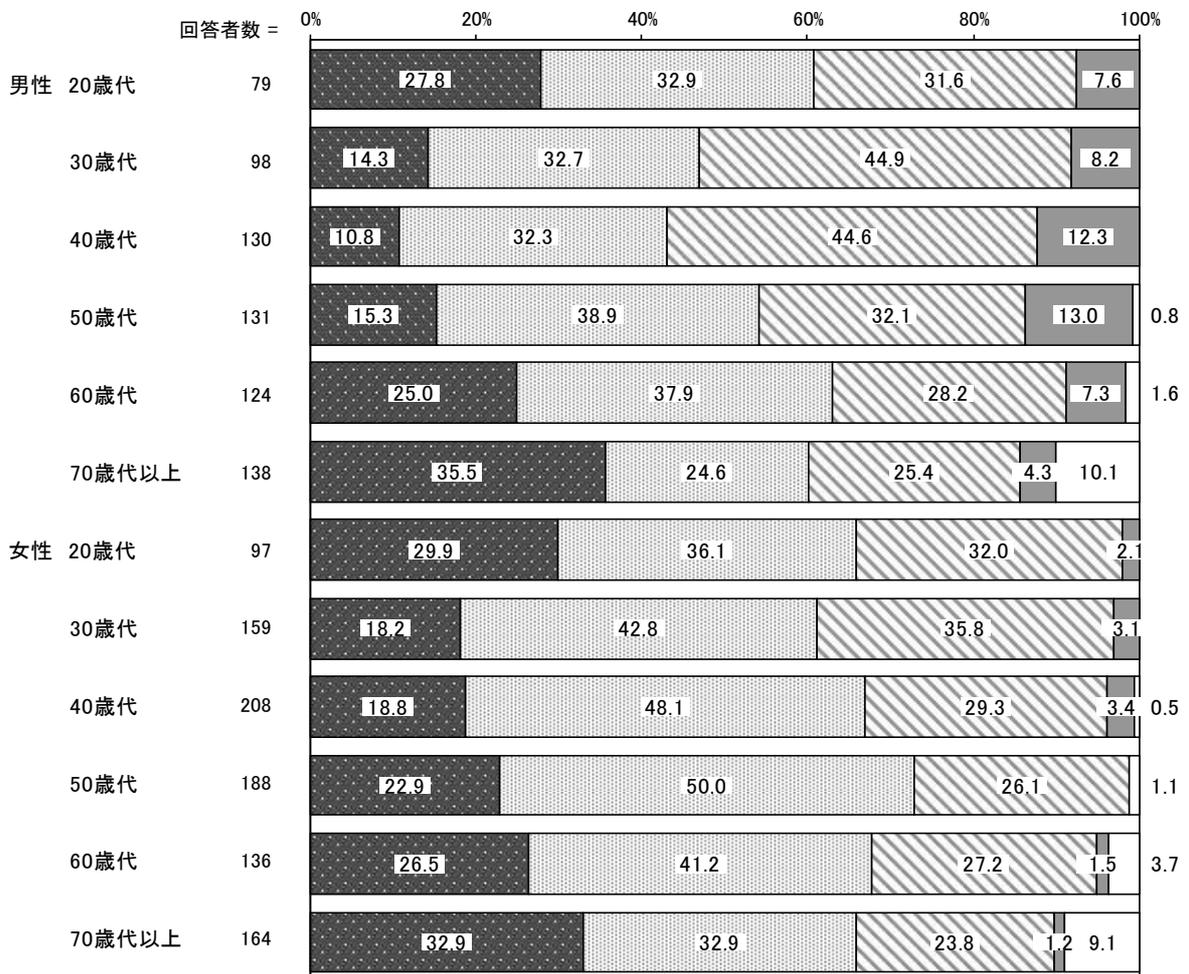
よく噛んでゆっくり食べることについて、「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が38.5%と最も高く、次いで「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が30.8%、「すでにできている」の割合が22.9%となっています。

平成27年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



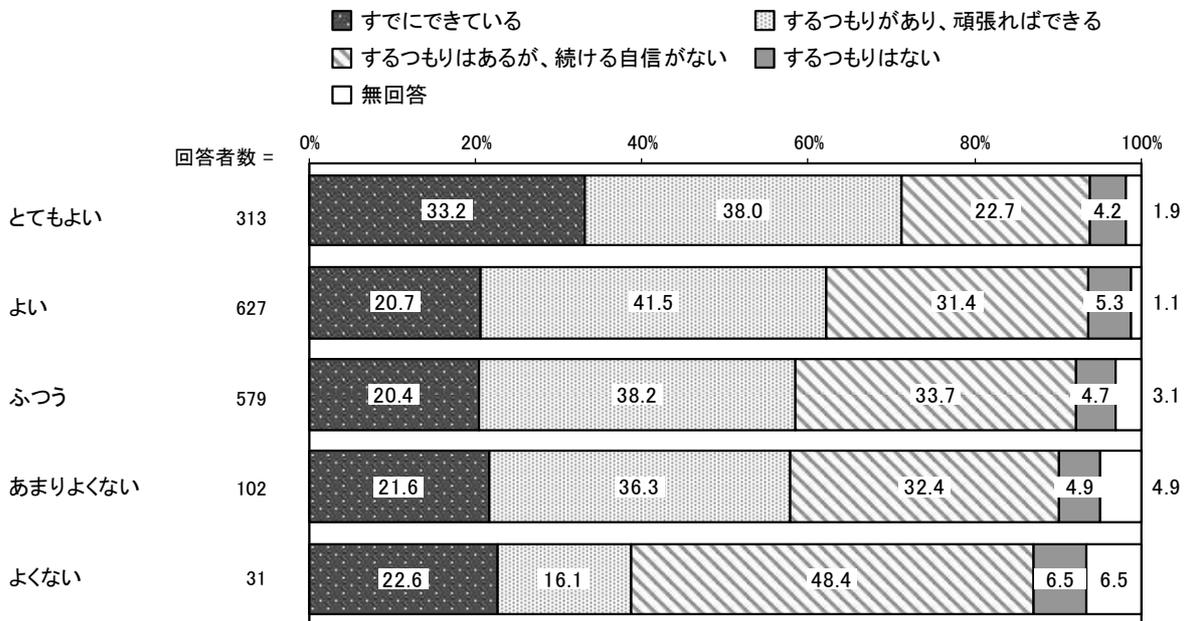
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男性の40歳代、50歳代で「するつもりはない」の割合が高くなっています。



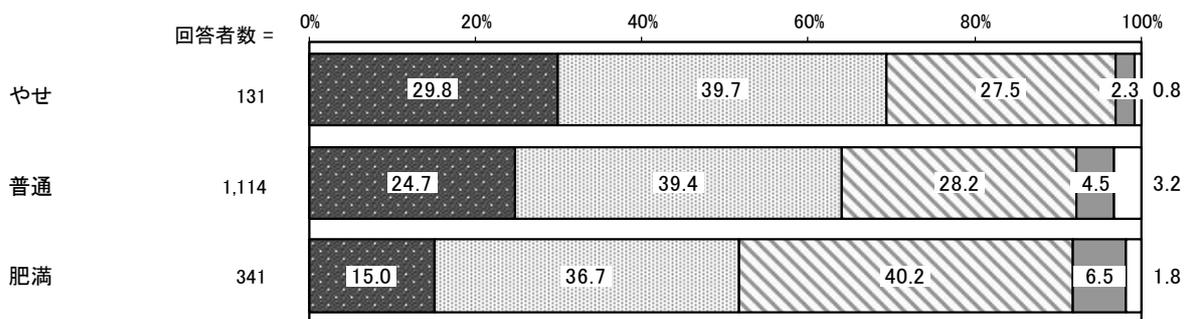
【健康状態別】

健康状態別で見ると、健康状態がよいほど「すでにできている」「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が高くなっています。



【BMI別】

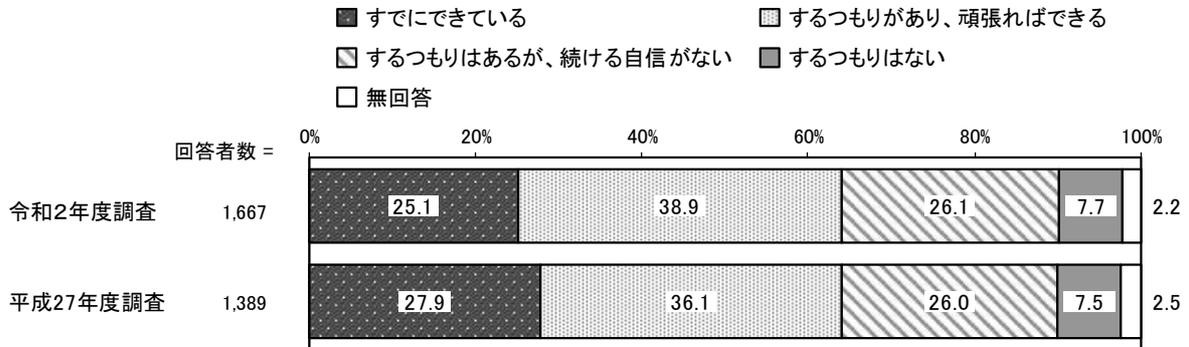
BMI別で見ると、肥満で「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が、やせ、普通で「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が高くなっています。



(2) 減塩をする

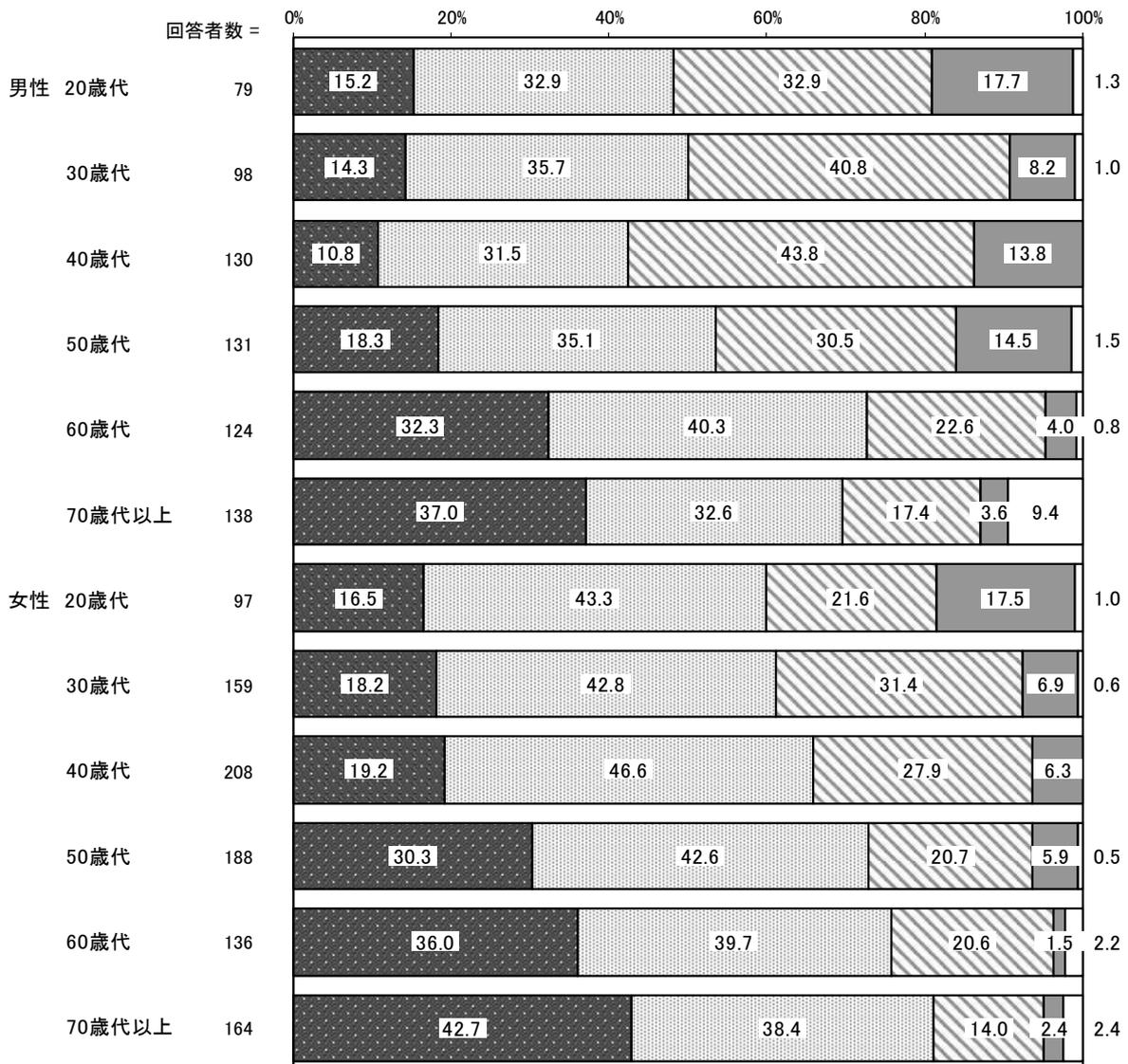
減塩をすることについて、「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が38.9%と最も高く、次いで「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が26.1%、「すでにできている」の割合が25.1%となっています。

平成27年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

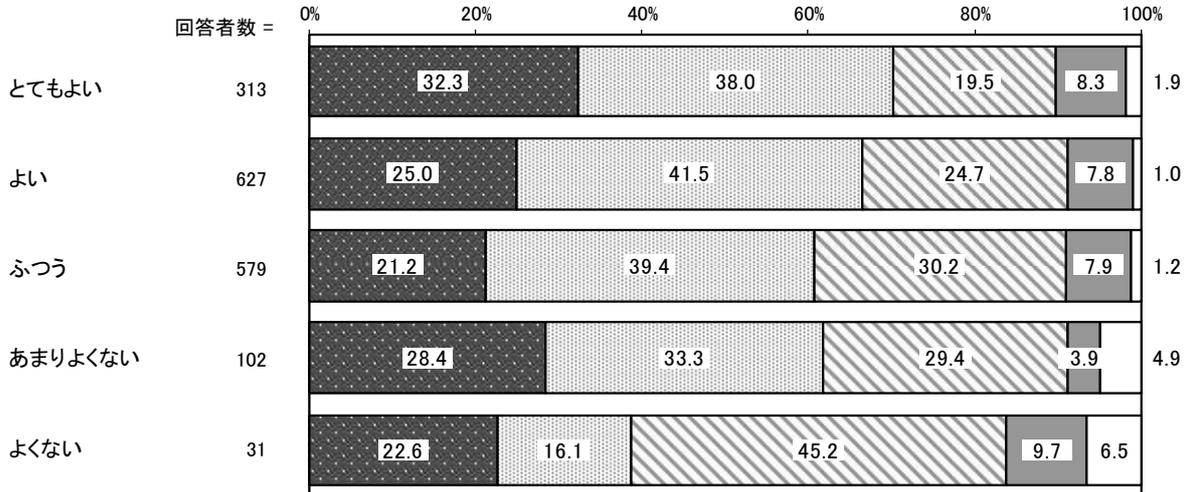
性・年齢別で見ると、男性、女性ともに20歳代で「するつもりはない」の割合が高くなっています。



【健康状態別】

健康状態別で見ると、よくないで「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が、よいで「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が高くなっています。

- すでにできている
- するつもりがあり、頑張ればできる
- するつもりはあるが、続ける自信がない
- するつもりはない
- 無回答



【BMI別】

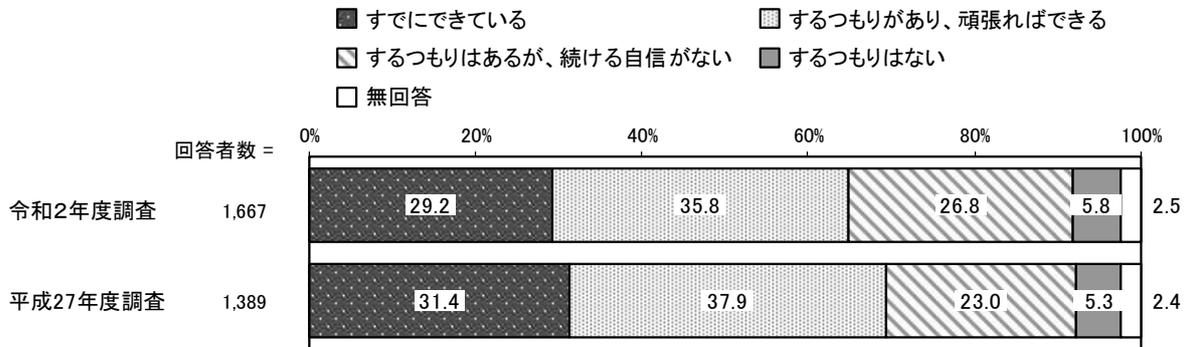
BMI別で見ると、「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が肥満で高くなっています。



(3) 脂っこい食事を避ける

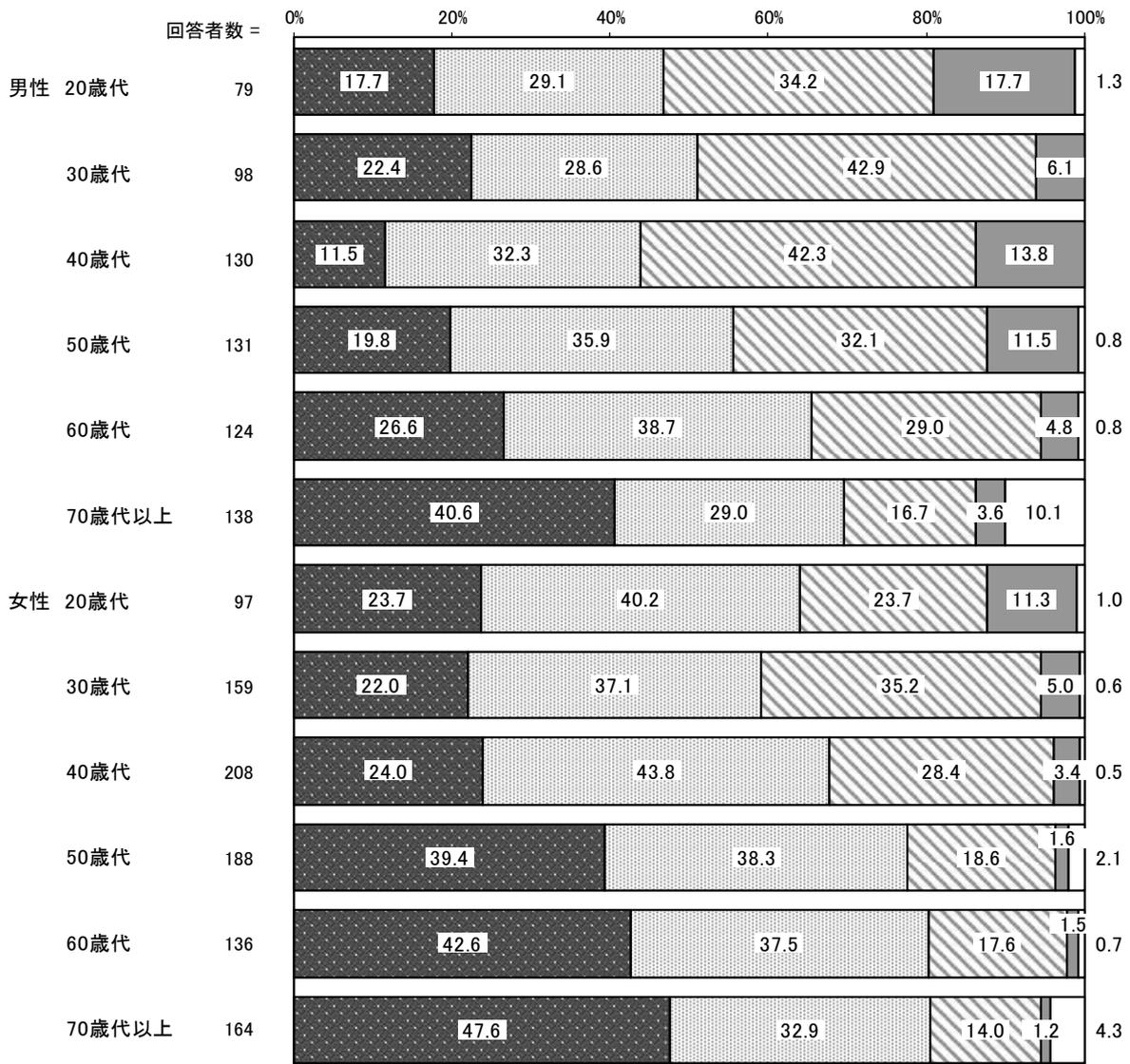
脂っこい食事を避けることについて、「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が 35.8% と最も高く、次いで「すでにできている」の割合が 29.2%、「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が 26.8% となっています。

平成 27 年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



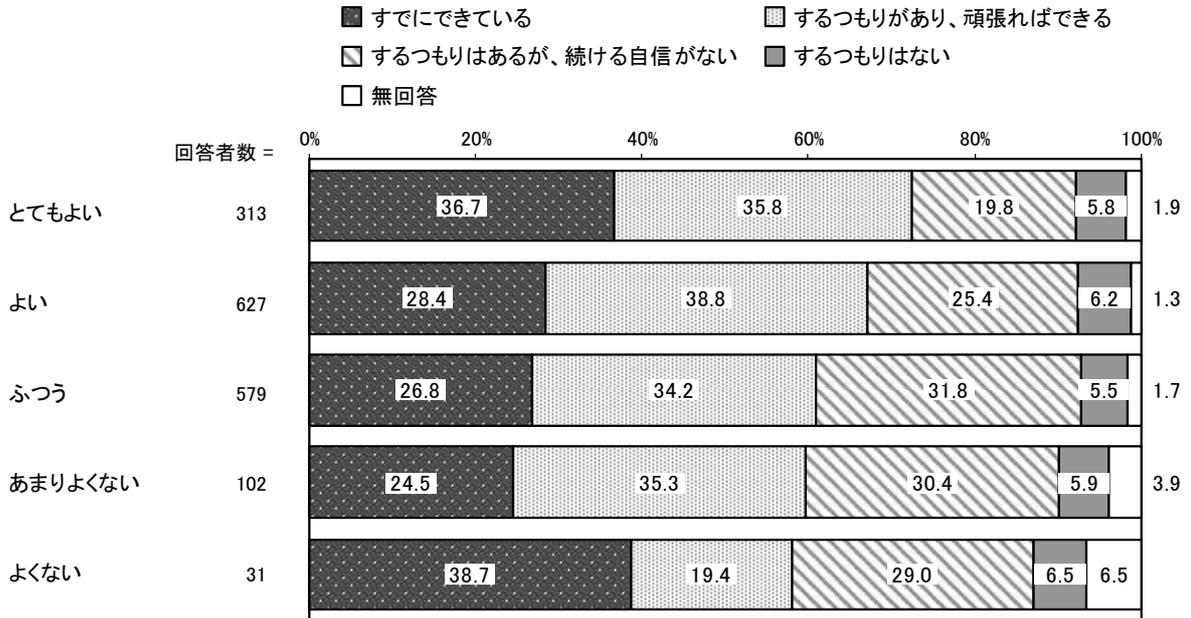
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性、女性ともに 20 歳代で「するつもりはない」の割合が高くなっています。



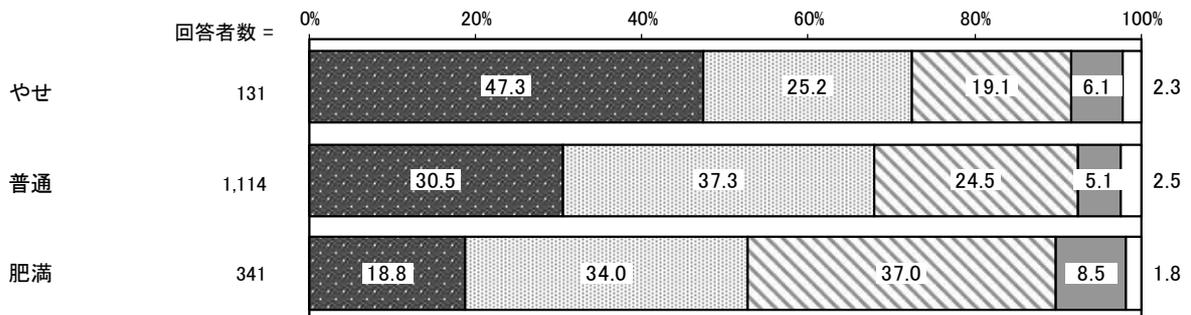
【健康状態別】

健康状態別で見ると、よいで「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が、よくない、とてもよいで「すでにできている」の割合が高くなっています。



【BMI別】

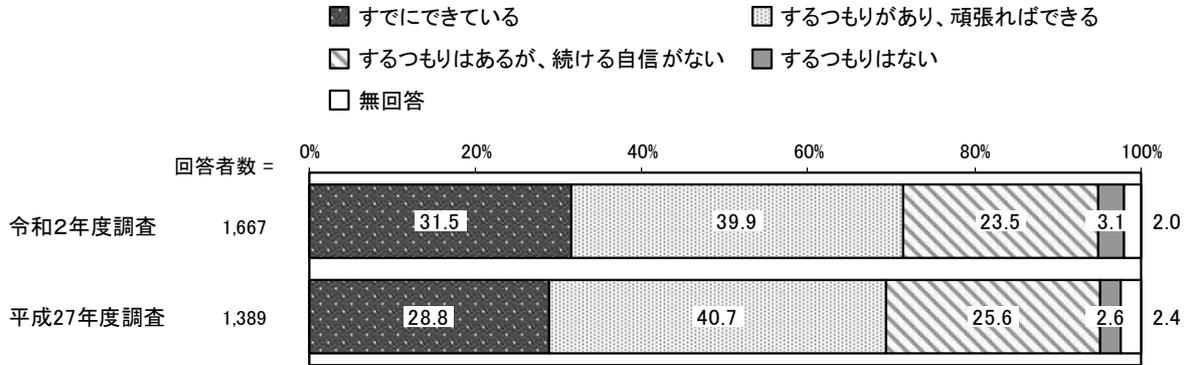
BMI別で見ると、やせで「すでにできている」の割合が、普通で「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が高くなっています。また、肥満で「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が高くなっています。



(4) 食べ過ぎないようにする

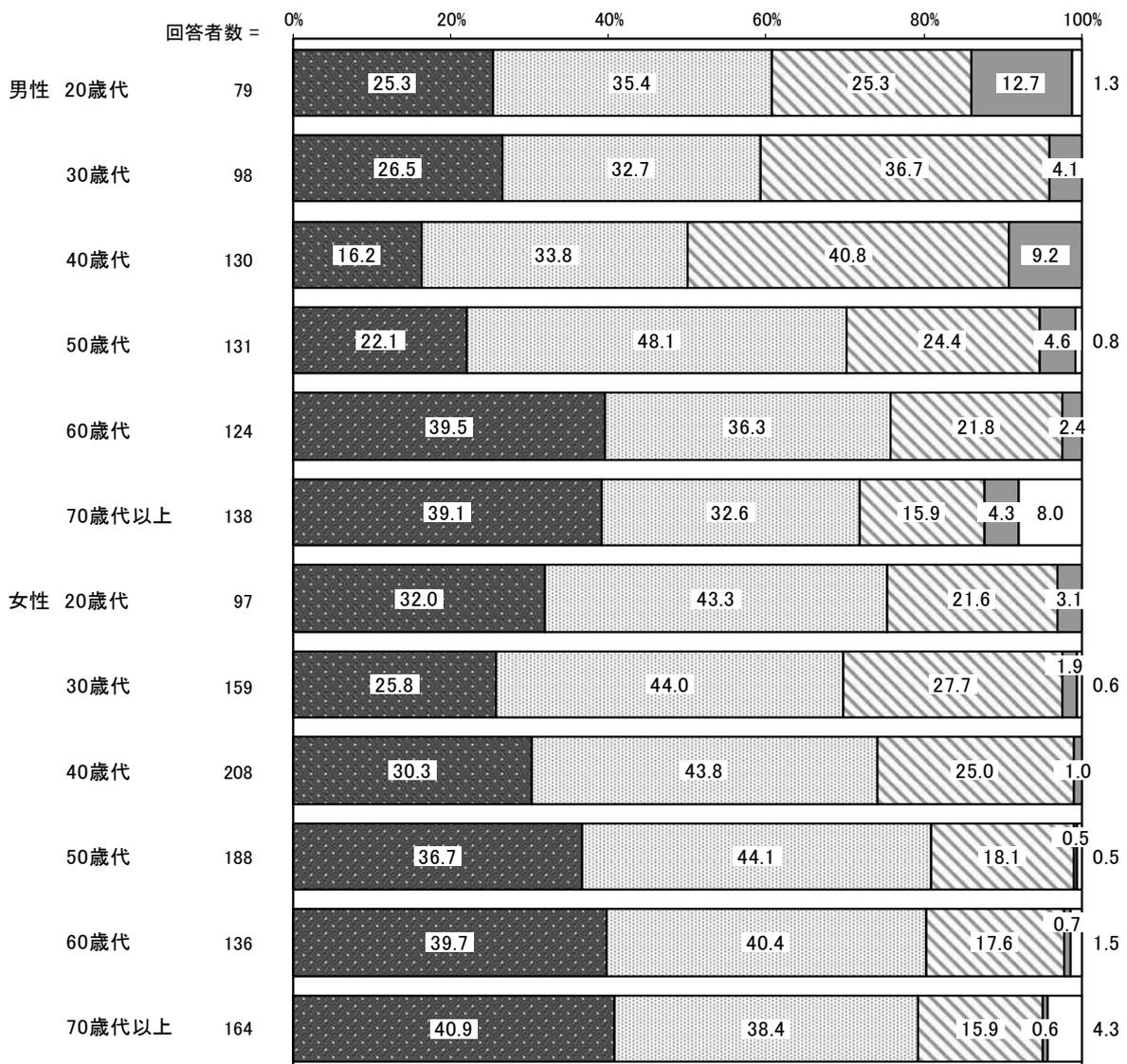
食べ過ぎないようにすることについて、「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が39.9%と最も高く、次いで「すでにできている」の割合が31.5%、「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が23.5%となっています。

平成27年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



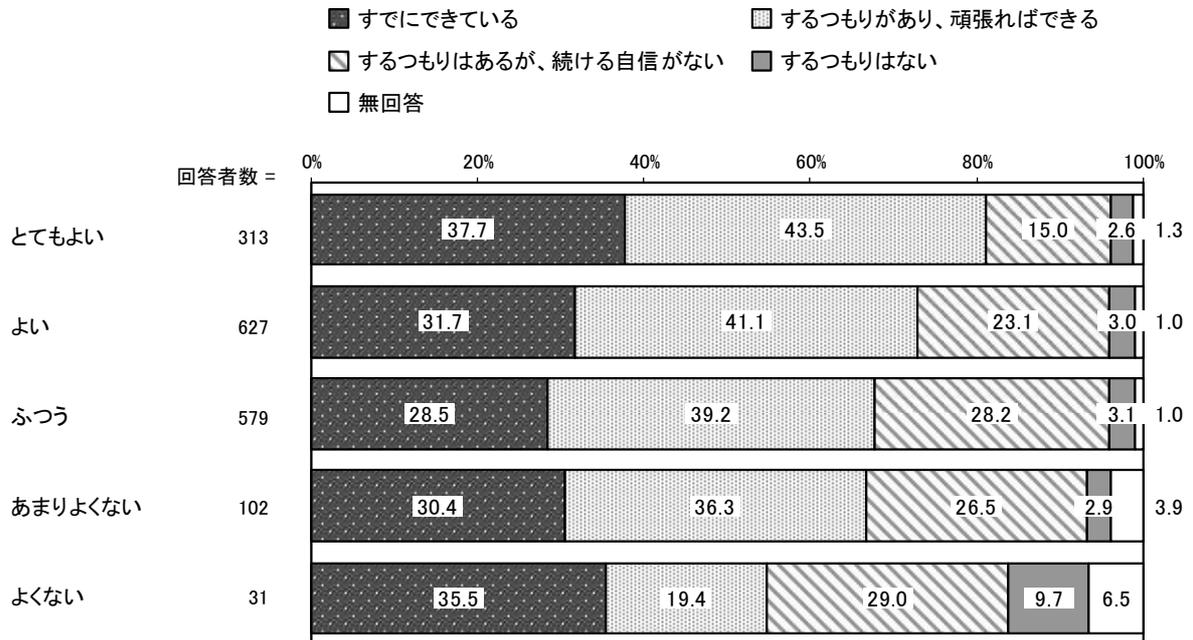
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の20歳代で「するつもりはない」の割合が高くなっています。



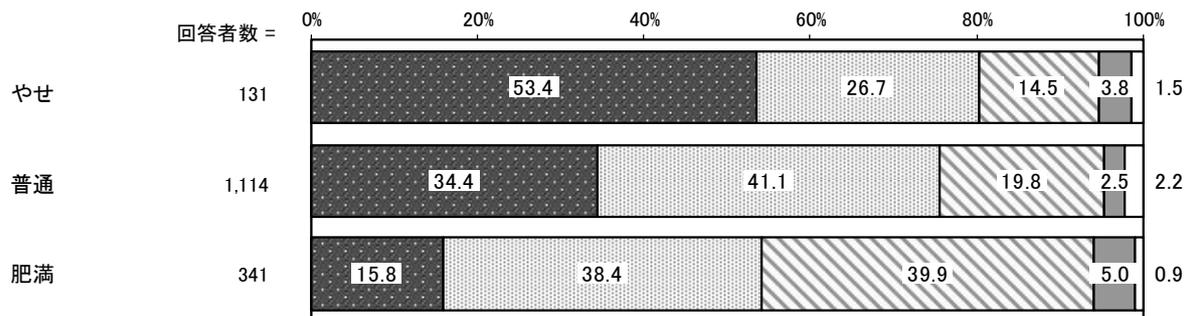
【健康状態別】

健康状態別で見ると、とてもよい、よいで「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が高くなっています。



【BMI別】

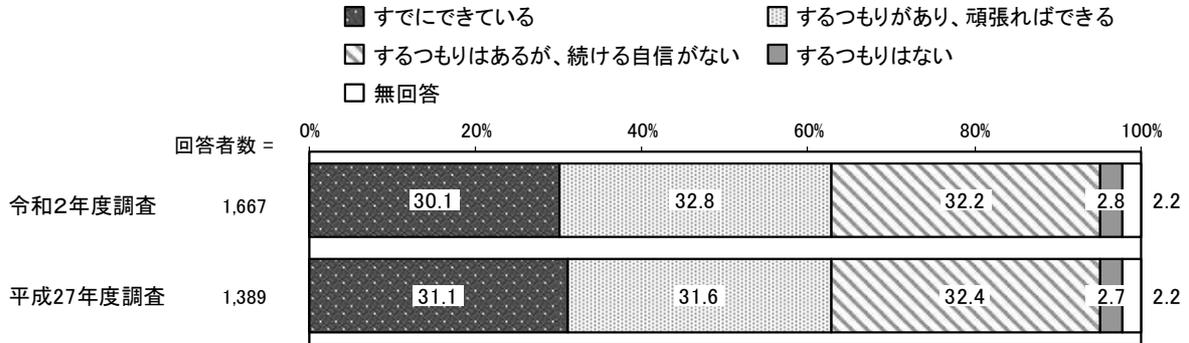
BMI別で見ると、やせで「すでにできている」の割合が、普通で「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が高くなっています。また、肥満で「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が高くなっています。



(5) 運動をしたり、日常生活でこまめに体を動かす

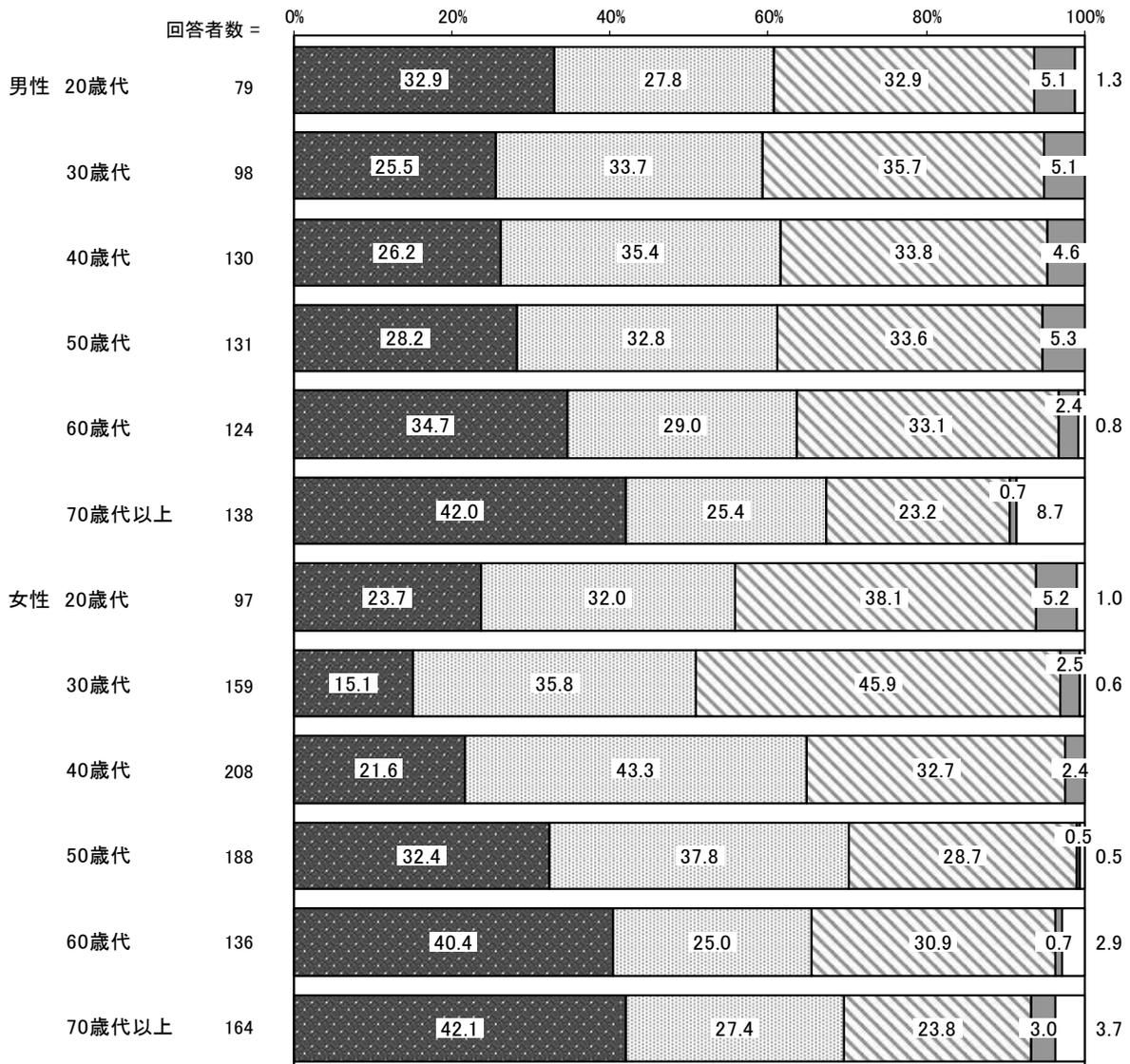
運動をしたり、日常生活でこまめに体を動かすことについて、「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が32.8%と最も高く、次いで「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が32.2%、「すでにできている」の割合が30.1%となっています。

平成27年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



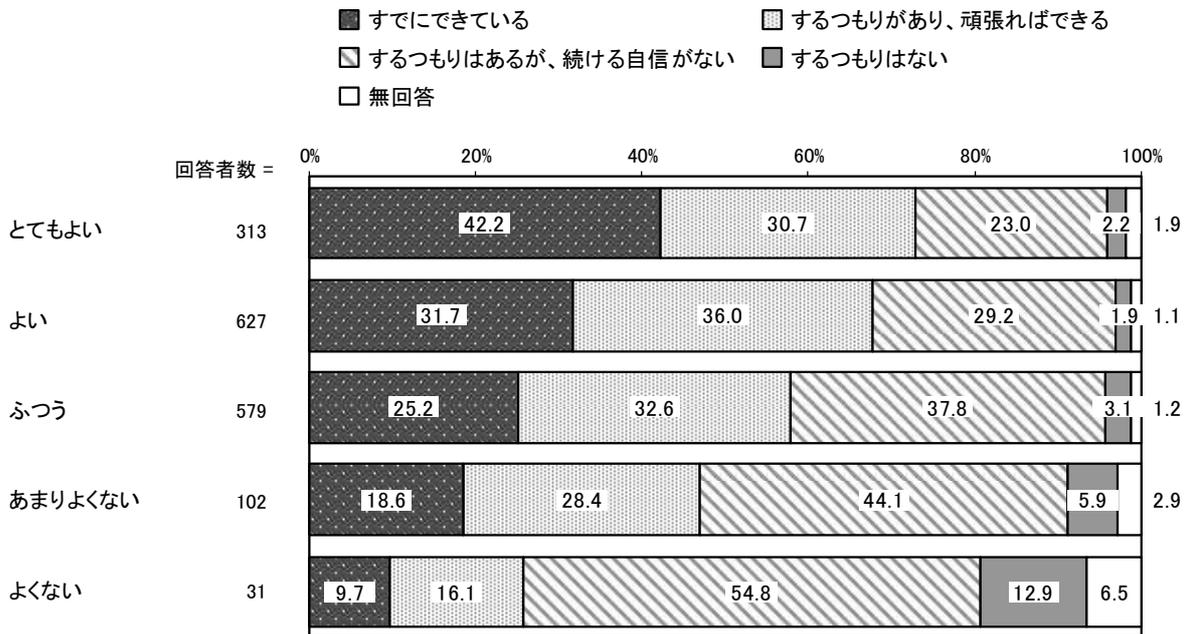
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、女性の30歳代で「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が高くなっています。



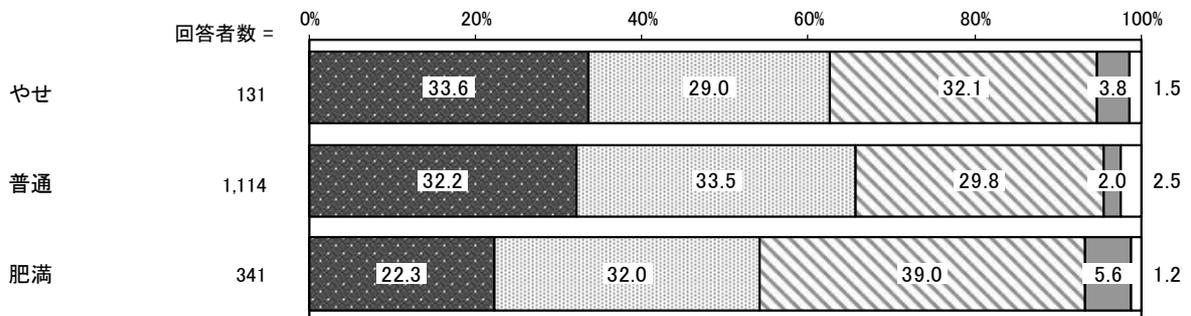
【健康状態別】

健康状態別で見ると、よくない、あまりよくないで「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が、とてもよいで「すでにできている」の割合が高くなっています。



【BMI別】

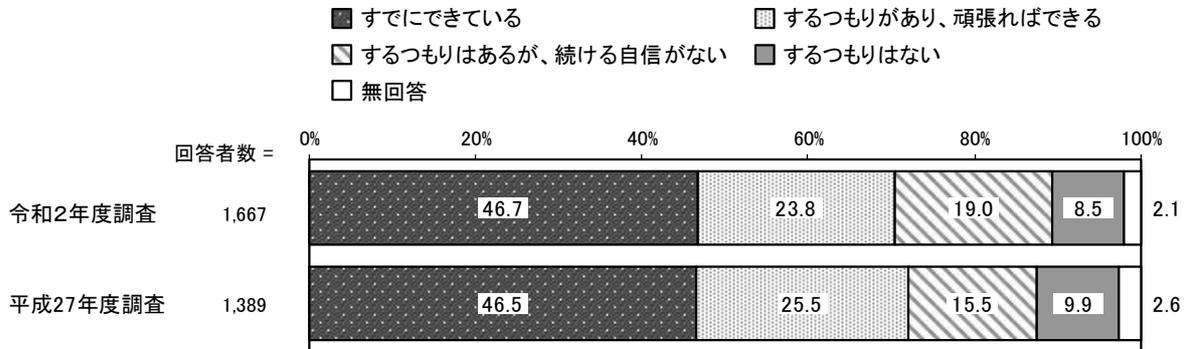
BMI別で見ると、肥満で「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が、やせで「すでにできている」の割合が高くなっています。また、普通で「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が高くなっています。



(6) 定期的に体重を測る

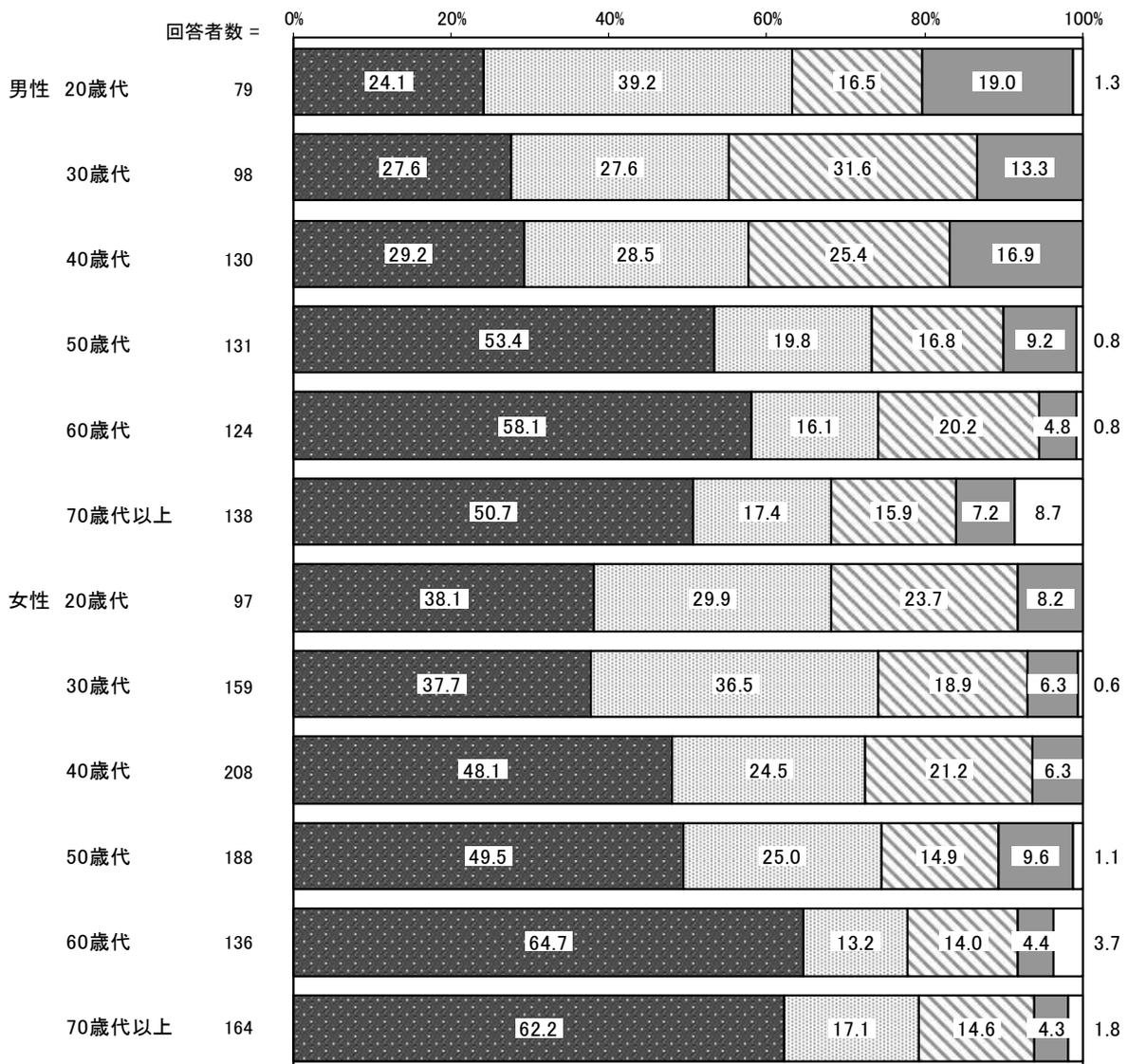
定期的に体重を測ることについて、「すでにできている」の割合が46.7%と最も高く、次いで「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が23.8%、「するつもりはあるが、続ける自信がない」の割合が19.0%となっています。

平成27年度調査と傾向を比較すると、大きな変化はみられません。



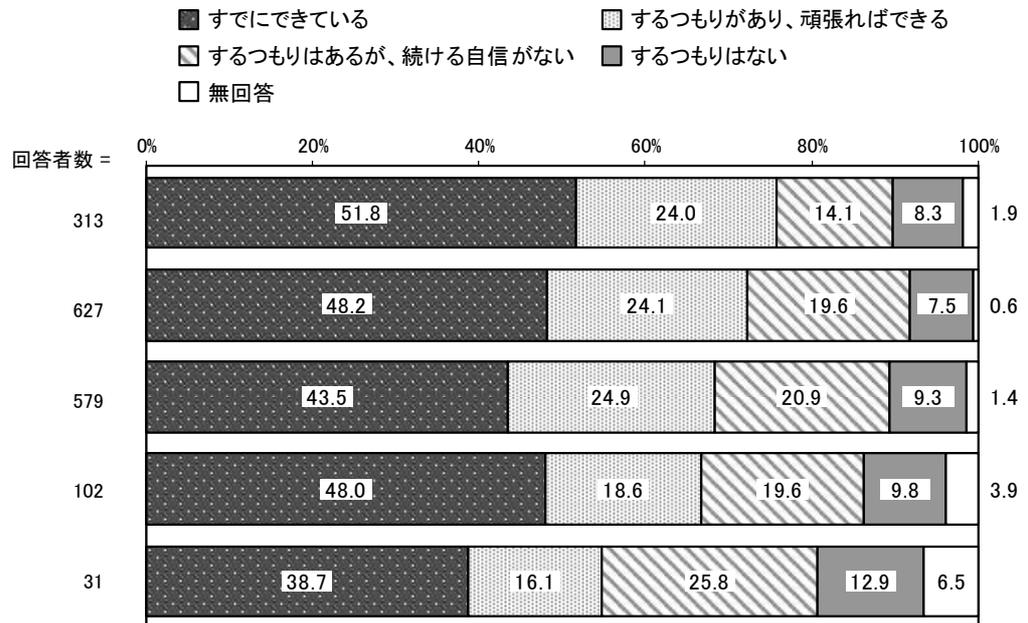
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性の20歳代で「するつもりはない」の割合が高くなっています。



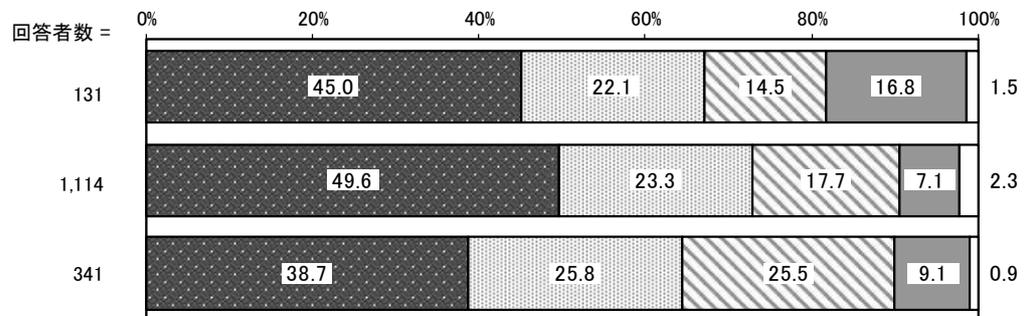
【健康状態別】

健康状態別で見ると、健康状態がよいほど「すでにできている」「するつもりがあり、頑張ればできる」の割合が高くなっています。



【BMI別】

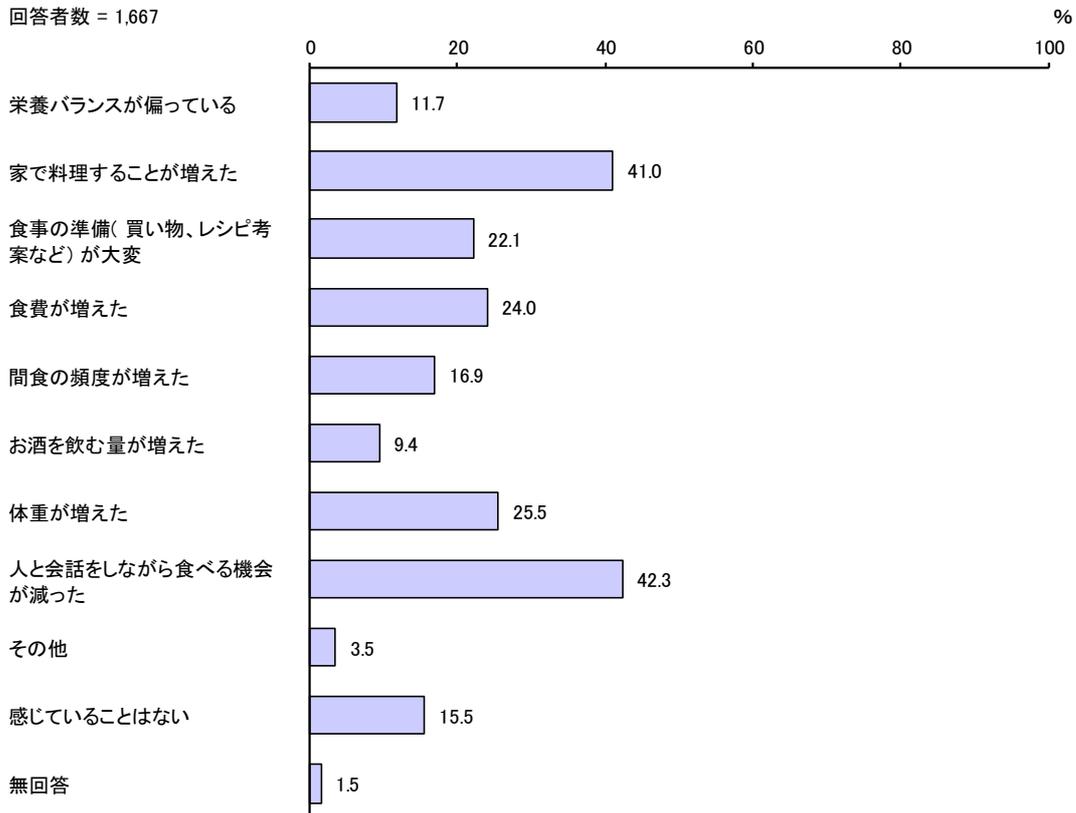
BMI別で見ると、普通で「すでにできている」の割合が高くなっています。



9 新型コロナウイルス感染症の影響について

問 23 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、食生活に関して感じていることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、食生活について、「人と会話をしながら食べる機会が減った」の割合が42.3%と最も高く、次いで「家で料理することが増えた」の割合が41.0%、「体重が増えた」の割合が25.5%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性、女性ともに30歳代で「家で料理することが増えた」の割合が高くなっています。また、女性の70歳代で「人と会話をしながら食べる機会が減った」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	栄養バランスが偏っている	家で料理することが増えた	食事の準備(買い物、レシピ考案など)が大変	食費が増えた	間食の頻度が増えた	お酒を飲む量が増えた	体重が増えた	人と会話をしながら食べる機会が減った	その他	感じていることはない	無回答
男性 20歳代	79	15.2	30.4	12.7	11.4	13.9	8.9	20.3	36.7	2.5	25.3	—
30歳代	98	11.2	51.0	24.5	18.4	21.4	13.3	25.5	30.6	1.0	14.3	—
40歳代	130	12.3	35.4	11.5	24.6	15.4	20.0	35.4	39.2	3.8	15.4	—
50歳代	131	11.5	38.2	9.2	16.8	13.0	16.0	26.7	41.2	2.3	18.3	1.5
60歳代	124	12.9	34.7	15.3	15.3	4.0	15.3	23.4	47.6	4.0	21.8	1.6
70歳代以上	138	9.4	30.4	14.5	9.4	11.6	5.8	10.9	43.5	3.6	22.5	3.6
女性 20歳代	97	22.7	39.2	16.5	27.8	25.8	8.2	27.8	36.1	4.1	12.4	—
30歳代	159	9.4	55.3	38.4	30.8	22.0	6.9	32.7	32.1	6.3	11.9	—
40歳代	208	11.1	49.5	33.2	43.8	17.8	9.1	29.8	40.9	5.3	9.1	—
50歳代	188	10.1	42.6	24.5	27.7	16.0	5.3	28.7	50.0	2.7	13.8	—
60歳代	136	8.8	37.5	25.7	22.8	22.1	8.1	22.1	47.1	2.9	17.6	1.5
70歳代以上	164	12.2	39.6	25.0	22.0	20.7	2.4	20.1	55.5	1.8	12.8	2.4

問 24 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、新しい生活様式を送るにあたり、あなたの食生活で、一番変わっていきだろろうと思うことをお書きください。

記入者は1,038人でした。1人で複数の内容を記入している場合も含むため、記入者数と件数の合計は一致しません。

新型コロナウイルス感染症の影響により食生活で変わっていくことについて聞いたところ、「外食の機会が減ったことについて」が291件と最も多く、次いで「会食や人と食事をする機会の変化について」が236件、「家で食事をする機会について」が93件でした。

食生活で変わっていくこと	件数
1. 外食の機会が減ったことについて	291
2. 会食や人と食事をする機会の変化について	236
3. 家で食事をする機会について	93
4. 料理をする機会について	78
5. バランスの良い食事への意識について	75
6. テイクアウトの利用について	47
7. 外食全般	24
8. 買物回数の変化	15
9. その他	194

10 川崎市であつたらいいなと思う食育の取組について

問 25 川崎であつたらいいなと思う食育の取組をご自由にお書きください。

記入者は491人でした。1人で複数の内容を記入している場合も含むため、記入者数と件数の合計は一致しません。

川崎であつたらいいなと思う食育の取組について「特にない」との回答が127件で最も多く、次いで「地産地消に関する取組」が111件でした。

記入内容	件数
1. 特にない	127
2. 地産地消に関する取組	111
3. 子どもと一緒に参加できる取組	63
4. 食の大切さに関する取組	62
5. 栄養バランスに関する取組	51
6. 食品ロスや食の安全に関する取組	36
7. 農林漁業等の体験に関する取組	33
8. 食事のマナーに関する取組	28
9. 学校給食に関する取組	27
10. わからない	18
11. その他	85

参考 調査票

川崎市の食育の現状と意識に関する調査へのご協力をお願い

川崎市では、市民の皆さんが健全な食生活を実践できるように、第4期川崎市食育推進計画（2017～2021年度）を策定し、食育を推進しています。

今後さらに「食育」を推進していくため、市民の皆さんの食に関する現状やお考えなどをお聞かせください。お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※食育とは、様々な体験を通して食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるようにすることをいいます。

【ご記入にあたってのお願い】

- あて名のご本人がアンケートにお答えください。
- ご記入は、濃い鉛筆または、ボールペン・万年筆でお願いいたします。
- お答えは、あてはまる答えの選択肢や番号を○で囲んでください。

（記入例1）

<input checked="" type="radio"/> 1 はい	<input type="radio"/> 2 いいえ
---------------------------------------	-----------------------------

（記入例2）	ほとんど毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2日	食べない
（1）朝食	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
（2）昼食	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

- 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、（ ）内に具体的に、その内容をご記入ください。
- お答えは、設問ごと（○は1つ）（あてはまるもの全てに○）など指定されていますので、お間違えのないようお気をつけください。
- 設問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをお読みください。
- ご記入いただいた調査票は、**12月1日（火）までに**、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函して下さいますよう、お願いいたします。

◎この調査は、令和2年10月23日現在で市内在住の満20歳以上から無作為に選んだ3,500名の方へ調査をお願いしています。

◎この調査は無記名調査です。あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。

◎この調査は、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することは決してありません。

◎この調査の結果はすべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、個々のお答えの内容や皆様の個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

【問い合わせ先】本調査についてご不明な点がございましたら、調査担当課までお問い合わせください。

＜調査担当課＞ 川崎市健康福祉局保健所健康増進課

電 話 044-200-2451（直通）

FAX 044-200-3986

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

川崎市の食育の現状と意識に関する調査票

新型コロナウイルス感染予防のための新しい生活様式の生活の中での、今の食生活の現状、お考えなどをご記入ください。

問1 1日に何回食事をしますか。(間食・夜食を除きます。)(○は1つ)

- | | | |
|---------|------------|-------|
| 1. 1回 | 2. 2回 | 3. 3回 |
| 4. 4回以上 | 5. その他 () | |

問2 朝食は食べますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. ほとんど毎日食べる | 2. 週4~5回食べる |
| 3. 週2~3回食べる | 4. ほとんど食べない(週1回以下) |

問2で「2. 週4~5回食べる」「3. 週2~3回食べる」「4. ほとんど食べない」とお答えの方にお聞きします。

問2-1 朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 食べる時間がない | 2. 用意する時間がない |
| 3. 用意されていない | 4. 食欲がない |
| 5. 太りたくない | 6. 食べる習慣がない |
| 7. 食べなくても問題がない | 8. その他(具体的に) |

問3 主食(ごはん・パン・めんなど)、主菜(魚・肉・卵・大豆製品の料理)、副菜(野菜を主にした料理)をそろえて食べることが1日のうちに何回ありますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|---------|-------|
| 1. ほとんどない | 2. 1回 | 3. 2回 |
| 4. 3回 | 5. 4回以上 | |

問3で「1. ほとんどない」又は「2. 1回」とお答えの方にお聞きします。

問3-1 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる回数を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 手間がかからないこと | 2. 時間があること |
| 3. 食費に余裕があること | 4. 自分で用意することができること |
| 5. 食欲があること | 6. 3つそろえて食べるメリットを知っていること |
| 7. 家に用意されていること | |
| 8. 外食やコンビニなどで手軽に取ることができる環境があること | |
| 9. その他(具体的に) | |
| 10. わからない | |

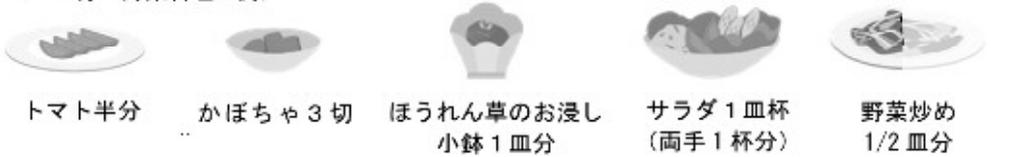
次のページへ続きます

問4 野菜料理を1日にどのくらい食べていますか。(〇は1つ)

※野菜料理約70g(トマトなら半分、かぼちゃなら3切れ程度)を1皿として、例を参考に、お皿の数でお答えください。

- | | | |
|------------|----------|-------------|
| 1. 5皿以上食べる | 2. 4皿食べる | 3. 3皿食べる |
| 4. 2皿食べる | 5. 1皿食べる | 6. ほとんど食べない |

<1皿分の野菜料理の例>



問5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前は、外食(飲食店での食事)をどのくらい利用していましたか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------|---------|----------|
| 1. 毎日2回以上 | 2. 毎日1回 | 3. 週4~6回 |
| 4. 週2~3回 | 5. 週1回 | 6. 月1~3回 |
| 7. ほとんど利用しない | | |

問6 今現在、外食(飲食店での食事)をどのくらい利用しますか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------|---------|----------|
| 1. 毎日2回以上 | 2. 毎日1回 | 3. 週4~6回 |
| 4. 週2~3回 | 5. 週1回 | 6. 月1~3回 |
| 7. ほとんど利用しない | | |

問7 今現在、持ち帰りの市販弁当や総菜をどのくらい利用していますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-----------|----------|--------------|----------|
| 1. 毎日2回以上 | 2. 毎日1回 | 3. 週4~6回 | 4. 週2~3回 |
| 5. 週1回 | 6. 月1~3回 | 7. ほとんど利用しない | |

問8 食品の購入のために、次の(ア)~(ク)をどのくらい利用しますか。(各項目に〇は1つ)

(ア) スーパーマーケット	1. 週4日以上	2. 週2~3日	3. 週1日以下
(イ) コンビニエンスストア	1. 週4日以上	2. 週2~3日	3. 週1日以下
(ウ) ドラッグストア	1. 週4日以上	2. 週2~3日	3. 週1日以下
(エ) 商店街	1. 週4日以上	2. 週2~3日	3. 週1日以下
(オ) 飲食店	1. 週4日以上	2. 週2~3日	3. 週1日以下
(カ) 宅配サービス(主に食材)	1. 週4日以上	2. 週2~3日	3. 週1日以下
(キ) 配食サービス(主に弁当)	1. 週4日以上	2. 週2~3日	3. 週1日以下
(ク) その他()	1. 週4日以上	2. 週2~3日	3. 週1日以下

次のページへ続きます



*川崎市内農産物 シンボルマーク

問9 川崎産の農産物があることを知っていますか。(〇は1つ)

※例えば、小松菜、ブロッコリー、のらぼう菜などがあります。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問10 国産・県内産・川崎産など産地を意識して購入(地産地消)したことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問11 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 受け継いでいる | 2. 受け継いでいない | 3. どちらともいえない |
|------------|-------------|--------------|

問11で「1. 受け継いでいる」とお答えの方にお聞きします。

問11-1 あなたが郷土料理や伝統料理など、地域や家庭において受け継いできた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を、地域や次世代(子どもや孫を含む)に対し伝えていきますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| 1. 伝えている | 2. 伝えていない | 3. どちらともいえない |
|----------|-----------|--------------|

問12 家庭や食品産業において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、日頃から「もったいない」と感じるがありますか。(〇は1つ)

- | | | | | |
|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 1. いつも感じている | 2. ときどき感じている | 3. あまり感じていない | 4. 全く感じていない | 5. どちらともいえない |
|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------|

問13 あなたは、購入した食品を食べないまま、捨ててしまうことがありますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. あまりない |
| 4. 全くない | 5. わからない | |

問13で「1. よくある」又は「2. ときどきある」とお答えの方にお聞きします。

問13-1 捨ててしまった原因は何だと思いますか。(あてはまるもの全てに〇)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 必要以上に買いすぎてしまった | |
| 2. 消費・賞味期限内に食べきれなかった | |
| 3. 購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れてしまった | |
| 4. 購入したものの、調理の仕方や食べ方が分からなかった | |
| 5. その他(具体的に) | |
| 6. わからない | |

次のページへ続きます

問 14 食品を購入するときに、表示で参考にしているものはありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------------------|------------|--------|
| 1. 消費期限や賞味期限 | 2. 栄養成分表示 | 3. 内容量 |
| 4. 原材料名 | 5. 生産地や製造元 | |
| 6. 特定保健用食品(トクホ)などの表示 | | |
| 7. アレルギー表示 | | |
| 8. その他(具体的に | |) |
| 9. 特に参考としていない | | |

問 15 あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識(食物アレルギーや食中毒防止など)があると思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| 1. 十分にあると思う | 2. ある程度あると思う | |
| 3. あまりないと思う | 4. 全くないと思う | 5. わからない |

問 16 災害時(地震や風水害だけでなく、新型コロナウイルス感染症拡大も含む)に備えて、非常用の食料や飲料を用意していますか。(○は1つ)

※非常用の食料とは、そのまま食べられるか、お湯を足す程度の簡単な調理で済むものをいいます。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 用意している | 2. 用意していない |
|-----------|------------|

問 16 で「1. 用意している」とお答えの方にお聞きします。

問 16-1 非常用の食料などとしてどんなものを用意していますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. 主食(レトルトご飯、ご飯を乾燥させた加工米、乾パンなど) | |
| 2. おかず(肉・魚などの缶詰、カレー、シチューなどのレトルト食品など) | |
| 3. 飲料(水、お茶など) | |
| 4. その他(具体的に |) |

問 16-1 で「3. 飲料(水、お茶など)」とお答えの方にお聞きします。

問 16-2 あなた1人分として、どのくらい用意していますか。2リットル=1本でお答えください。(○は1つ)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1本 | 2. 2本 | 3. 3本 | 4. 4本 | 5. 5本以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

次のページへ続きます

問 17 食育に関心がありますか。(〇は1つ)

※食育とは、様々な体験を通して食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるようにすることをいいます。

- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| 1. 関心がある | 2. どちらかといえば関心がある | |
| 3. どちらかといえば関心がない | 4. 関心がない | 5. どちらともいえない |

問 17 で「1. 関心がある」「2. どちらかといえば関心がある」とお答えの方にお聞きます。

問 17-1 何に関心がありますか。(あてはまるもの全てに〇)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 誰かと一緒に食べること | 2. 1日3回食べること |
| 3. バランスのよい食事 | 4. 食事のマナー |
| 5. 食文化や行事食など | 6. 食の安全(食中毒、食品添加物など) |
| 7. 地産地消 | 8. その他(具体的に) |

問 17-2 関心のある理由はなんですか。(あてはまるもの全てに〇)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 子どもの心身の健全な発育 |
| 2. 食生活の乱れ(栄養バランスの崩れ、不規則な食事など) |
| 3. 肥満ややせすぎの体型の二極化 |
| 4. 生活習慣病(高血圧、糖尿病など)の増加 |
| 5. 狂牛病や鳥インフルエンザの発生など食品の安全確保及び流通 |
| 6. 食にまつわる地域の文化や伝統を守ること |
| 7. 食料を海外からの輸入に依存しすぎること |
| 8. 消費者と生産者間の交流や信頼の不足 |
| 9. 有機農業など自然環境と調和した食料生産の推進 |
| 10. 自然の恩恵や食に対する感謝の希薄 |
| 11. 大量の食べ残しなど食品廃棄物の増加 |
| 12. その他(具体的に) |

問 18 地域で食育に関する何らかの活動を行ったり、参加したりしていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------------------------------|------------------|-------------|
| 1. 積極的にしている | 2. できる機会があればしている | 3. あまりしていない |
| 4. したいと思っている(機会があればしたい)が実際にはしていない | | |
| 5. したいと思わないし、していない | | |

次のページへ続きます

問 19 家族や友人・知人などと一緒に食事をしますか。(各項目に○は1つ)

* 食事をしない方は 「ほとんど一緒に食べない」を選択してください。	ほとんど毎日	週に3～4日	週に1～2日	月に1～3日	ほとんど一緒に食べない
(1) 朝食	1	2	3	4	5
(2) 昼食	1	2	3	4	5
(3) 夕食	1	2	3	4	5

問 20 地域や所属コミュニティ（職場などを含む）での食事会などの機会があれば、あなたは参加したいと思えますか。(○は1つ)

1. とてもそう思う	2. そう思う	3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない	5. 全くそう思わない	6. わからない

問 21 現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい	2. よい	3. ふつう
4. あまりよくない	5. よくない	

問 22 高血圧、糖尿病、脳卒中などの生活習慣病の予防及び改善に役立つことのうち、あなたの普段の行動としてあてはまるものに○をつけてください。(各項目に○は1つ)

	すでにできている	するつもりがあり、頑張ればできる	するつもりはあるが、続ける自信がない	するつもりはない
(1) よく噛んでゆっくり食べる	1	2	3	4
(2) 減塩をする	1	2	3	4
(3) 脂っこい食事を避ける	1	2	3	4
(4) 食べ過ぎないようにする	1	2	3	4
(5) 運動をしたり、日常生活でこまめに体を動かす	1	2	3	4
(6) 定期的に体重を測る	1	2	3	4

次のページへ続きます

問 23 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、食生活に関して感じていることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 栄養バランスが偏っている | 2. 家で料理することが増えた |
| 3. 食事の準備(買い物、レシピ考案など)が大変 | |
| 4. 食費が増えた | 5. 間食の頻度が増えた |
| 6. お酒を飲む量が増えた | 7. 体重が増えた |
| 8. 人と会話をしながら食べる機会が減った | |
| 9. その他(具体的に |) |
| 10. 感じていることはない | |

問 24 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、新しい生活様式を送るにあたり、あなたの食生活で、一番変わっていきだろろうと思うことをお書きください。

問 25 川崎であったらいいと思う食育の取組をご自由にお書きください。

*「食育」は、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。その中には、規則正しい食生活や栄養バランスの良い食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

◆ 最後あなた自身についてお伺いします。

F 1 性別 (○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 年齢 (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 |
| 4. 35～39歳 | 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 |
| 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 | 9. 60～64歳 |
| 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |

次のページへ続きます

F 3 職業 (○は1つ)

- | | | |
|----------------|------------------|-----------------|
| 1. 自営業主 | 2. 家族従業 (家業手伝い) | 3. 勤め (全日) |
| 4. 勤め (パートタイム) | 5. 内職 | 6. 主婦・主夫 (家事専業) |
| 7. 学生 | 8. 無職 (年金生活者を含む) | 9. その他 () |

F 4 平均的な勤務時間 (残業含む) (○は1つ)

- | | | |
|----------------------------|------------|------------|
| 1. 4時間未満 | 2. 4～7時間未満 | 3. 7～9時間未満 |
| 4. 9～11時間未満 | 5. 11時間以上 | |
| 6. 勤務していない (主婦・主夫、学生、無職の方) | | |

F 5 現在の居住地 (○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 川崎区 | 2. 幸区 | 3. 中原区 | 4. 高津区 |
| 5. 宮前区 | 6. 多摩区 | 7. 麻生区 | |

F 6 身長・体重 (小数点1けたまで) 記入例 身長 センチメートル 体重 キログラム

身長 . センチメートル 体重 . キログラム

F 7 現在、同居している家族の人数 (あなた自身を含む) (○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人 | 6. 6人以上 |

F 8 同居している人 (あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|---------------------|------------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子ども | 3. 子どもの配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 友人 | 6. パートナー |
| 7. 職場・仕事仲間 | 8. 父母 (あなた・配偶者の) | 9. 祖父母 (あなた・配偶者の) |
| 10. 兄弟姉妹 (あなた・配偶者の) | | |
| 11. その他 (具体的に) | | |
| 12. いない | | |

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

この調査票は、返信用封筒に入れ、切手を貼らずに 12 月1日(火)までにポストに投函してください。

川崎市の食育の現状と意識に関する調査 調査結果報告書

発行年月 令和3年3月

発行 川崎市健康福祉局保健所健康増進課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話 044-200-2451（直通） F A X 044-200-3986